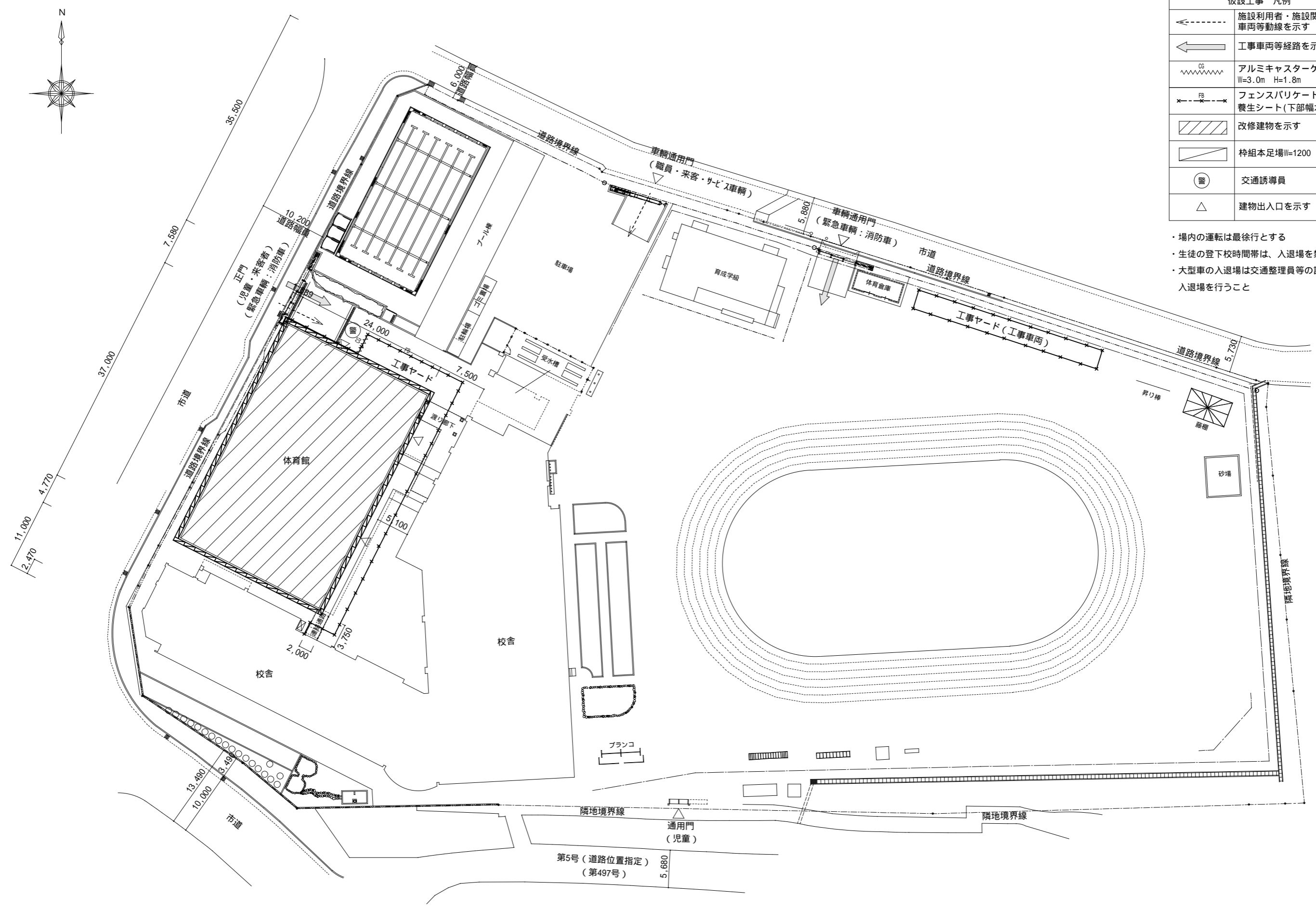


工事場所
宇治市広野町中島1番地の1地内

訂 正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	付近見取図	SCALE	M
								1 : 2500 (A2)	No.
						DATE			

仮設工事 凡例	
	施設利用者・施設関係者 車両等動線を示す
	工事車両等経路を示す
	アルミキャストゲート W=3.0m H=1.8m
	フェンスバリケード 142m 養生シート(下部幅木設置)
	改修建物を示す
	枠組本足場W=1200
	交通誘導員
	建物出入口を示す

- ・場内の運転は最徐行とする
- ・生徒の登下校時間帯は、入退場を禁止とする
- ・大型車の入退場は交通整理員等の誘導により、入退場を行うこと

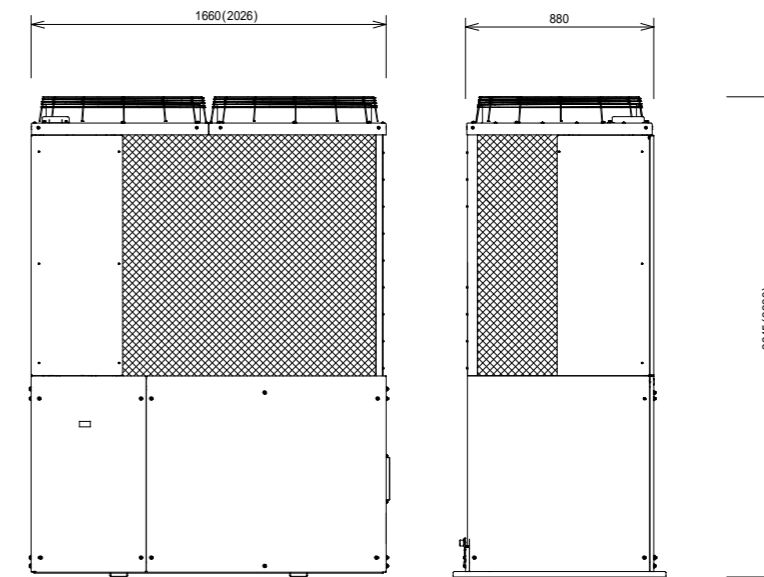


配置図兼仮設計画図 1:400

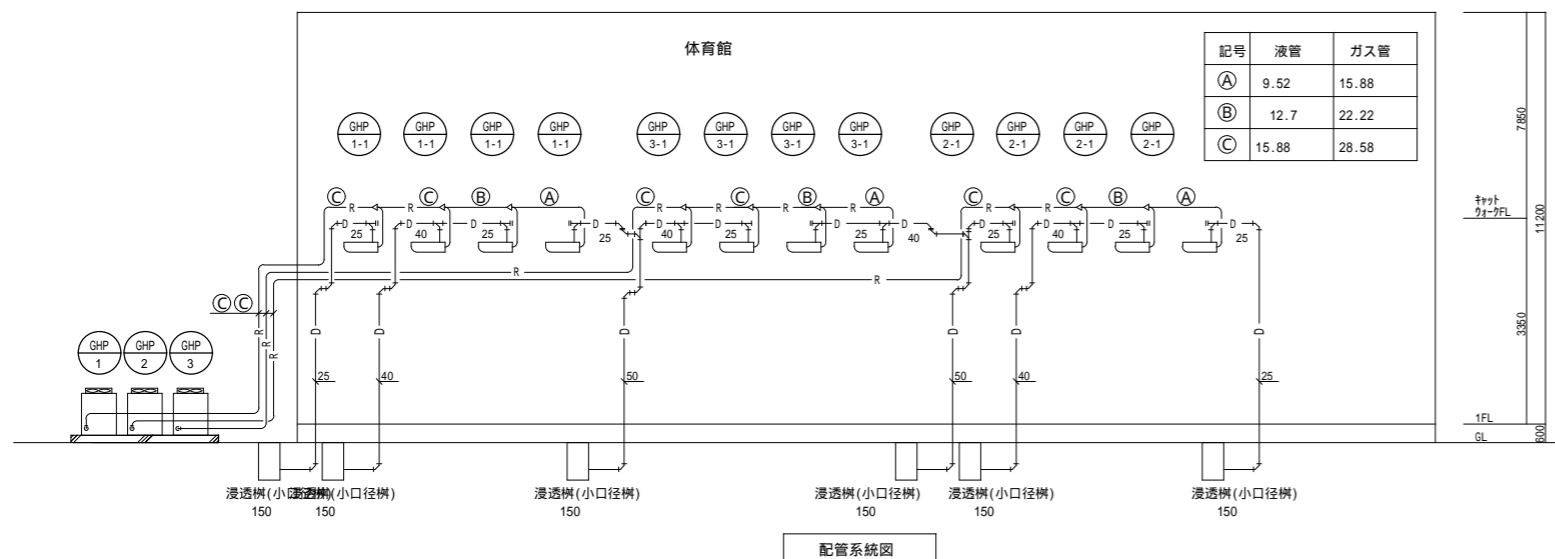
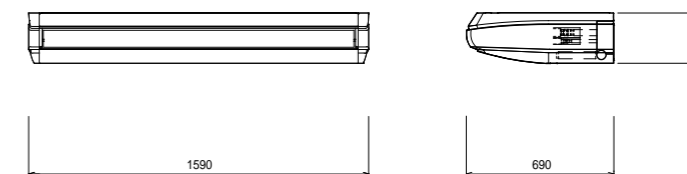
空調・換気機器リスト (新設)

機器番号	機器名称	機器仕様	台数	据付位置	備考 (参考メーカー品番)
GHP 1	ガス・ボンプエアコン (GHP室外機) 屋外据置型	定格冷房能力 56.0 kW 定格暖房能力 63.0 kW	3	屋外	アイトン ABQP560F2ND
		室外ファン電動機 321W+431W			
		燃料種別 13A・12A			
GHP 2		燃料消費量冷房 48.6 kW 燃料消費量暖房 46.1 kW			
		電源 単相 200V 1660W			
GHP 3		外形寸法 (W×D×H)・質量 1660×880×2245mm 815kg			
		2026×880×2228mm 870kg			
GHP 1-1	ガス・ボンプエアコン (GHP室内機) 天井吊形	自立運転スイッチ 100V変換トランス共	3	屋外	アイトン AGLS-TR
		自立ユニット バッテリ共	3	屋外	アイトン AGLS3A・GECBAT70A
		防振パッド	3	屋外	アイトン K-KSVP15B1
		その他附属品一式			
		キャットパス、遮音パズ (建築工事)	1	屋外	
GHP 2-1		定格冷房能力 14.0 kW 定格暖房能力 16.0 kW	12	体育館	アイトン AXHP140NA
		風量強 28.5 m3/min			
GHP 3-1		ファン電動機 182.0W x 1台			
		電源 (単相) 200V60Hz			
AF 1	I7-搬送ファン (標準タイプ) 天井面取付 (端子台接続方式)	消費電力 1 100V 83.0 kW 騒音 46.5dB	8	体育館	三菱電機 (同等品) AH-2009SA
		風量 1450.0m3/h 平均吹出風速 8.6m/s			
		外形寸法 (W×L×H)・質量 900×222×197mm 11.0kg			
		コントロールスイッチ 1 100V (ON/OFF用)	3	体育館	三菱電機 (同等品) FS-08AHS2
		I7-搬送ファン用防球ガード	8	体育館	三菱電機 (同等品) AH-G30
		その他附属品一式			

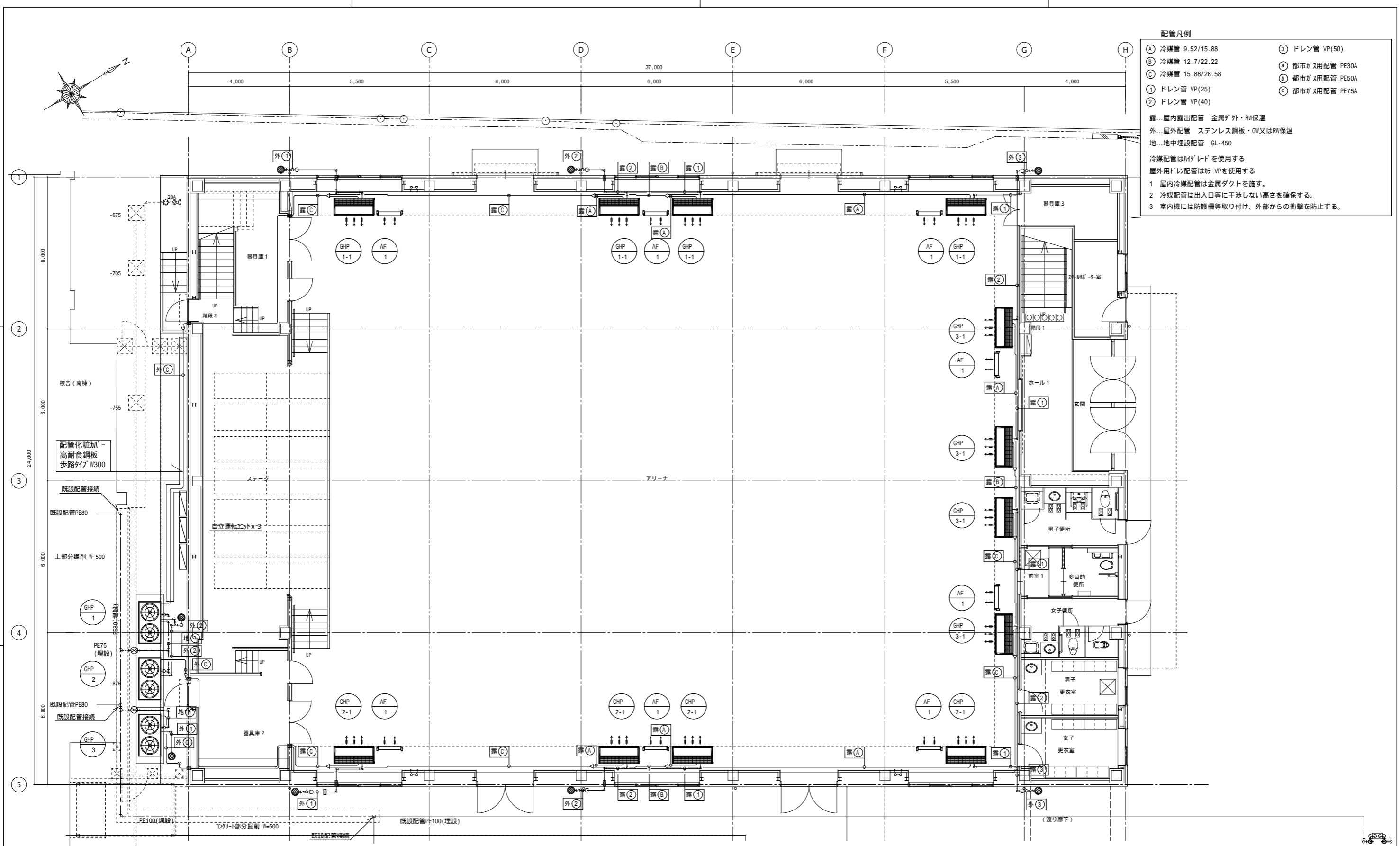
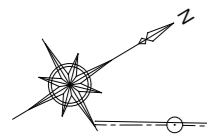
ガス・ボンプエアコン (GHP室外機) 屋外据置型



ガス・ボンプエアコン (GHP室内機) 天井吊形

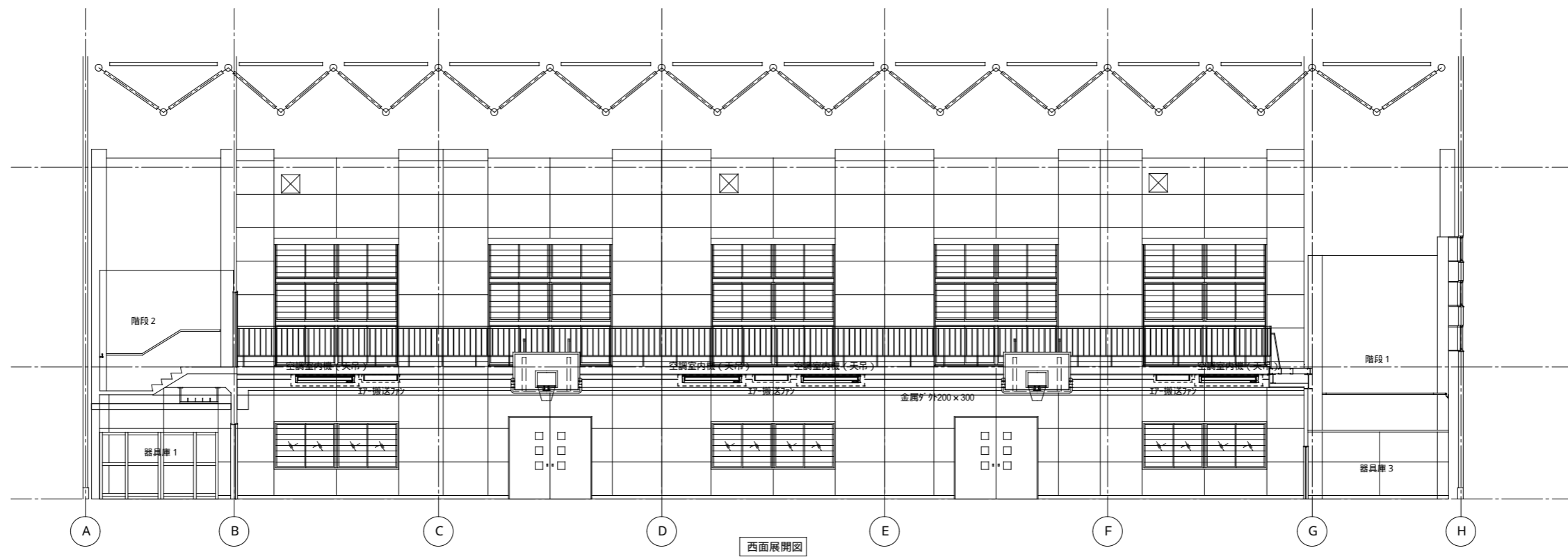
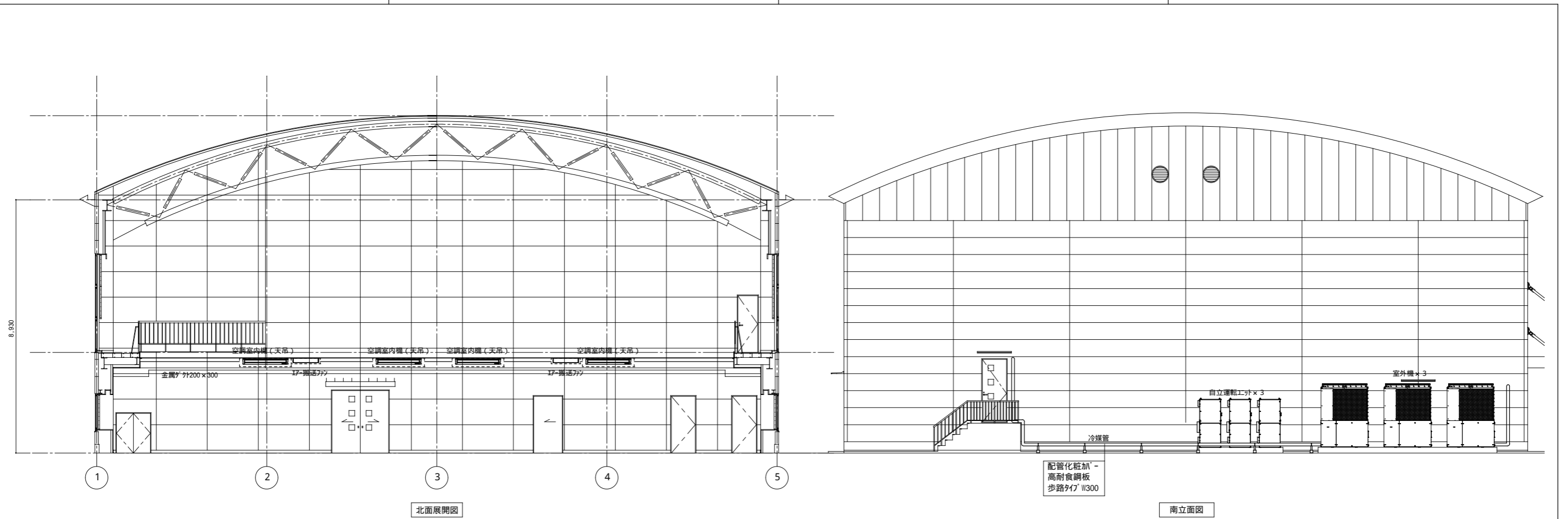


配管系統図

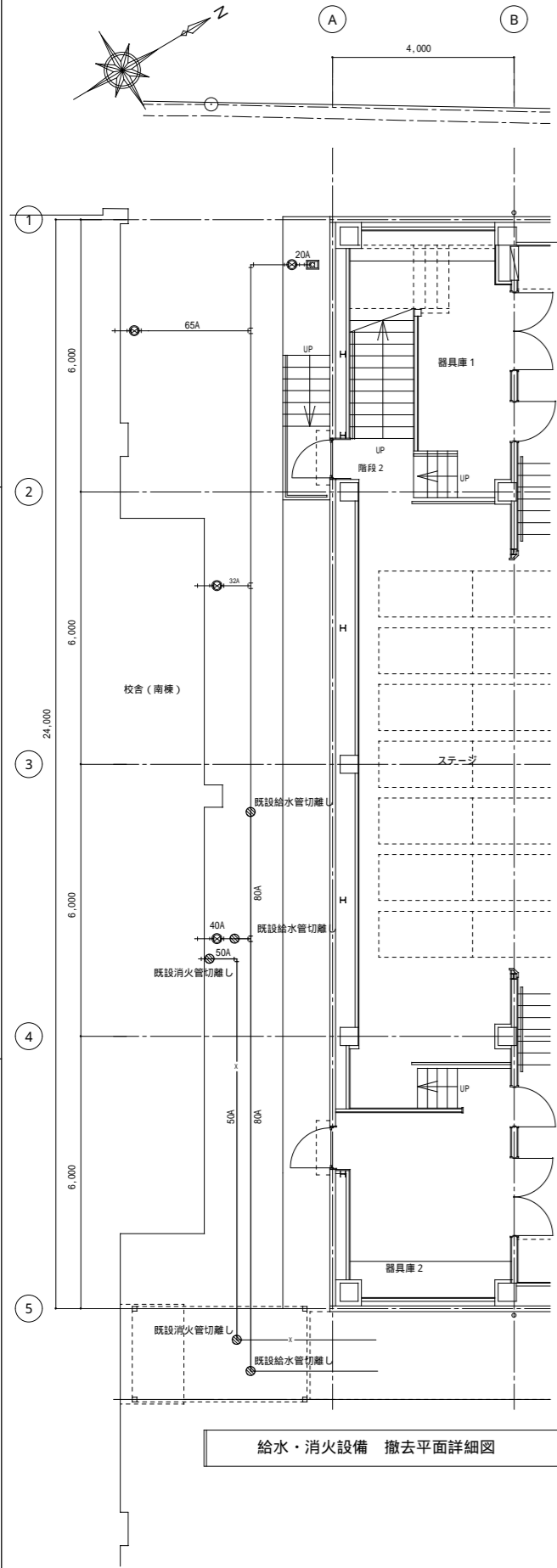
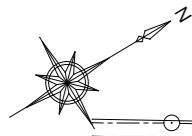


- 配管凡例**
- ① 冷媒管 9.52/15.88
 - ② 冷媒管 12.7/22.22
 - ③ 冷媒管 15.88/28.58
 - ④ ドレン管 VP(25)
 - ⑤ ドレン管 VP(40)
 - ⑥ ドレン管 VP(50)
 - ⑦ 都市ガス用配管 PE30A
 - ⑧ 都市ガス用配管 PE50A
 - ⑨ 都市ガス用配管 PE75A
- 露...屋内露出配管 金属ゲタ・RW保温
 外...屋外配管 ステンレス鋼板・GW又はRW保温
 地...地中埋設配管 GL-450
- 冷媒配管は「ケレード」を使用する
 屋外用ドレン配管は「VP」を使用する
- 1 屋内冷媒配管は金属ダクトを施す。
 - 2 冷媒配管は出入口等に干渉しない高さ確保する。
 - 3 室内機には防護柵等取り付け、外部からの衝撃を防止する。

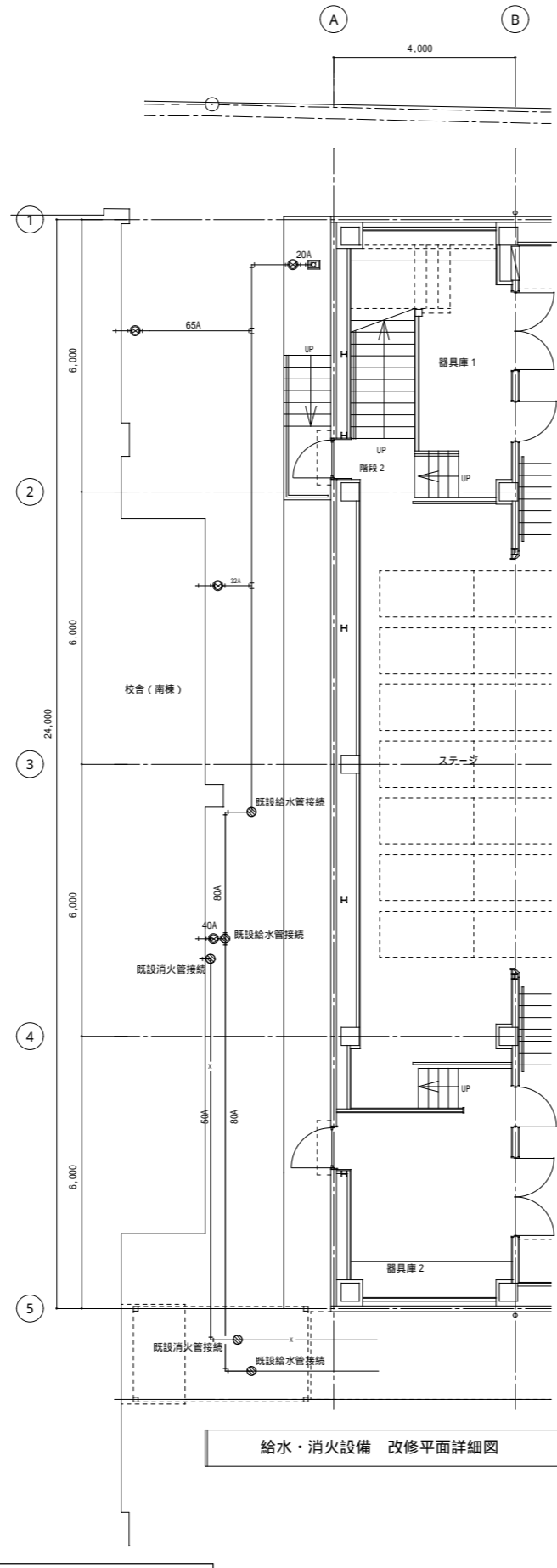
1階平面図 1:100



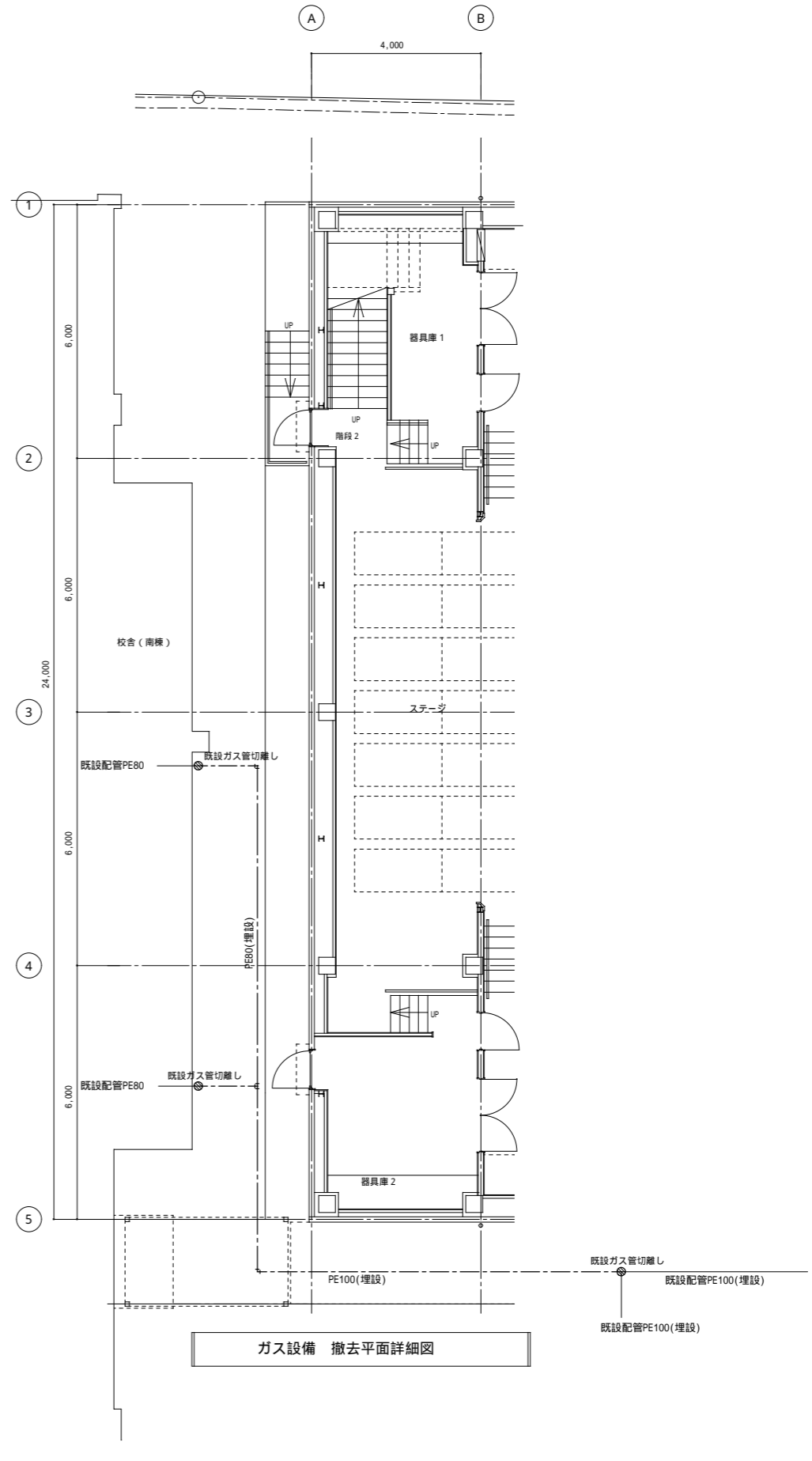
日 月 年	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイス	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝 彦	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事 DATE	空調設備 立面図・展開図	SCALE	No. 07
							1 : 100 (A2)		



給水・消火設備 撤去平面詳細図



給水・消火設備 改修平面詳細図



ガス設備 撤去平面詳細図

給水管 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)
 消火管 消火用硬質強化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS)

日	月	日

BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
 一級建築士登録第 204199 号
 山本 勝 彦

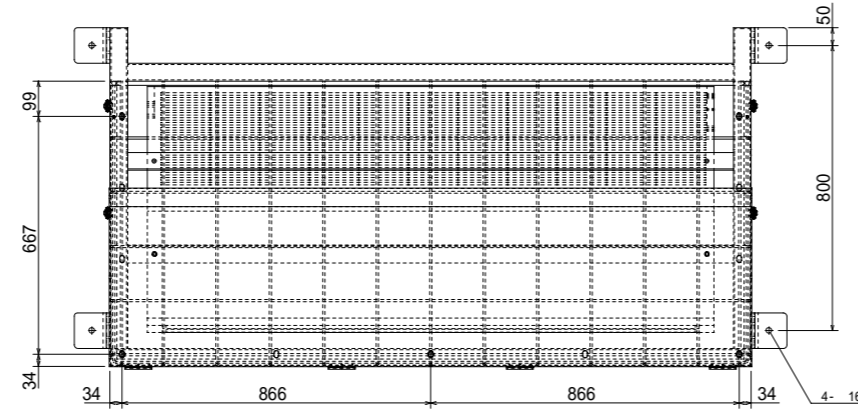
FILE No.	
----------	--

工事名	大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事
DATE	

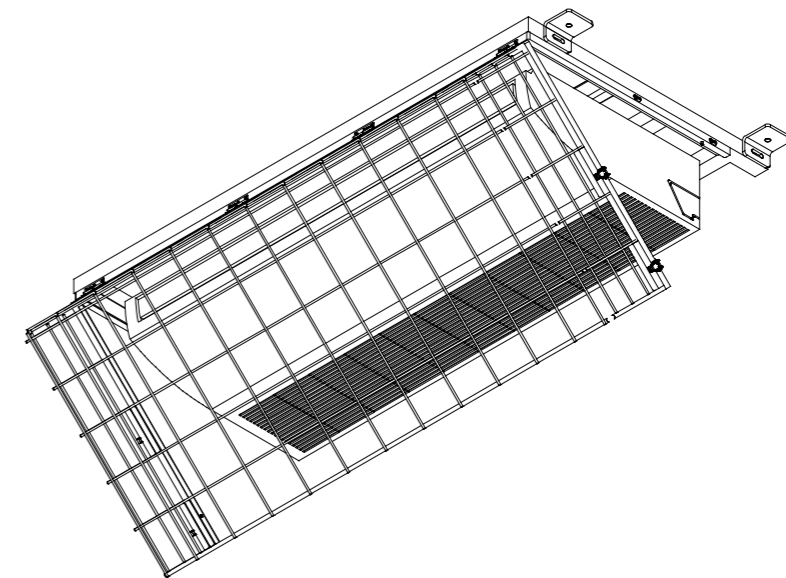
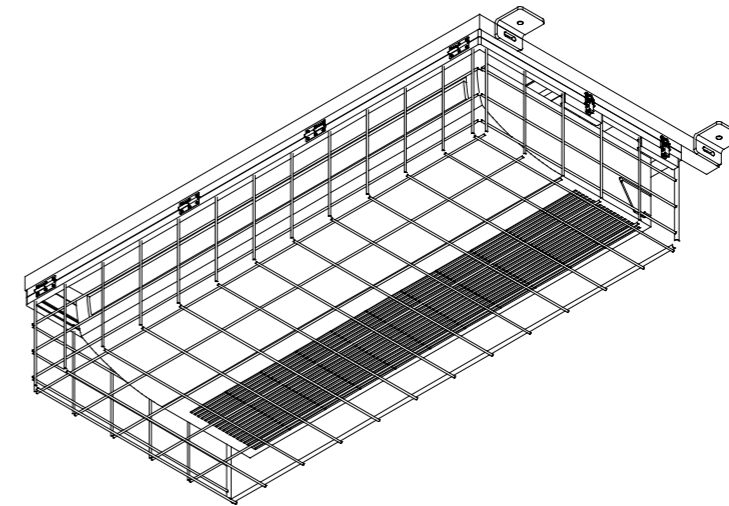
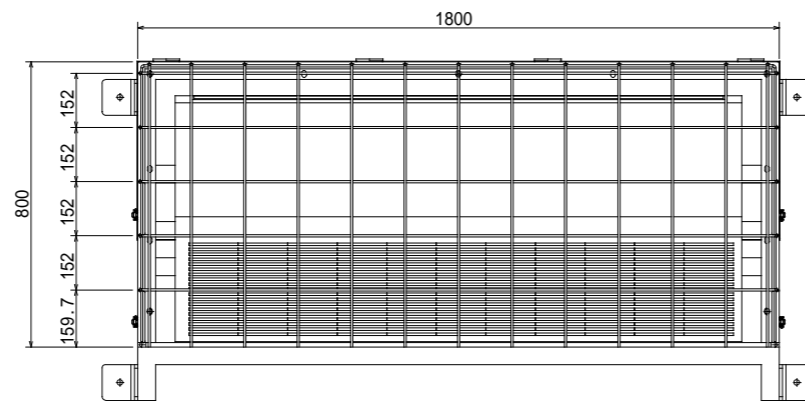
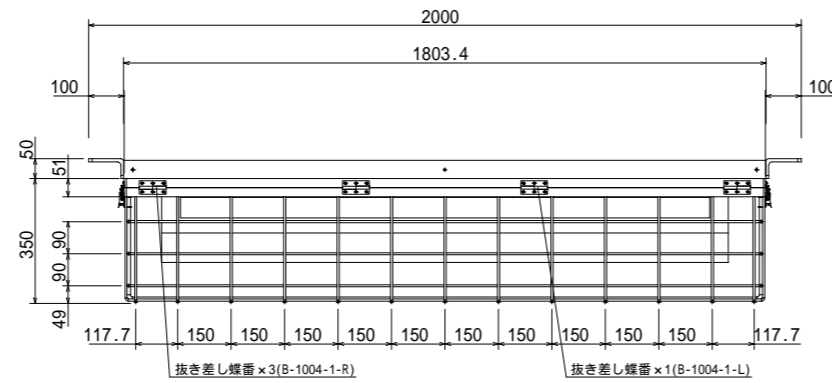
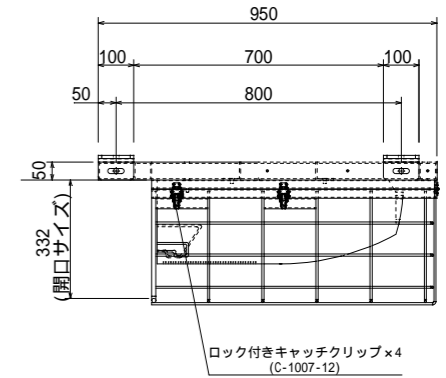
給水・消火・ガス設備 改修平面詳細図	SCALE 1 : 100(A2)	No. 08
-----------------------	----------------------	-----------

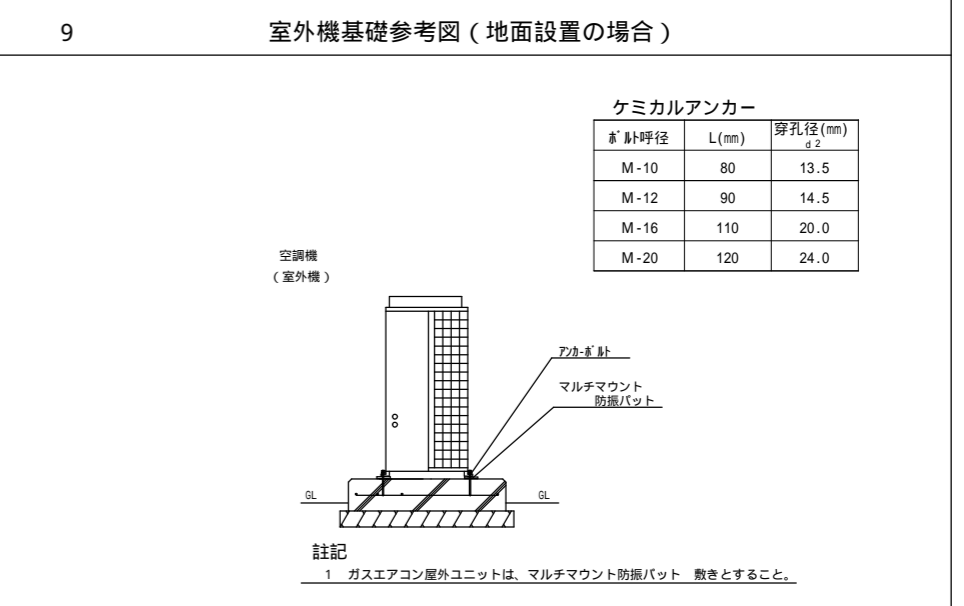
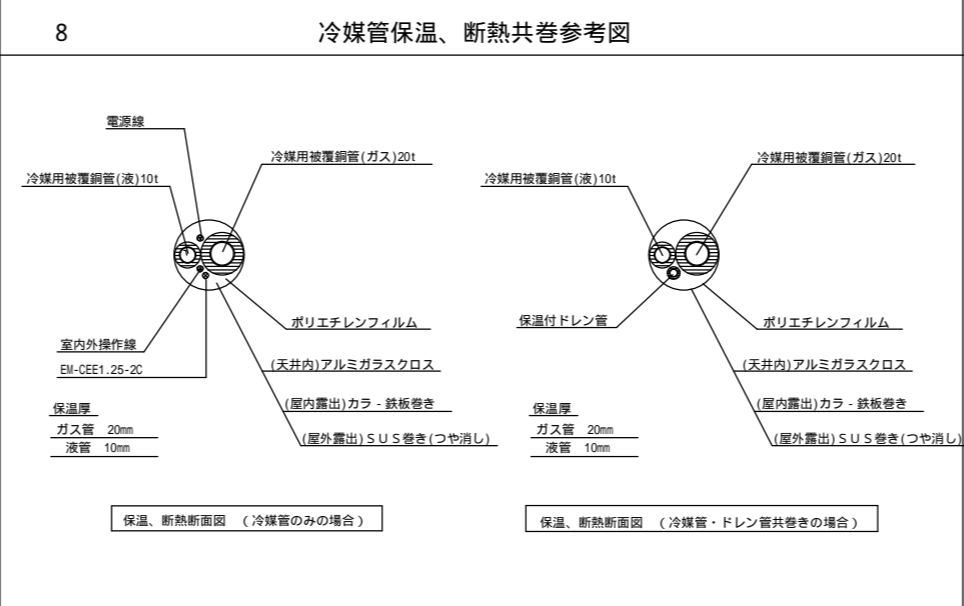
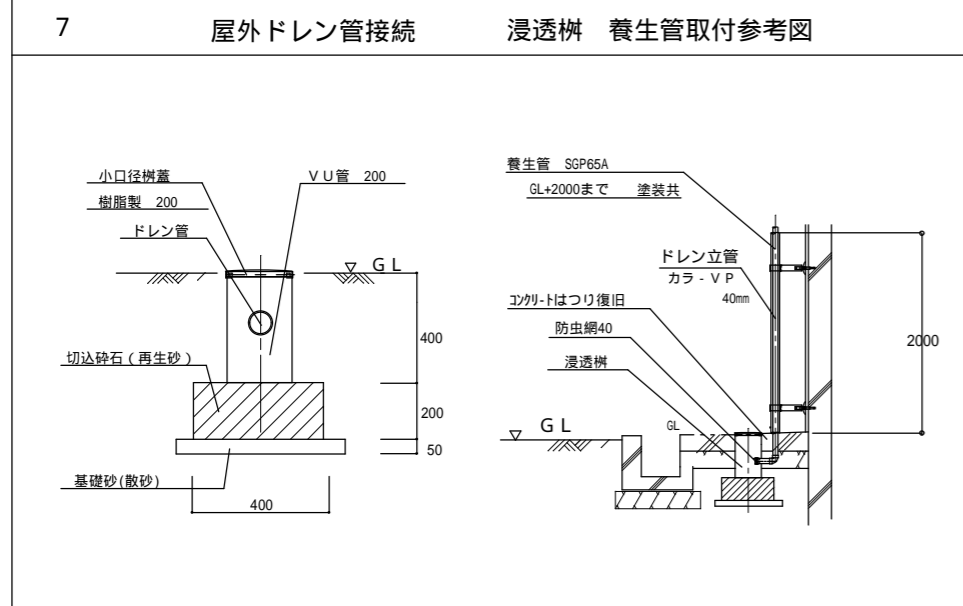
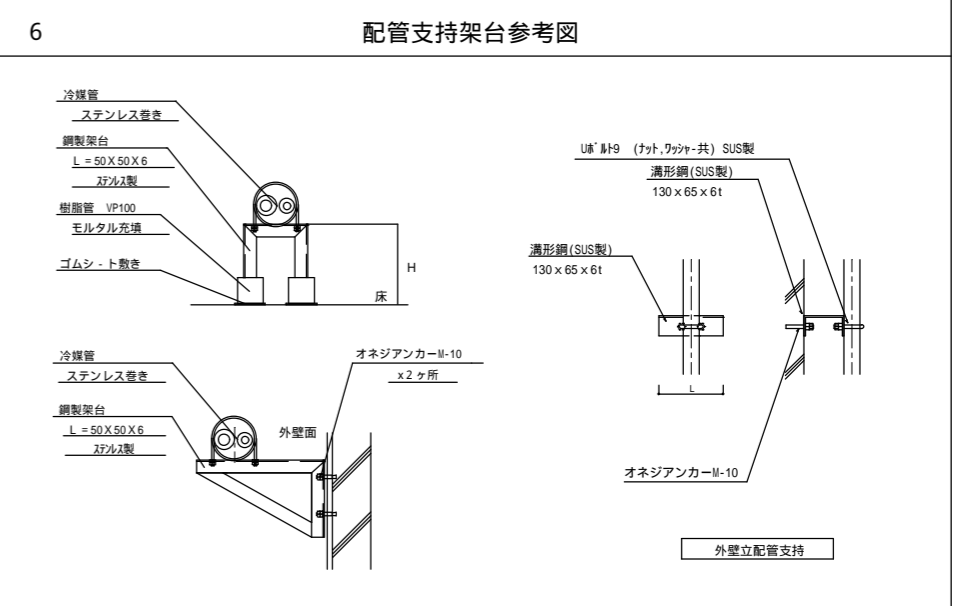
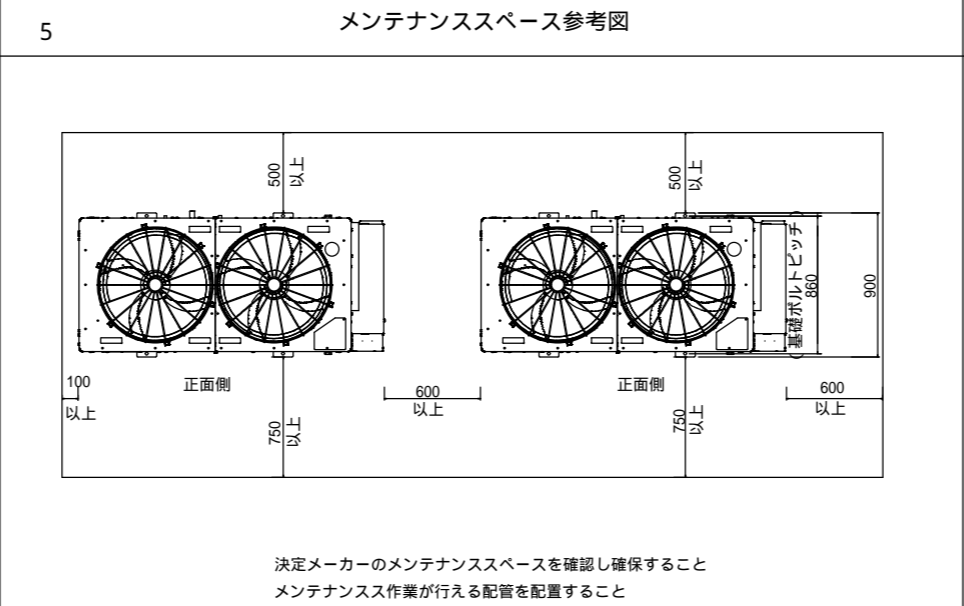
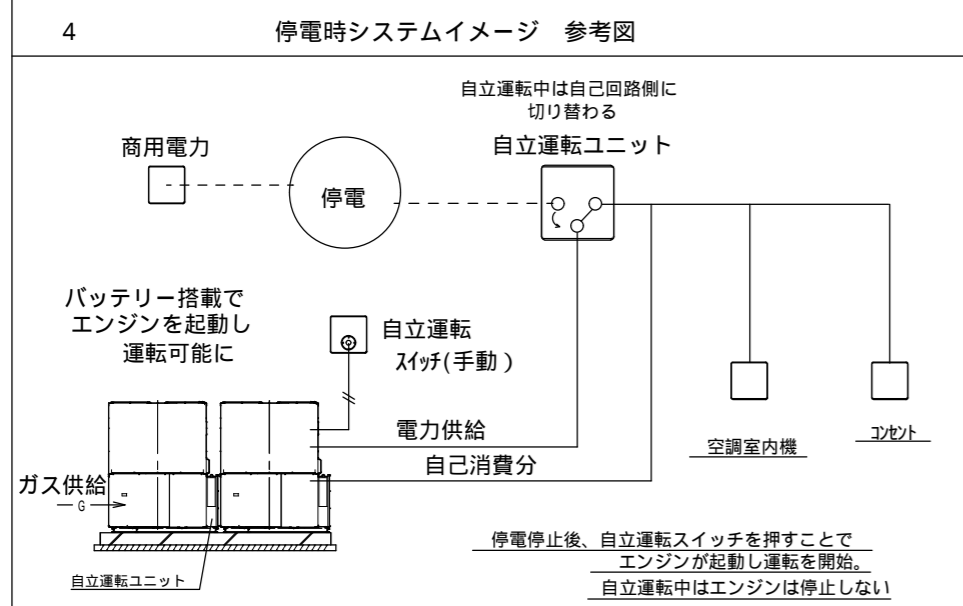
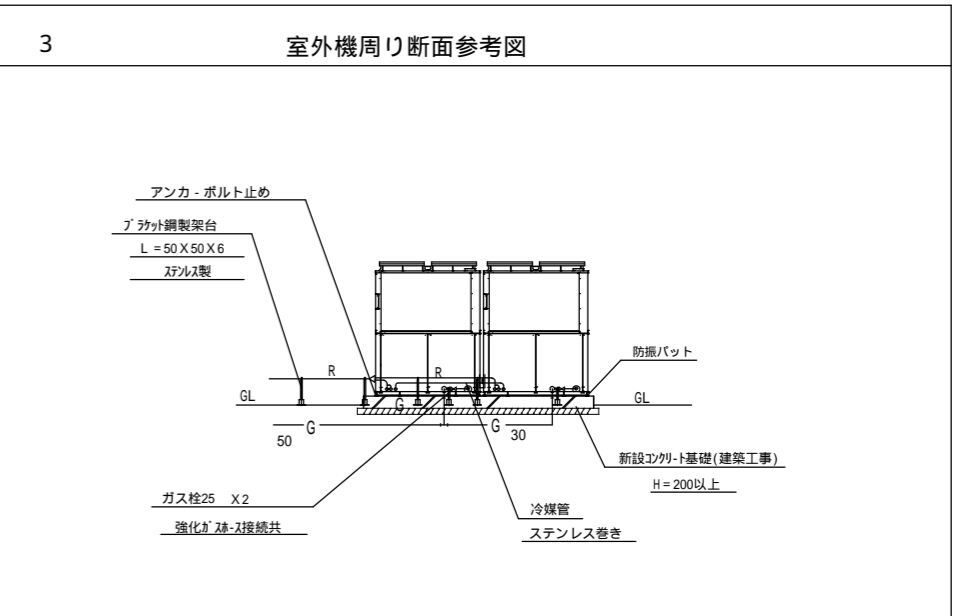
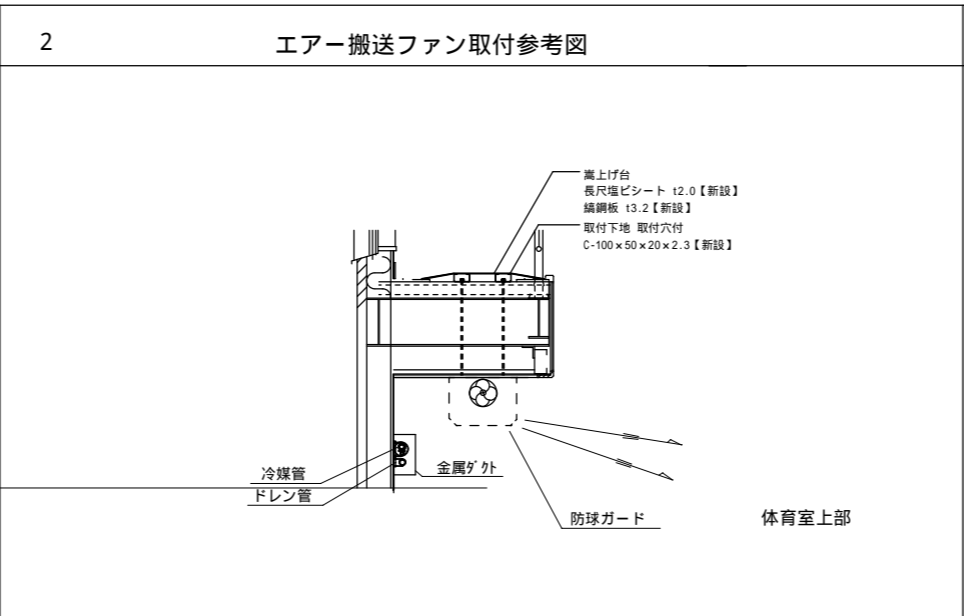
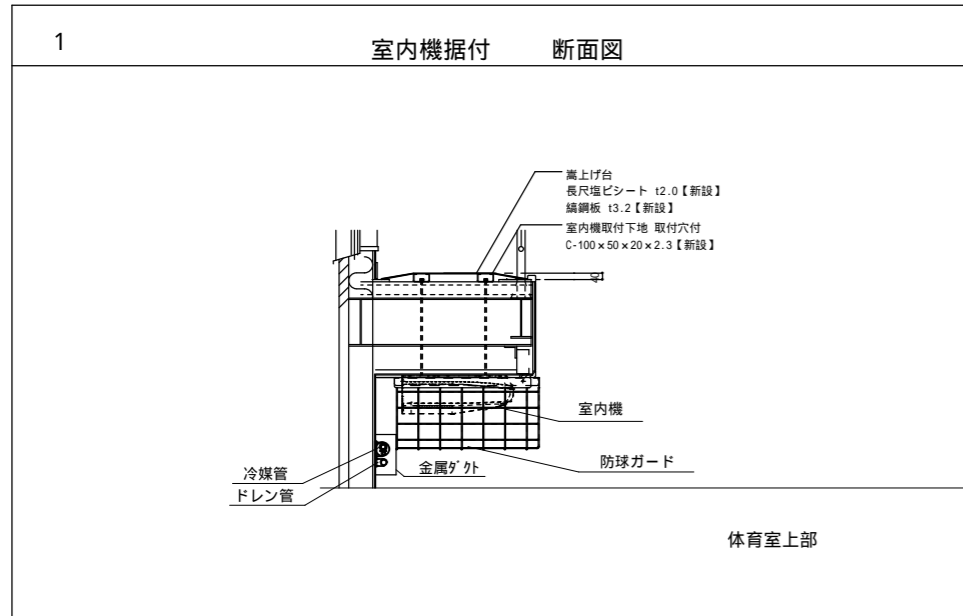
防球ガード仕様
 材質：SS400 t = 2.3mm
 6丸棒(一部 12丸棒)
 重量：本体約14.1kg ベース枠約5.4kg
 合計約20.6kg(金具含む)
 蝶番：B-1004-1-R×3(抜き差し式)
 B-1004-1-L×1(抜き差し式)
 キャッチクリップ：C-1007-12×4(ロック付き)
 仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装
 室内機参考サイズ：1590×690×235(幅×奥行×高さ)(mm)
 吊り下げアンカーボルトは、
 1/4又はM6ボルト以上のボルト
 4本で固定。

注意事項
 ・抜き差し蝶番は3個がRタイプ、
 1個(右から2番目)が、Lタイプを使用。
 そのLタイプの下側のネジ3本を外し、
 ガード全体を右側へずらすと、
 枠金具とガード部は分離できる。
 通常時は外すことの無いように。



天井固定ブラケット仕様
 材質：SS400 -50×50×3.2
 t = 9.0mm
 L-50×100×4
 重量：約40.4kg
 仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装





建築改修工事特記仕様書

【1】 工事概要
1. 工事場所
2. 敷地面積
3. 建築物概要
4. その他

【2】 適用範囲
現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。

【3】 工事区分
設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様
1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。

Table with 3 columns: Chapter, Item, and Description. Contains details for '適用基準等' and '建築材料等'.

Table with 3 columns: Chapter, Item, and Description. Contains details for '特別な材料の工法', '風圧力及び積雪に対する性能', '現場代理人', '工事工程報告', '工事実績情報の登録', '設備工事との取合い', '施工図等の取扱い', '工事写真', '電気保安技術者', '施工条件', '発生材の処理等', '廃石綿の処分地'.

Table with 3 columns: Chapter, Item, and Description. Contains details for '石綿含有建材の調査', '調査', '石綿含有分析方法', '既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与', '調査のための破壊部分の補修', '技能士', '既存破壊部分の補修方法', '工事種別'.

Table with 3 columns: Chapter, Item, and Description. Contains details for '17 施工の検査等', '18 化学物質の濃度測定', '完成図', '保全に関する資料', '1 足場その他', '2 既存部分の養生', '3 仮設間仕切り', '4 監督職員事務所'.

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
② 仮設工事	⑤ 工事用水 ⑥ 工事用電力 ⑦ 仮囲い等 ⑧ 設計 G L						
	② 土・鉄筋・コンクリート工事	⑩ 構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
② 土・鉄筋・コンクリート工事	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	⑪ コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	② 建設発生土の処理 (3.2.5)	⑫ 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³				
③ 鉄筋の種類 (5.2.1)	③ 鉄筋の種類 (5.2.1)	⑬ 寒中コンクリート (6.11.1)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	4 溶接金網 (5.2.2)	⑭ 暑中コンクリート (6.12.2)	暑中における構造体強度補正值 (S)				
⑤ コンクリートの種類 (6.2.1)	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	① 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	② 既存下地の処理 (3.2.6)	既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____				
⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	③ アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根保護防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 P 1 B 工法 B-1 B-2 表3.3.3 P 1 B I 工法 BI-1 BI-2 表3.3.4 P 2 A I 工法 AI-1 AI-2 表3.3.5 P 2 A 工法 A-1 A-2 表3.3.6 A-3 屋根露出防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 仕上塗料 種類 使用量 M 4 C 工法 C-1 C-2 表3.3.7 C-3 C-4 M 3 D 工法 D-1 D-2 表3.3.8 P 0 D 工法 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 仕上塗料 種類 使用量 P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 DI-1 DI-2 表3.3.9 M 4 D I 工法 屋内防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 P 1 E 工法 E-1 E-2 表3.3.10 P 2 E 工法	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	④ 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない				
⑦ セメントの種類 (6.3.1)	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑤ 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑥ 既存下地の処理 (3.2.6)	既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____				
⑧ 骨材 (6.3.1)	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑦ 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑧ 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない				
⑨ 混和材料 (6.3.1)	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑨ 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーノクロス (70g/m ² 程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様)厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様)厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 成形継ぎ目材 ルーフィング類製造所の指定品 屋上排水溝 図示による _____ ④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)		
	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑩ 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない				
訂 正	訂 正	訂 正	訂 正	訂 正	訂 正	訂 正	訂 正



一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名

大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事

DATE

建築改修工事特記仕様書 (2)

SCALE

A

No.

02

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3 防水改修工事	<p>排水口を設ける（開放性のある自転車置き場のといを除く） 養生鉄管を設ける（径 厚さ 長さ） 既存といの撤去及び養生（ ） 鋼管製といの防露巻（ 改修仕様表3.8.4による ） たてどい受金物（ ）</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th colspan="2">表面 処 理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種</td> <td>AB-2種</td> <td rowspan="4">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種</td> <td>AC-2種</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種</td> <td>BA-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BB-1種</td> <td>BB-2種</td> </tr> <tr> <td>曲げ材 オープン形式 シールド形式</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>BC-1種</td> <td>BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>C種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う（範囲 図示） 行わない</p> <p>下地補修の工法 図示</p> <p>板材折曲げ形の笠木取付方法 図示</p> <p>建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による</p>	種 類	幅	板厚(mm)	表面 処 理		備 考	250 形	250	1.6	AB-1種	AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種	AC-2種	350 形	350	2.0	BA-1種	BA-2種				BB-1種	BB-2種	曲げ材 オープン形式 シールド形式		2.0	BC-1種	BC-2種					C種			4 外壁改修工事	<p>(4.1.4) モルタル塗り仕上げ (4.3.5) 樹脂注入方法 -(4.3.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧注入法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式注入法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式注入法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>(4.1.4) タイル張り仕上げ (4.4.5) 樹脂注入方法 -(4.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧注入法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式注入法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式注入法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>タイル撤去後の補修</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧注入法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式注入法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式注入法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 ） 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	4 外壁改修工事	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様仕様書表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法（4.3.10(3)による）○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法（4.3.10(3)による）○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一般部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン全面</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン全面</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり</th> <th>長さ変化率</th> <th>引張接着性</th> <th>曲げ性能</th> <th>吸水性</th> <th>耐久性</th> </tr> <tr> <td>速度 (収縮)</td> <td>(材齢28日)</td> <td>(材齢28日)</td> <td>(72時間)</td> <td>(劣化曲げ強さ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(cm/s)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm2)</td> <td>(N/mm2)</td> <td>(%)</td> <td>(N/mm2)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル張替え工法用材料 既製目地材 使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>(4.1.4) タイル張り仕上げ (4.4.5) 樹脂注入方法 (4.4.9) 樹脂注入方法 -(4.4.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m)</th> <th>注入口 (箇所/m)</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一般部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン全面</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン全面</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン全面</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン</td> <td></td> <td></td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	アカービン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	一般部						指定部						アカービン部分	16		25			樹脂注入工法	25					アカービン全面	13	12		25		樹脂注入工法	20	20				アカービン全面	13	12		50		樹脂注入工法	20	20				注入口付アカービン部分	9		25			樹脂注入工法	16					注入口付アカービン全面	9	9		25		樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン全面	9	9		50		樹脂注入工法	16	16				広がり	長さ変化率	引張接着性	曲げ性能	吸水性	耐久性	速度 (収縮)	(材齢28日)	(材齢28日)	(72時間)	(劣化曲げ強さ)		(cm/s)	(%)	(N/mm2)	(N/mm2)	(%)	(N/mm2)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アカービン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	一般部						指定部						アカービン部分	16		25			樹脂注入工法	25					アカービン全面	13	12		25		樹脂注入工法	20	20				アカービン全面	13	12		50		樹脂注入工法	20	20				注入口付アカービン部分	9		25			樹脂注入工法	16					注入口付アカービン全面	9	9		25		樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン全面	9	9		50		樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン			25	25		樹脂注入工法						4 外壁改修工事	<p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>1箇所の面積 (㎡)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法（4.3.10(3)による）○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>タイル張り仕上げ 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修仕様仕様書4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) Uカット打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p> <p>建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形</p> <table border="1"> <tr> <th>ひび割れの幅 (mm)</th> <th>0.2~0.3未満</th> <th>0.3~0.5未満</th> <th>0.5~1.0以下</th> </tr> <tr> <th>注入孔の間隔 (mm)</th> <td>200程度</td> <td>300程度</td> <td>300程度</td> </tr> <tr> <th>注入量 (CC/mm)</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個) (抜き部分の補修方法)</p> <p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 充填工法(4.2.6)</p> <p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>モルタル 現場調査材料 () 既調合材料 () 既製目地材 使用する(形状)</p>	工 法	1箇所の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)		ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下	注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度	注入量 (CC/mm)				4 外壁改修工事	<p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧注入法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式注入法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式注入法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 ） 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	4 外壁改修工事	<p>3 欠損部改修</p> <p>(4.1.4) コンクリート打放し仕上げ (4.2.4) 充填工法 (4.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>(4.1.4) モルタル塗り仕上げ (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル張替え工法</td> <td>改修仕様表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>(4.1.4) タイル張り仕上げ (4.4.5) 樹脂注入方法 (4.4.7) 樹脂注入方法 -(4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		モルタル張替え工法	改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>5 目地改修工法 (4.1.4) 目地ひび割れ部改修工法 (4.4.5) 伸縮調整目地改修工法 (4.4.16) 位置 改修仕様仕様書4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) Uカット打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p> <p>6 樹脂注入工法 (4.2.4) ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 (4.2.5) 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm)</p> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個) (抜き部分の補修方法)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法(4.2.6) シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う</p> <p>8 アカービン注入工法(4.3.5) アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>9 注入口付アンカーピン注入工法(4.3.5) 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>10 モルタル張替え工法 (4.3.5) モルタル 現場調査材料 () 既調合材料 () 既製目地材 使用する(形状)</p>	4 外壁改修工事
種 類	幅	板厚(mm)	表面 処 理		備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
250 形	250	1.6	AB-1種	AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
300 形	300	1.8	AC-1種	AC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
350 形	350	2.0	BA-1種	BA-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			BB-1種	BB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
曲げ材 オープン形式 シールド形式		2.0	BC-1種	BC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
タイル張替え工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	アカービン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
アカービン部分	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
アカービン全面	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
アカービン全面	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン部分	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカービン全面	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン全面	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
広がり	長さ変化率	引張接着性	曲げ性能	吸水性	耐久性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
速度 (収縮)	(材齢28日)	(材齢28日)	(72時間)	(劣化曲げ強さ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
(cm/s)	(%)	(N/mm2)	(N/mm2)	(%)	(N/mm2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工 法	アカービン (本/m)	注入口 (箇所/m)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
アカービン部分	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
アカービン全面	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
アカービン全面	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン部分	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
樹脂注入工法	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカービン全面	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン全面	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカービン			25	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹脂注入工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工 法	1箇所の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入量 (CC/mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル張替え工法	改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
4 外壁改修工事	<p>2 2 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧注入法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式注入法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式注入法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 ） 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	4 外壁改修工事	<p>3 欠損部改修</p> <p>(4.1.4) コンクリート打放し仕上げ (4.2.4) 充填工法 (4.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>(4.1.4) モルタル塗り仕上げ (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル張替え工法</td> <td>改修仕様表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>(4.1.4) タイル張り仕上げ (4.4.5) 樹脂注入方法 (4.4.7) 樹脂注入方法 -(4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		モルタル張替え工法	改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>5 目地改修工法 (4.1.4) 目地ひび割れ部改修工法 (4.4.5) 伸縮調整目地改修工法 (4.4.16) 位置 改修仕様仕様書4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) Uカット打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p> <p>6 樹脂注入工法 (4.2.4) ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 (4.2.5) 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm)</p> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個) (抜き部分の補修方法)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法(4.2.6) シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う</p> <p>8 アカービン注入工法(4.3.5) アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>9 注入口付アンカーピン注入工法(4.3.5) 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>10 モルタル張替え工法 (4.3.5) モルタル 現場調査材料 () 既調合材料 () 既製目地材 使用する(形状)</p>	4 外壁改修工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
自動式低圧注入法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
手動式注入法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機械式注入法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
モルタル張替え工法	改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化型変成シリコン樹脂 系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																												
4 外壁改修工事	11 11ヶ所部分張替え工法及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所及びタイルの種類</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>既調合モルタル ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイルの試験張り</td> <td>行わない</td> <td>行う (施工箇所)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイルの見本焼</td> <td>行わない</td> <td>行う (範囲、仕様は図示による)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く)</td> <td>浮きの確認</td> <td>全面打診による確認を行う</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>接着力の試験</td> <td>接着力試験機による接着力試験を行う</td> <td>行わない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	その他	既調合モルタル ()									タイルの試験張り	行わない	行う (施工箇所)							タイルの見本焼	行わない	行う (範囲、仕様は図示による)							施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く)	浮きの確認	全面打診による確認を行う							接着力の試験	接着力試験機による接着力試験を行う	行わない							④ 外壁改修工事	15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>性能等級</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table>	種別	A種	B種	C種	性能等級	_____	_____	_____	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示			⑤ 建具改修工事	16 部分改修工法 (4.5.7)	<table border="1"> <tr> <th>仕上げ塗材の種類</th> <th>薄付け仕上げ塗材</th> <th>厚付け仕上げ塗材又は複層仕上げ塗材</th> </tr> <tr> <td>防水形複層仕上げ塗材</td> <td>マスチック塗材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>別図に示す範囲</td> <td></td> </tr> </table>	仕上げ塗材の種類	薄付け仕上げ塗材	厚付け仕上げ塗材又は複層仕上げ塗材	防水形複層仕上げ塗材	マスチック塗材		施工箇所	別図に示す範囲		8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>防虫網</th> <th>網の種類</th> <th>合成樹脂製</th> <th>ガラス繊維入り合成樹脂製</th> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>外部可動式</td> <td>固定式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線径、網目</td> <td colspan="3">0.25mm以上、16 - 18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>防鳥網</td> <td colspan="3">設置する</td> </tr> </table>	防虫網	網の種類	合成樹脂製	ガラス繊維入り合成樹脂製	形式	外部可動式	固定式		線径、網目	0.25mm以上、16 - 18メッシュ			防鳥網	設置する			13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	<p>マスターキーの製作 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) 作成しない</p> <p>鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) _____</p> <p>鍵箱 無 有</p>
	施工箇所及びタイルの種類	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	その他																																																																																																										
	既調合モルタル ()																																																																																																																		
	タイルの試験張り	行わない	行う (施工箇所)																																																																																																																
	タイルの見本焼	行わない	行う (範囲、仕様は図示による)																																																																																																																
	施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く)	浮きの確認	全面打診による確認を行う																																																																																																																
	接着力の試験	接着力試験機による接着力試験を行う	行わない																																																																																																																
	種別	A種	B種	C種																																																																																																															
	性能等級	_____	_____	_____																																																																																																															
	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																															
	気密性	A - 4																																																																																																																	
	水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																
	特見込み(mm)	図示																																																																																																																	
	仕上げ塗材の種類	薄付け仕上げ塗材	厚付け仕上げ塗材又は複層仕上げ塗材																																																																																																																
防水形複層仕上げ塗材	マスチック塗材																																																																																																																		
施工箇所	別図に示す範囲																																																																																																																		
防虫網	網の種類	合成樹脂製	ガラス繊維入り合成樹脂製																																																																																																																
形式	外部可動式	固定式																																																																																																																	
線径、網目	0.25mm以上、16 - 18メッシュ																																																																																																																		
防鳥網	設置する																																																																																																																		
12 窓下人研面台の補修	<p>タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>位置 改修仕様表4.4.2による 図示による</p>	17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	<p>外壁用塗膜防水塗り</p> <p>仕上げの形状 _____ 工法 _____</p> <p>外壁用仕上げ塗材の耐候性 _____</p> <p>下地拳動緩衝材の適用 適用する 適用しない</p> <p>吹付け工法の模様材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p> <p>外壁用仕上げ塗材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p>	9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</th> </tr> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table>	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)				性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示			14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																				
外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)																																																																																																																			
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																
気密性	A - 4																																																																																																																		
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																	
特見込み(mm)	図示																																																																																																																		
⑬ 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	<p>シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上げ塗材の上塗り材とする。)</p> <p>塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系)</p>	1 性能	「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p>	15 窓下人研面台の補修	<p>タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地</p> <p>位置 改修仕様表4.4.2による 図示による</p>	2 施工数量調査 (1.6.2)	<p>行う (建具金物 ガラス ガラス止め材 _____)</p> <p>施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>行わない</p>	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) (5.5.4) (5.5.5)	<p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修標準による)</p> <p>製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板類の厚さ 表5.4.2片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____ mm</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による</p>	16 部分改修工法 (4.5.7)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>性能等級</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>A - 3</td> <td colspan="2">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td>図示</td> <td>7 0</td> <td>1 0 0</td> </tr> </table>	種別	A種	B種	C種	性能等級	_____	_____	_____	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3	A - 4		水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示	7 0	1 0 0	17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	<p>外壁用塗膜防水塗り</p> <p>仕上げの形状 _____ 工法 _____</p> <p>外壁用仕上げ塗材の耐候性 _____</p> <p>下地拳動緩衝材の適用 適用する 適用しない</p> <p>吹付け工法の模様材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p> <p>外壁用仕上げ塗材の種類 _____ 所要量 _____ (kg/m²)</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	18 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																								
種別	A種	B種	C種																																																																																																																
性能等級	_____	_____	_____																																																																																																																
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																
気密性	A - 3	A - 4																																																																																																																	
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																	
特見込み(mm)	図示	7 0	1 0 0																																																																																																																
⑭ 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	3 改修工法 (5.1.3)	<p>既存建具を新規建具に改修する場合</p> <p>かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法)</p> <p>撤去工法 (はつり工法 引き抜き工法)</p> <p>新規に建具を設置する場合</p> <p>新規建具を設ける壁の開口方法 図示による _____</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による _____</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	19 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	4 防火戸 (5.1.4)	<p>図示による _____</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動</p> <p>運動させる (建具表による _____)</p> <p>運動させない</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	20 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)	<p>建具見本の製作 行う (建具番号 _____)</p> <p>特殊な建具の仮組 行う (建具番号 _____)</p> <p>ブラインドボックス等の再使用 (_____)</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	21 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	6 防犯建物部品 (5.1.7)	<p>開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドア 適用箇所 (_____) ・ サッシ 適用箇所 (_____) ・ シャッター 適用箇所 (_____) 	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	22 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	7 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)	<p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>A - 3</td> <td colspan="2">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td>図示</td> <td>7 0</td> <td>1 0 0</td> </tr> </table>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3	A - 4		水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示	7 0	1 0 0	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	23 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																								
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																
気密性	A - 3	A - 4																																																																																																																	
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																	
特見込み(mm)	図示	7 0	1 0 0																																																																																																																
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	<table border="1"> <tr> <th>防虫網</th> <th>網の種類</th> <th>合成樹脂製</th> <th>ガラス繊維入り合成樹脂製</th> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>外部可動式</td> <td>固定式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線径、網目</td> <td colspan="3">0.25mm以上、16 - 18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>防鳥網</td> <td colspan="3">設置する</td> </tr> </table>	防虫網	網の種類	合成樹脂製	ガラス繊維入り合成樹脂製	形式	外部可動式	固定式		線径、網目	0.25mm以上、16 - 18メッシュ			防鳥網	設置する			12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	24 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																												
防虫網	網の種類	合成樹脂製	ガラス繊維入り合成樹脂製																																																																																																																
形式	外部可動式	固定式																																																																																																																	
線径、網目	0.25mm以上、16 - 18メッシュ																																																																																																																		
防鳥網	設置する																																																																																																																		
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)</th> </tr> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table>	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)				性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示			12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	25 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																				
外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)																																																																																																																			
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																
気密性	A - 4																																																																																																																		
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																	
特見込み(mm)	図示																																																																																																																		
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 _____)</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	26 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) (5.5.4) (5.5.5)	<p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修標準による)</p> <p>製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板類の厚さ 表5.4.2片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____ mm</p> <p>ステンレス製のくつずりの仕上げ HL _____</p> <p>標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	27 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>A - 3</td> <td colspan="2">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td>図示</td> <td>7 0</td> <td>1 0 0</td> </tr> </table>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3	A - 4		水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示	7 0	1 0 0	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	28 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																								
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																
気密性	A - 3	A - 4																																																																																																																	
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																	
特見込み(mm)	図示	7 0	1 0 0																																																																																																																
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	<p>マスターキーの製作 作成する (_____ グループ、各グループ _____ 個) 作成しない</p> <p>鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) _____</p> <p>鍵箱 無 有</p>	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	29 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																																												
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3)	<p>駆動装置及び検出装置の性能</p> <p>引き戸用駆動装置性能値</p> <p>改修仕様 表5.9.1による (SSDL-1 SSDL-2 DSDL-1 DSDL-2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table> <p>車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置性能値</p> <p>改修仕様 表5.9.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>_____</td> </tr> </table>	種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源	_____	_____	_____	_____	_____	_____	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源	_____	_____	_____	_____	_____	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O _____) (表5.2.1)</p> <p>簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1)</p> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3)</p> <p>耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)</p>	30 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p>																																																																																						
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																														
_____	_____	_____	_____	_____	_____																																																																																																														
耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																															
_____	_____	_____	_____	_____																																																																																																															
14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	<p>防火材料の指定 なし _____</p> <p>下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修</p> <p>行う (参考工法: _____ 製造所: _____)</p> <p>行わない</p> <p>仕上げ塗材の耐候性 耐候形3種 _____</p> <p>仕上げ塗材の上塗材 溶媒 水系 _____</p> <p>樹脂 アクリル系 _____</p> <p>外観 つや有 つやなし メタリック</p> </																																																																																																																		

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5	<p>引き戸用検出装置性能値 改修標準 表5.9.3による</p> <table border="1"> <tr> <td>放射線周波数 電磁界耐性</td> <td>耐電圧</td> <td>防 錆</td> <td>防 滴</td> <td>電 源</td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 建具表による 引き戸検出装置の種類 表 5.9.4 () による 建具表による タッチスイッチの種類 無線式タッチスイッチ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房 大形押しボタンスイッチ 非接触スイッチ 凍結防止措置 行う</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>40以下</td> <td>40を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> </table> <p>性能等 品質・規格</p> <p>15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)</p> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>種 類 管理用シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3302</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> </table> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> <td>形 状</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z06又はF06を満足するもの</td> <td rowspan="2">インターロッキング形 オーバーラッピング形</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3322</td> <td>AZ90を満足するもの</td> </tr> </table> <p>18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ アルミ-ゲラックタイプ 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類等</th> <th>種 別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>70ト板ガラス</td> <td></td> <td>強化ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型板ガラス</td> <td></td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス</td> <td></td> <td>複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線入板ガラス</td> <td></td> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合わせガラス</td> <td></td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ (図5.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム建具</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	放射線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源	適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下	材 質	めっきの付着量	JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの	JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの	材 質	めっきの付着量	形 状	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形	JIS G 3322	AZ90を満足するもの	種 別	種類等	種 別	種類等	70ト板ガラス		強化ガラス		型板ガラス		熱線吸収板ガラス		網入板ガラス		複層ガラス		線入板ガラス		熱線反射ガラス		合わせガラス		倍強度ガラス		種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	鋼製建具				ステンレス建具				<p>20 ガラス留め材 (5.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>建 具 の 種 類</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>パテ (木製用)</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p> <p>21 ガラスブロック (5.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 調</th> <th>パター ン</th> <th>防 火 認 定</th> </tr> <tr> <td>x</td> <td>図示</td> <td>クリア 乳白</td> <td>か-() 熱線反射</td> <td>なし あり</td> </tr> </table> <p>品質規格はJIS A5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 A種 B種 代用樹種の適用 可 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標準5.7.2(2)(イ)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する</p> <p>かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種別 型 型 上張り (押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ぶすま 表面板の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm</p> <p>23 ポリカーボネイト樹脂板</p> <p>種類 厚さ mm</p> <p>24 両開きハンガー戸</p> <p>建具調整</p> <p>外壁面建具全てサッシクリーニング</p>	建 具 の 種 類	材 質	アルミニウム製	シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル	樹脂製	グレイジングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種	木製	パテ (木製用)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パター ン	防 火 認 定	x	図示	クリア 乳白	か-() 熱線反射	なし あり	合板の種類	規 格 等	備 考	普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)		天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)		特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)		MDF			<p>6</p> <p>揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2) (6.11.2) (6.11.4) (6.11.5) (6.13.2) (6.14.2) (6.16.4) (9.5.3) (9.5.4)</p> <p>2 他部分との取り合い等 (6.1.3)</p> <p>3 既存床の撤去等 (6.2.2)</p> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床材、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ ()</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ ()</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>工 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>ビニル床シート等</td> <td>下地材の除去</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床材</td> <td>機械的除去工法 目荒し工法</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>フローリング張り床材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイルカーペット</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4 章外壁改修工事による。</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標準4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標準6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083 (製材) に基づく製材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">下地用製材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th colspan="2">保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1級</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">造作用製材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th colspan="2">保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無節 上小節 小節 並</td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">広葉樹製材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th colspan="2">保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特等 1等 2等</td> <td>10%以下</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種 B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	工 法	施 工 箇 所	ビニル床シート等	下地材の除去	図示による	合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	フローリング張り床材			床タイル			タイルカーペット			下地用製材							使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理					1級							2級				造作用製材							使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理					無節 上小節 小節 並				広葉樹製材							使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理					特等 1等 2等	10%以下			使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率				A種 B種			<p>6</p> <p>使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマイルズ® C02京都の木認証書 (京都府産木材証明書及びウッドマイルズ® C02計算書) (注 1) を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書 (京都府産木材証明書) (注 2) を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL : 075-802-2991 注 1) 認証書 注 2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都府産木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都府産木材規格(KTS)材証明書 (発行機関 : (一社) 京都府木材組合連合会) を提出すること。</p> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">造作用集材材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>見付材面数</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面数</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">造作用集材材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> <th colspan="2">含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">15%以下</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧樹種名</th> <th>芯材樹種名</th> <th>寸法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">造作用単板積層材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>寸 法</th> <th colspan="2">表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">表面化粧加工なし 1等 2等 3等</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">造作用単板積層材</th> </tr> <tr> <th>使用箇所</th> <th>寸 法</th> <th colspan="2">表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">表面化粧加工なし</td> <td>14%以下</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 3079 (直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>曲げ性能 (強度等級)</th> <th>種 別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>押入れ、物入れ</td> <td></td> <td>5.5mm</td> <td></td> <td>1類</td> <td>広葉樹</td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2類</td> <td>2等以上</td> <td>難燃処理 防炎処理</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>針葉樹</td> <td>C-D以上</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>等級</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>畳床</td> <td></td> <td>2級</td> <td>12mm</td> <td></td> <td>1類</td> <td>C-D</td> <td></td> <td>防虫処理</td> </tr> <tr> <td>地材、フローリング張り</td> <td></td> <td>以上</td> <td></td> <td></td> <td>特類</td> <td>以上</td> <td></td> <td>強度等級</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 特類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 目</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	造作用集材材						使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質						1等 2等	使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質							1等 2等	造作用集材材						使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率						15%以下		使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率							15%以下	造作用単板積層材						使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質		防虫処理				表面化粧加工なし 1等 2等 3等		適用する 適用しない				表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工			造作用単板積層材						使用箇所	寸 法	表面の品質		含水率	防虫処理			表面化粧加工なし		14%以下	適用する 適用しない			表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工				施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)								使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理	押入れ、物入れ		5.5mm		1類	広葉樹	防虫処理					2類	2等以上	難燃処理 防炎処理						針葉樹	C-D以上	使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	畳床		2級	12mm		1類	C-D		防虫処理	地材、フローリング張り		以上			特類	以上		強度等級	使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理						1類 特類	使用箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理					1類 2類	使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理								<p>訂 正</p> <p>建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ</p> <p>BCY'S</p> <p>一般建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山 本 勝 義</p> <p>FILE No.</p> <p>工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事</p> <p>DATE</p> <p>建築改修工事特記仕様書 (5)</p> <p>SCALE</p> <p>A</p> <p>No.</p> <p>05</p>
放射線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
手動開き力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
手動閉じ力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材 質	めっきの付着量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材 質	めっきの付着量	形 状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバーラッピング形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
JIS G 3322	AZ90を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種 別	種類等	種 別	種類等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
70ト板ガラス		強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
型板ガラス		熱線吸収板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
網入板ガラス		複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
線入板ガラス		熱線反射ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
合わせガラス		倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
鋼製建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ステンレス建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
建 具 の 種 類	材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
アルミニウム製	シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
樹脂製	グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
木製	パテ (木製用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パター ン	防 火 認 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
x	図示	クリア 乳白	か-() 熱線反射	なし あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
合板の種類	規 格 等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
MDF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種 別	工 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
ビニル床シート等	下地材の除去	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
フローリング張り床材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
床タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
タイルカーペット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
下地用製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			1級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
造作用製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			無節 上小節 小節 並																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
広葉樹製材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			特等 1等 2等	10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
造作用集材材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
使用箇所	品 名	樹 種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
						1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
造作用集材材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
						15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
造作用単板積層材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質		防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			表面化粧加工なし 1等 2等 3等		適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
造作用単板積層材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	寸 法	表面の品質		含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		表面化粧加工なし		14%以下	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
押入れ、物入れ		5.5mm		1類	広葉樹	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				2類	2等以上	難燃処理 防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
					針葉樹	C-D以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
畳床		2級	12mm		1類	C-D		防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
地材、フローリング張り		以上			特類	以上		強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					1類 特類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
使用箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				1類 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
⑥ 内装改修工事	パーティクルボード <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> JAS 0360 に基づく構造用パネル <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> M D F <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 造作材化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							⑥ 内装改修工事	ビニル床タイル <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">接着形</td> <td>コボジヨビニル床タイル</td> <td>K T</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="3">無地 ○柄物</td> <td rowspan="3">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形</td> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> <td rowspan="2">○</td> <td>500×500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 帯電防止床シート 帯電防止タイル <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>性 能</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗係 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> 視覚障害者用床タイル <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>3 0 0 mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>1 5 0 mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はセラミックタイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 耐動荷重性床シート <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 防滑性床シート 防滑性床タイル <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ビニル幅木 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質 硬質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> ゴム床タイル張り <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 織じゅうたん <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒート'VD'工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> タフテッドカーペット <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリ'V'-工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> タイルカーペット <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き 階段部分 模様流し 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm 見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所	接着形	コボジヨビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	置敷形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0	○	500×500		薄型置敷きビニル床タイル	F O B				種 類	性 能	厚 さ (mm)		体積抵抗係 1.0×10 ⁹ 以下		種 類	形 状	備 考	塩化ビニル系	3 0 0 mm角		レジンコンクリート系	1 5 0 mm角		磁器又はセラミックタイル			種 類	厚 さ (mm)	備 考				種 類	寸 法	厚 さ (mm)				種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0	色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		単層品 積層品			種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所	A種			適用	無地	ヒート'VD'工法		B種					つづり縫い		C種							パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			グリ'V'-工法 全面接着工法	適用		種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	一種	ループパイル	500×500	6.5		二種					⑨ カーベツト敷き (6.9.2) - (6.9.3)	⑥ 内装改修工事	11 フローリング張り (6.11.2) - (6.11.6)	フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">70-100' 8'-1'等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">70-100' 7'00'1'等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2">8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td>接着工法</td> </tr> </table> 複合フローリング <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3">A種 B種 C種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート 仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考	70-100' 8'-1'等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		表6.11.3	根太張り工法	表6.11.5	直張り工法	70-100' 7'00'1'等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	15		接着工法	種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	15	釘留め工法	A種 B種 C種		根太張り工法	直張り工法				接着工法			⑥ 内装改修工事	12 置敷き (6.12.2)	種別 A種 B種 C種 D種 (KT-) 衝撃緩和型量 (量表: C1 C2)	⑥ 内装改修工事	13 セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による 種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>セッコウボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧セッコウボード(GB-D)</td> <td>杉板模様</td> <td>12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トラバーチン模様 (軽地下地は専用のものとする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不燃積層セッコウボード(GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 模様なし</td> <td>9.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>シーリングセッコウボード(GB-S)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化セッコウボード(GB-F)</td> <td>21(不燃)</td> <td>15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音あなきセッコウボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td>内部用</td> <td>フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>軒天用</td> <td>フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石棉)</td> <td>8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆層板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>板面の品質 防虫処理 行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧加工の方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 セッコウボードの目地処理 (表6.13.5) 継目処理 突付け 目透かし 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) ベベルエッジ スクエアエッジ	種 類	規 格	厚 さ (mm) 等	セッコウボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)	化粧セッコウボード(GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)		トラバーチン模様 (軽地下地は専用のものとする)		不燃積層セッコウボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)	シーリングセッコウボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化セッコウボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25		グラスウール吸音ボード(GW-B)	25		吸音あなきセッコウボード(GB-P)	9.5(準不燃)		ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	軒天用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2 (無石棉)	8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2	難燃木毛セメント板	30 25 20 15		断熱木毛セメント板	30 25 20 15		火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5)		無研磨品 (3 6 9 9.5)		普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種		板面の品質 防虫処理 行う		天然木化粧合板	厚さ 接着の程度		化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う		特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法		表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う		その他下張り用合板			⑥ 内装改修工事	14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)	防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 素地ごしらえ モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) セッコウボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)	施 工 箇 所	防火性能	品 質	規 格					⑥ 内装改修工事	15 天井廻り縁	材質 アルミニウム製 塩化ビニル製	⑥ 内装改修工事	16 モルタル塗り (6.15.2) - (6.15.6)	モルタル 現場調合材料 既調合材料() 既製目地材 設ける (形状) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 目地割り 2m程度 最大目地間隔 3m程度	⑥ 内装改修工事	17 タイル張り (6.16.2) - (6.16.4)	伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと 壁面 図示による タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない	⑥ 内装改修工事	タイルの種類 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・タイルの種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せつ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せつ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せつ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 壁タイル張りの工法 内装タイル 改良圧着張り 密着張り 改圧圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 既調合モルタル 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法	施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法	その他			磁器 陶器 せつ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注					磁器 陶器 せつ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注					磁器 陶器 せつ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注			⑥ 内装改修工事	18 セルフレベリング 材塗り (6.17.2) - (6.17.3)	塗厚 (mm) 10 15	⑥ 内装改修工事	① 塗装材料 (7.1.3)	塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F	⑥ 内装改修工事	② 下地調整 (7.2.1) - (7.2.7)	塗替えて下地調整の種類がB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)	⑥ 内装改修工事	<table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R B種</td> <td>不透明塗りの場合はR B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>R A種 R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>R A種 R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル及びセッコウ'ラス'面</td> <td>R A種 R B種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コナート面及びA L C / パネル面</td> <td>R A種 R B種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コナート面及び押出成形セ'ト'面</td> <td>R A種 R B種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セッコウボード及びその他'ド'面</td> <td>R A種 R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R C種</td> <td></td> </tr> </table>	素 地	種 別	備 考	木部	R A種		R B種	不透明塗りの場合はR B種	R C種		鉄鋼面	R A種 R B種		R C種		亜鉛めっき鋼面	R A種 R B種		R C種		モルタル及びセッコウ'ラス'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R C種		コナート面及びA L C / パネル面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R C種		コナート面及び押出成形セ'ト'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R C種		セッコウボード及びその他'ド'面	R A種 R B種		R C種		⑥ 内装改修工事	訂 正	建築改修工事特記仕様書 (6) SCALE A No. 06
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
接着形	コボジヨビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	単層ビニル床タイル	T T	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
置敷形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0	○	500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	性 能	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	体積抵抗係 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
塩化ビニル系	3 0 0 mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
レジンコンクリート系	1 5 0 mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
磁器又はセラミックタイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
A種			適用	無地	ヒート'VD'工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
B種					つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		グリ'V'-工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
一種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
70-100' 8'-1'等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
70-100' 7'00'1'等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			15			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	15	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種 類	規 格	厚 さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
セッコウボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
化粧セッコウボード(GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	トラバーチン模様 (軽地下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
不燃積層セッコウボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
シーリングセッコウボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
強化セッコウボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
吸音あなきセッコウボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	軒天用	フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2 (無石棉)	8.0 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	無研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	板面の品質 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
天然木化粧合板	厚さ 接着の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他下張り用合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施 工 箇 所	防火性能	品 質	規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		磁器 陶器 せつ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		磁器 陶器 せつ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		磁器 陶器 せつ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
木部	R A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	R B種	不透明塗りの場合はR B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
鉄鋼面	R A種 R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
亜鉛めっき鋼面	R A種 R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
モルタル及びセッコウ'ラス'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コナート面及びA L C / パネル面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コナート面及び押出成形セ'ト'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
セッコウボード及びその他'ド'面	R A種 R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												



一級建築士事務所
 一般建築士登録第 204199 号
 山本 勝義

大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事

DATE

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																	
⑦ 塗装改修工事	3 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7) <table border="1"> <tr><th colspan="2">下地面等</th><th colspan="2">種 別</th></tr> <tr><td>木部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>A種</td><td>B種</td></tr> <tr><td></td><td>透明塗料塗りの場合</td><td>A種</td><td>B種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面 (DP以外)</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td>C種</td></tr> <tr><td>鉄鋼面 (DP)</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td>C種</td></tr> <tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td></td></tr> <tr><td>珪素面及びせっこうアスター面 (DP)</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td></td></tr> <tr><td>コクリート面 (DP以外) 及びALCA[®] 珪面</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td></td></tr> <tr><td>押出成形セメント板面及びコクリート面 (DP)</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td></td></tr> <tr><td>コクリート面 (DPのみ)</td><td></td><td>A種</td><td>B種</td><td></td></tr> <tr><td>せっこうボード面及びその他のボード面</td><td>目地: 継目処理工法</td><td>A種</td><td>B種</td></tr> <tr><td></td><td>目地: 継目処理工法以外</td><td>A種</td><td>B種</td></tr> </table>	下地面等		種 別		木部	不透明塗料塗りの場合	A種	B種		透明塗料塗りの場合	A種	B種	鉄鋼面 (DP以外)		A種	B種	C種	鉄鋼面 (DP)		A種	B種	C種	亜鉛めっき鋼面		A種	B種		珪素面及びせっこうアスター面 (DP)		A種	B種		コクリート面 (DP以外) 及びALCA [®] 珪面		A種	B種		押出成形セメント板面及びコクリート面 (DP)		A種	B種		コクリート面 (DPのみ)		A種	B種		せっこうボード面及びその他のボード面	目地: 継目処理工法	A種	B種		目地: 継目処理工法以外	A種	B種	8 1 1 耐震補強工事 (鉄筋工事)	1 鉄筋の種類 (8.2.1)	(表8.2.1) <table border="1"> <tr><th>異形鉄筋</th><th>種類の記号</th><th>径 (mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td></td><td>SD295</td><td>D16以下</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>SD345</td><td>D19以上</td><td></td></tr> </table> SD295はFc:21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考		SD295	D16以下			SD345	D19以上		8 1 2 耐震補強工事 (コンクリート工事)	10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)	コンクリートの種類 普通コンクリート 設計基準強度 18N/mm2 スラブ 15cm又は18cm セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ()																													
	下地面等		種 別																																																																																																					
	木部	不透明塗料塗りの場合	A種	B種																																																																																																				
		透明塗料塗りの場合	A種	B種																																																																																																				
	鉄鋼面 (DP以外)		A種	B種	C種																																																																																																			
鉄鋼面 (DP)		A種	B種	C種																																																																																																				
亜鉛めっき鋼面		A種	B種																																																																																																					
珪素面及びせっこうアスター面 (DP)		A種	B種																																																																																																					
コクリート面 (DP以外) 及びALCA [®] 珪面		A種	B種																																																																																																					
押出成形セメント板面及びコクリート面 (DP)		A種	B種																																																																																																					
コクリート面 (DPのみ)		A種	B種																																																																																																					
せっこうボード面及びその他のボード面	目地: 継目処理工法	A種	B種																																																																																																					
	目地: 継目処理工法以外	A種	B種																																																																																																					
異形鉄筋	種類の記号	径 (mm)	備 考																																																																																																					
	SD295	D16以下																																																																																																						
	SD345	D19以上																																																																																																						
4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 <table border="1"> <tr><th>素地面</th><th>塗装の種類</th><th>塗料の種類</th><th>工程の種類</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="4">鉄鋼面</td><td>SOP (工程の種類別は表7.4.3)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>A種</td><td>C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>E-P-G (工程の種類別は表7.4.3)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>A種 B種</td><td>C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>DP (工程の種類別は表7.4.4)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>7.4.2(1)(イ)による A種</td><td>○B種(下地調整) ○C種(下地調整)</td><td></td></tr> <tr><td>亜鉛めっき鋼面 (工程の種類別は表7.4.5)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>7.4.2(1)(イ)による A種</td><td>○A種</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP (工程の種類別は表7.4.5)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>A種 ○B種</td><td>C種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>E-P-G (工程の種類別は表7.4.5)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>B種 ○</td><td>A種 ○</td><td></td></tr> <tr><td>DP (工程の種類別は表7.4.6)</td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>C種 ○</td><td>B種 ○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>塗替え 新規見え掛け</td><td>C種 ○</td><td>A種 ○</td><td></td></tr> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考	鉄鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛け	A種	C種 ○		E-P-G (工程の種類別は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛け	A種 B種	C種 ○		DP (工程の種類別は表7.4.4)	塗替え 新規見え掛け	7.4.2(1)(イ)による A種	○B種(下地調整) ○C種(下地調整)		亜鉛めっき鋼面 (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え 新規見え掛け	7.4.2(1)(イ)による A種	○A種		亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え 新規見え掛け	A種 ○B種	C種 ○		E-P-G (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え 新規見え掛け	B種 ○	A種 ○		DP (工程の種類別は表7.4.6)	塗替え 新規見え掛け	C種 ○	B種 ○			塗替え 新規見え掛け	C種 ○	A種 ○		2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm)	3 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)	部 位 接 合 方 法 径 (mm) <table border="1"> <tr><td>重ね継手</td><td>ガス圧接継手</td><td>D19以上</td></tr> <tr><td>機械式継手</td><td>溶接継手</td><td></td></tr> <tr><td>重ね継手</td><td>ガス圧接継手</td><td>D16以下</td></tr> <tr><td>機械式継手</td><td>溶接継手</td><td></td></tr> </table>	重ね継手	ガス圧接継手	D19以上	機械式継手	溶接継手		重ね継手	ガス圧接継手	D16以下	機械式継手	溶接継手		3 構造体強度補正值 (8.2.5)	気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4) <table border="1"> <tr><th rowspan="2">予想平均気温 ()</th><th rowspan="2">補正值 (S)</th><th colspan="3">期 間 (打 設 日)</th></tr> <tr><th>南部地域</th><th>中部地域</th><th>北部地域</th></tr> <tr><td>普通 早強</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8以上</td><td>5以上</td><td>3</td><td>3/6 ~ 6/31</td><td>3/11 ~ 7/20</td><td>3/11 ~ 7/10</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>N/mm2</td><td>9/11 ~ 11/15</td><td>9/1 ~ 11/5</td><td>9/1 ~ 10/31</td></tr> <tr><td>0以上</td><td>0以上</td><td>6</td><td>11/16 ~ 3/5</td><td>11/ 6 ~ 3/10</td><td>11/ 1 ~ 3/10</td></tr> <tr><td>8未満</td><td>5未満</td><td>N/mm2</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	予想平均気温 ()	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)			南部地域	中部地域	北部地域	普通 早強					8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/31	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10			N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2				11 コクリート押入等の受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考																																																																																																				
鉄鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛け	A種	C種 ○																																																																																																				
	E-P-G (工程の種類別は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛け	A種 B種	C種 ○																																																																																																				
	DP (工程の種類別は表7.4.4)	塗替え 新規見え掛け	7.4.2(1)(イ)による A種	○B種(下地調整) ○C種(下地調整)																																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面 (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え 新規見え掛け	7.4.2(1)(イ)による A種	○A種																																																																																																				
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え 新規見え掛け	A種 ○B種	C種 ○																																																																																																				
	E-P-G (工程の種類別は表7.4.5)	塗替え 新規見え掛け	B種 ○	A種 ○																																																																																																				
	DP (工程の種類別は表7.4.6)	塗替え 新規見え掛け	C種 ○	B種 ○																																																																																																				
		塗替え 新規見え掛け	C種 ○	A種 ○																																																																																																				
重ね継手	ガス圧接継手	D19以上																																																																																																						
機械式継手	溶接継手																																																																																																							
重ね継手	ガス圧接継手	D16以下																																																																																																						
機械式継手	溶接継手																																																																																																							
予想平均気温 ()	補正值 (S)	期 間 (打 設 日)																																																																																																						
		南部地域	中部地域	北部地域																																																																																																				
普通 早強																																																																																																								
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/31	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																																			
		N/mm2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																																																																																			
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10																																																																																																			
8未満	5未満	N/mm2																																																																																																						
5 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1) <table border="1"> <tr><th>記 号</th><th>名 称</th><th colspan="3">種 別</th></tr> <tr><td rowspan="2">SOP</td><td rowspan="2">合成樹脂調合ペイント塗り</td><td>木部</td><td>新規外部</td><td>A種 B種 C種</td></tr> <tr><td></td><td>新規内部</td><td>A種 B種 C種</td></tr> <tr><td rowspan="2">種類</td><td rowspan="2">1種</td><td>鉄鋼面</td><td>塗替え</td><td>A種 B種 C種</td></tr> <tr><td></td><td>工種4は行わない</td><td>C種</td></tr> <tr><td rowspan="2">C L</td><td rowspan="2">カワカ塗り</td><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>鋼製建具</td><td>A種 B種 C種</td></tr> <tr><td></td><td>塗替え</td><td>A種 B種 C種</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>その他塗替え・新規</td><td>A種 B種 C種</td><td></td></tr> </table>	記 号	名 称	種 別			SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部	新規外部	A種 B種 C種		新規内部	A種 B種 C種	種類	1種	鉄鋼面	塗替え	A種 B種 C種		工種4は行わない	C種	C L	カワカ塗り	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	A種 B種 C種		塗替え	A種 B種 C種			その他塗替え・新規	A種 B種 C種		4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表8.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 <table border="1"> <tr><th>施 工 箇 所 等</th><th>最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)</th></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>	施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)			4 型枠 (せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8)	合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コクリート型枠用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) 12 打放し仕上げのせき板 合板せき板を用いる場合 (表8.1.4) <table border="1"> <tr><th>種 別</th><th>板 面 の 品 質</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr><td>A種</td><td>8.2.7(2)(7)</td><td></td></tr> <tr><td>B種</td><td>8.2.7(2)(4)</td><td></td></tr> <tr><td>C種</td><td>8.2.7(2)(4)</td><td></td></tr> </table> 合板せき板を用いない場合 せき板の材料 コンクリートの仕上げの平たんさ <table border="1"> <tr><th>種 別</th><th>適 用 箇 所</th></tr> <tr><td>a種</td><td></td></tr> <tr><td>b種</td><td></td></tr> <tr><td>c種</td><td></td></tr> </table>	種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所	A種	8.2.7(2)(7)		B種	8.2.7(2)(4)		C種	8.2.7(2)(4)		種 別	適 用 箇 所	a種		b種		c種		1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)	金属系アンカー 引張耐力 径 セット方式 本体打込み式改良型 接合筋の種類 長さ 径 接着系アンカー 引張耐力 種類 カプセル型回転・打撃式 アンカー筋 径 埋込み長さ 新設壁内への定着長さ 埋め込み配管等の探査 範囲 あと施工アンカー施工部分全て 方法 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に 差し出しを行う。 図示による																																							
記 号	名 称	種 別																																																																																																						
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部	新規外部	A種 B種 C種																																																																																																				
			新規内部	A種 B種 C種																																																																																																				
種類	1種	鉄鋼面	塗替え	A種 B種 C種																																																																																																				
			工種4は行わない	C種																																																																																																				
C L	カワカ塗り	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	A種 B種 C種																																																																																																				
			塗替え	A種 B種 C種																																																																																																				
		その他塗替え・新規	A種 B種 C種																																																																																																					
施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)																																																																																																							
種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所																																																																																																						
A種	8.2.7(2)(7)																																																																																																							
B種	8.2.7(2)(4)																																																																																																							
C種	8.2.7(2)(4)																																																																																																							
種 別	適 用 箇 所																																																																																																							
a種																																																																																																								
b種																																																																																																								
c種																																																																																																								
		5 圧接完了後の試験 (8.3.8)	試験方法 超音波探傷試験を全圧接部で行う。	6 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	形状 スパイラル筋 種類の記号 SR235 または SWM-P 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による ()	2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 行わない 行う 施工確認試験 行う(引張試験機による引張試験 確認強度) 行わない 1ロット 1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 1ロットに対し3本、無作為に抜き取る																																																																																																	
		1 コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		1 コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		1 コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)	監督職員の承諾する工場 建築基準法第6条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J)グレード以上													
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
		2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種 (施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種 (施工箇所)	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	適用する 適用しない	3 鋼材の種類 (8.2.8)	種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 JIS G 3101 SM400A JIS G 3106 SN400A JIS G 3136 図示による																																																																																																	
		1 コクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		1 コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		6 コンクリートの試験 (8.8.2) ~ (8.8.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 トルシア高力ボルト (建築基準法の認定品) J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び すべり係数試験 対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量																																								
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
		2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種 (施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種 (施工箇所)	7 軽量コンクリート (8.9.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 気乾単位容積質量 t/m3	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 トルシア高力ボルト (建築基準法の認定品) J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び すべり係数試験 対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量																																																																																																	
		1 コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		1 コンクリートの種類 類 類 <table border="1"> <tr><th colspan="4">普通コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td>構造体</td><td>基礎 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>上部 2.4</td><td>1.8</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="4">軽量コンクリート</th></tr> <tr><td>打 設 部 位(適用箇所)</td><td>Fc(N/mm2)</td><td>スラブ(cm)</td><td>備 考</td></tr> <tr><td></td><td>2.1</td><td>2.1</td><td></td></tr> </table>	普通コンクリート				打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考	構造体	基礎 2.4	1.8			上部 2.4	1.8		軽量コンクリート				打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考		2.1	2.1		8 暑中コンクリート (8.10.2)	暑中における構造強度補正值 (S) <table border="1"> <tr><th>地 域</th><th>日平均気温が25度を超える期間(打設日)</th><th>補 正 値</th></tr> <tr><td>北 部 地 域</td><td>7月11日 ~ 8月31日</td><td>6 N/mm2</td></tr> <tr><td>中 部 地 域</td><td>7月21日 ~ 8月31日</td><td>3 N/mm2</td></tr> <tr><td>南 部 地 域</td><td>7月 1 日 ~ 9月10日</td><td></td></tr> </table>	地 域	日平均気温が25度を超える期間(打設日)	補 正 値	北 部 地 域	7月11日 ~ 8月31日	6 N/mm2	中 部 地 域	7月21日 ~ 8月31日	3 N/mm2	南 部 地 域	7月 1 日 ~ 9月10日		4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 トルシア高力ボルト (建築基準法の認定品) J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び すべり係数試験 対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量																												
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
普通コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
構造体	基礎 2.4	1.8																																																																																																						
	上部 2.4	1.8																																																																																																						
軽量コンクリート																																																																																																								
打 設 部 位(適用箇所)	Fc(N/mm2)	スラブ(cm)	備 考																																																																																																					
	2.1	2.1																																																																																																						
地 域	日平均気温が25度を超える期間(打設日)	補 正 値																																																																																																						
北 部 地 域	7月11日 ~ 8月31日	6 N/mm2																																																																																																						
中 部 地 域	7月21日 ~ 8月31日	3 N/mm2																																																																																																						
南 部 地 域	7月 1 日 ~ 9月10日																																																																																																							
		2 普通コンクリートの材料 (8.2.5)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種 (施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種 (施工箇所)	9 寒中コンクリート	予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標準第6章第11節 (寒中コンクリート)による。	4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 トルシア高力ボルト (建築基準法の認定品) J I S 高力ボルト (JIS B 1186) 2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び すべり係数試験 対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による J I S 高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量																																																																																																	



一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 勝義

FILE No.

工事名

大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事

DATE

建築改修工事特記仕様書 (7)

SCALE

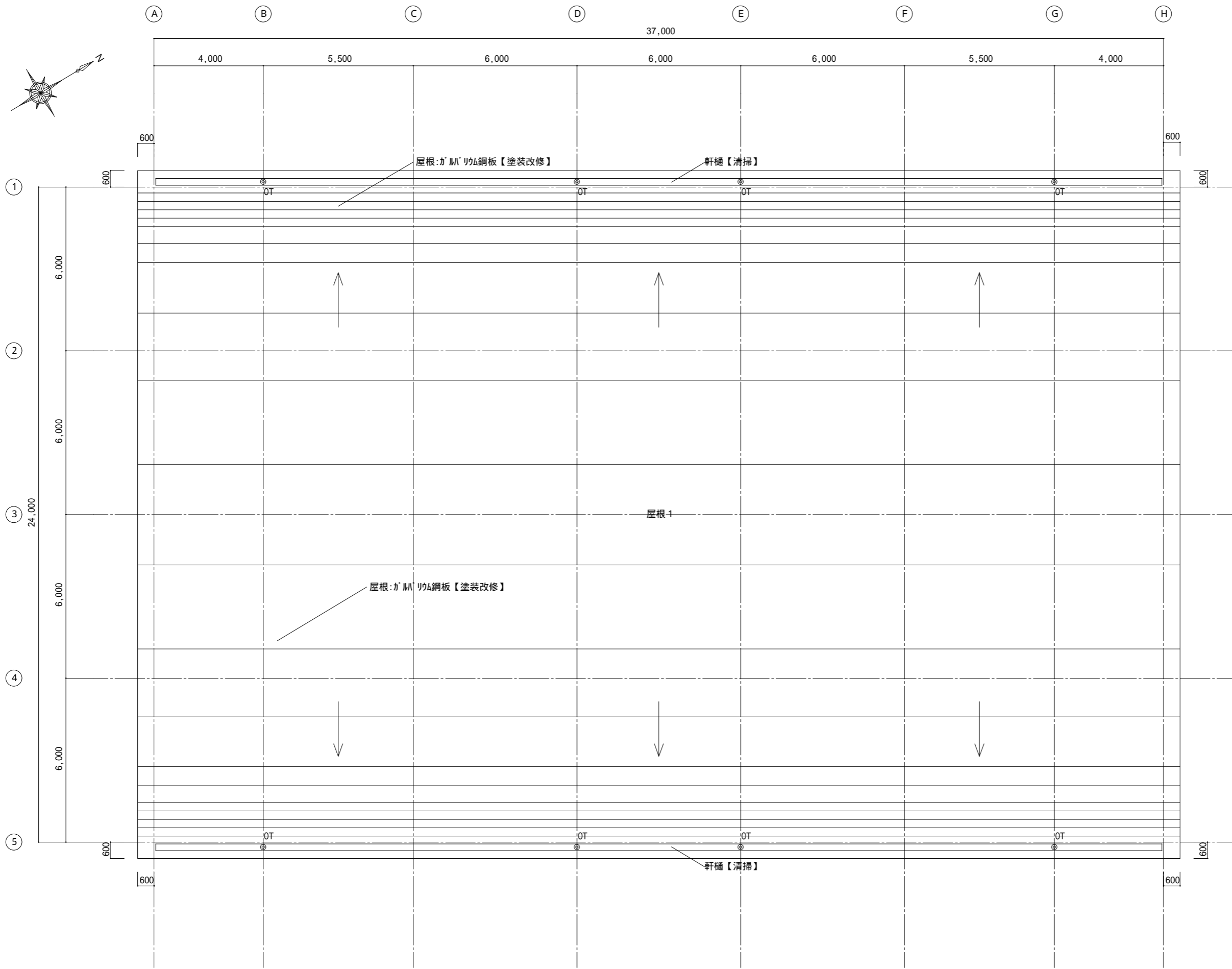
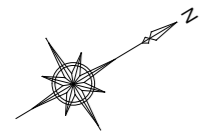
A

No.

07

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																												
8 4 耐震補強工事(鉄骨工事)	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	<p>摩擦面の処理 プラスト処理(表面粗度 5.0 μm Rz以上) りん酸塩処理 図示による() すべり耐力等の確認方法 試験方法等 図示による (対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)</p>	8 4 耐震補強工事(鉄骨工事)	15 耐火被覆 (8.18.2) ~ (8.18.9)	<p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スズ張り及び塗布</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		スズ張り及び塗布	-		耐火塗料			性能	適用箇所(部位・部分)	30分耐火		1時間耐火		2時間耐火		3時間耐火		8 6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)	1 補強工法	<p>新設耐震壁 増付耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁 製造所及び専門業者 ()</p>	8 7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	3 既存部分の処理 (8.22.3)	目荒しの程度 図示による
	種類	材料・工法		適用箇所(部位・部分)																																			
	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																																					
	耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板																																					
	耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																					
	スズ張り及び塗布	-																																					
	耐火塗料																																						
	性能	適用箇所(部位・部分)																																					
	30分耐火																																						
	1時間耐火																																						
	2時間耐火																																						
	3時間耐火																																						
	6 溶接材料 (8.2.10)	<p>溶接材料 改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による 図示による</p>		16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) <small>公共建築工事標準仕様書(84版)による。</small>	2 既存部分の撤去 (8.21.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。 図示による</p>	4 既存構造体との取合い (8.22.7)	<p>割裂補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により径径が異なるので注意する) 図示による</p>																															
	7 スタッド (8.2.11)	<p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			適用 構造用アンカーボルト 材質 SNR400B アンカーフレームの形状及び寸法 図示による 建方用アンカーボルト 材質 SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1)	3 既存部分の処理 (8.21.3)	<p>目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合) 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による</p>	5 仕上げ (8.22.9)	図示による																			
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																					
・16																																							
・19																																							
・22																																							
8 工作図 (8.13.2)	高力ボルト、普通ボルト及びアカボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 図示による(図に無い場合は鉄骨設計基準による)	1 グラウト材 (8.2.12)	<p>グラウト材 早強型特殊セメント系無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの調査 製造所で調査されたプレミックスタイプ 現場調合形</p> <p>無収縮グラウト材の品質 圧縮強度 (N/mm²) 30以上 <small>一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄筋コンクリート壁増設工事の壁側部)</small> コンクリートJ140+値(秒) 6~10 乾燥収縮 (10⁻⁴) 0</p> <p>グラウト材の品質管理は次による 圧縮強度試験 行う 行わない コンシステンシー試験 行う 行わない</p>	4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)	<p>割裂補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 AN型鉄筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による</p> <p>開口部増設壁の開口部鉄筋及び増設モで壁の端部横筋 ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き 図示による</p>	1 補強工法	<p>溶接金網巻き工法 鋼板巻き工法 連続繊維補強工法</p>	溶接閉鎖フープ巻き工法 帯板巻き付け工法																															
9 ボルト孔 (8.13.8)	母屋又は副縁の取付けに使用する普通ボルトの孔型 ねじの呼び径 +1.0 mm	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) <small>公共建築工事標準仕様書(84年版)(7.2.9)(7.10.3)による。</small>	<p>モルタルの種類 材料の調査等</p> <p>厚さ 図示による 工法 A種 B種</p>	5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)	<p>流込み工法 圧入工法</p> <p>8.19.9の方法による他、以下に注意する 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力による安全性を確保の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力による安全性を確保の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>																														
10 仮組	実施する 部位() 実施しない			6 既存構造体との取合い (8.21.9)	<p>流込み工法 圧入工法</p> <p>8.19.9の方法による他、以下に注意する 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による</p>	3 既存部分の処理 (8.23.3)	目荒し程度	平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による	3 既存部分の処理 (8.23.3)	目荒し程度	平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による																												
11 技能資格者	溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う 試験の要領 図示による			7 仕上げ(8.21.10)	図示による	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ _____ mm 打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>																														
12 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)	<p>開先の形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による</p> <p>鋼製エンドタブの切断 有 無 切断する箇所及び切断範囲 図示による 切断面の仕上げ グライNDERにより、粗さ 100μm Rz 程度以下及びノッチ深さ 1mm 程度以下に仕上げ</p> <p>スカラップの形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ</p>			1 補強工法	<p>内側補強工法 枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース 枠付き鉄骨斜杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース 枠付き開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 ()</p> <p>外側補強工法 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法 製造所及び専門業者 ()</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の外側剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の外側剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm</p>																														
13 溶接部の試験 (8.15.12)	<p>H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 「突合むね継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>浸透探傷試験(JIS Z 2343-1) 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数 検査水準 第6水準 第__水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数</p>			2 既存部分の撤去 (8.22.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の外側剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の外側剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm _____ mm</p>																														
14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)	<p>塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種</p> <p>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による)</p>																																						

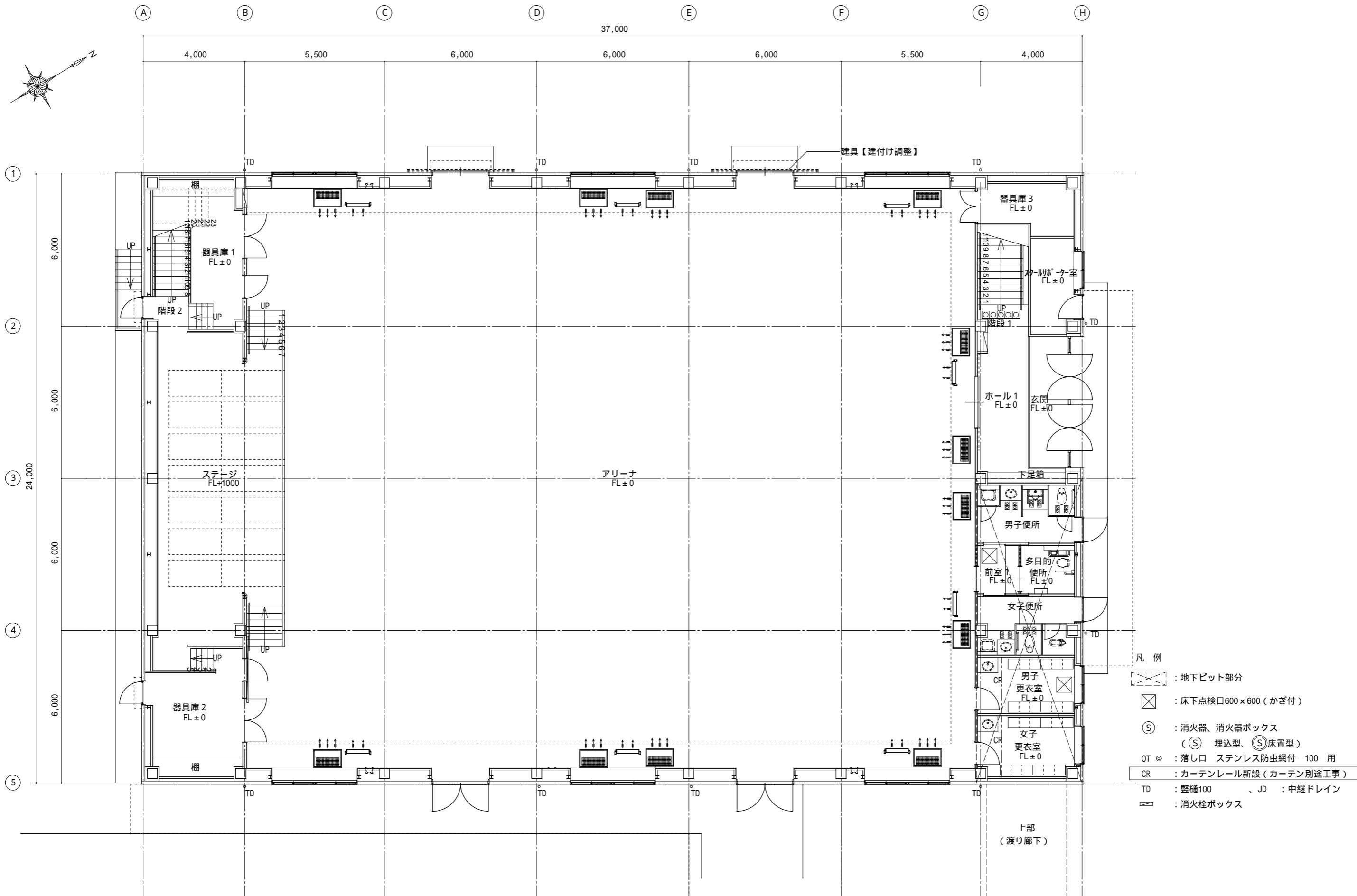
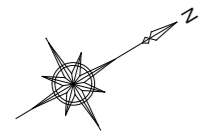
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																					
⑨ ユニット及びその他の工事	10 表示・標識 (20.2.11) 衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30 mm _____) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。 室名札 <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アクリル板 アルミ板</td> <td></td> <td>角太ゴシック 丸</td> <td>シルク印刷</td> <td>平付型 持出型</td> </tr> </table> 外国語表現 行う (英語 _____) 寸 法 (mm) 50×250 60×250 図示による ビクトグラフ(便所、車いす、階段等) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アクリル板 アルミ板</td> <td>シルク印刷</td> <td>平付型 持出型</td> <td></td> </tr> </table> 寸 法 (mm) 150×150 図示による 案内板(館内、各階、便所) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アクリル板 アルミ板</td> <td></td> <td>角太ゴシック 丸</td> <td>シルク印刷</td> <td>平付型 持出型</td> </tr> </table> 外国語表現 行う (英語 _____) 寸 法 (mm) 600×600 100×600 200×200 図示による 館名板等 品質・規格 _____ 11 タラップ (20.2.12) 材質及び仕上げ ○ SUS304 (スリップ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき ((表14.2.2)による種別(C種 __種)) 12 ブラインド (20.2.14) <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>種 類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>スラットの材質</th> </tr> <tr> <td>横形</td> <td>ギヤ式</td> <td>アルミニウム合金</td> <td>25</td> <td>鋼製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コード式</td> <td></td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦形</td> <td>2本操作コード式</td> <td>アルミスチ</td> <td>80</td> <td>アルミニウム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1本操作コード式</td> <td>加工スチ</td> <td>100</td> <td>合金製</td> </tr> </table> (20.2.15) <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>スプリング式 コード式</td> <td>ガラス繊維製 合成・天然繊維製</td> <td>製造所の仕様</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電動式</td> <td>木製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (20.2.16) <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形 式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用きれ地の ツグ、折、折、引分</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電動</td> <td>ひも引、手引</td> <td>種別・品質・特殊加工等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つまみ、縮片、アレー</td> </tr> </table> 消防法で定める防災性能の表示があるもの ⑮カーテンレール (20.2.16) 材料 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ステンレス 形式 片引き 引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 C型 D型 角型 強さによる区分 10-90 _____仕上げ アルマイト _____ ⑯ブラインドボックス カーテンボックス 図示による 市販品(アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ(mm) 90×150 150×80 120×80 180×120 表面処理 C-1(無着色) C-2(着色) 木製 17 くつふきマット 材質 塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製(SUS304)受枠) 硬質アルミニウム合金(受枠とも) ゴム製(ステンレス製(SUS304)受枠) 18 鋼製書架及び棚 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規 格 等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>鋼製書架</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>1種 2種 3種</td> </tr> <tr> <td>鋼製物品棚</td> <td>法務省型</td> <td>4種 5種 6種</td> </tr> </table> 19 収納家具(木製) 材質、形状、寸法 図示による 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____	厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型	厚さ(mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考	5	アクリル板 アルミ板	シルク印刷	平付型 持出型		厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型	形 式	種 類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラットの材質	横形	ギヤ式	アルミニウム合金	25	鋼製		コード式		35		縦形	2本操作コード式	アルミスチ	80	アルミニウム		1本操作コード式	加工スチ	100	合金製	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	スプリング式 コード式	ガラス繊維製 合成・天然繊維製	製造所の仕様	図示による		電動式	木製				取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の ツグ、折、折、引分	ひだの種類			電動	ひも引、手引	種別・品質・特殊加工等					つまみ、縮片、アレー	種類	規 格 等	JISによる種類	鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種	鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種	20 掲示板 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>表面の材質</th> <th>照明器具</th> <th>施 錠</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>アルミニウム製(B-2) スチール製(SUS304)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>アルミニウム製(B-2) スチール製(SUS304)</td> <td></td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ 21 カウンター 品質・規格 _____ 22 洗面カウンター 材 種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600 23 流し台ユニット <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部品寸法(mm)</th> <th>規 格</th> <th>仕 様</th> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>コンロ台</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td>吊戸棚</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>高さ 約500 mm</td> </tr> <tr> <td>水切り棚</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>ステンレス製 1 段式</td> </tr> </table> 24 非常用救助袋等 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 _____ 25 建箱 市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(_____) 個 26 車止め <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)</td> <td>スチール製(SUS304)</td> <td>76.3 t=2.0 114.3 t=2.5</td> <td>GL+700 GL+850</td> </tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度 ⑰フェンス <table border="1"> <tr> <th>表 面 仕 上 等</th> <th>種 類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき 樹脂塗装</td> <td>メッシュフェンス 鉄板フェンス</td> <td>片開き</td> </tr> <tr> <td>ビニル被覆</td> <td>ネットフェンス 通音フェンス</td> <td>両開き</td> </tr> </table> 参考: 朝日スチール工業 目隠し通音フェンス(GM-2400-GG)同等品 ネットフェンス(PCフェンス)同等品 28 コートライン引き 実線 50mm、40mm 29 収納台車 椅子収納台車 8ビット8台 寸法 W1000×L4500×H650 万能収納台車 2ビット2台 寸法 W1000×L1500×H650 1台 寸法 W1000×L2000×H650 1台 株式会社 小川長春館 同等品以上 ⑳天井点検口 ㉑防球ガード 32 消火器 消火器BOX 種類 粉末ABC消火器(・4型・6型 10型・20型)・ なお、申請手続も本工事にて行うこととする	種 類	材 質	表面の材質	照明器具	施 錠	品質・規格	屋内	アルミニウム製(B-2) スチール製(SUS304)		—	—		屋外	アルミニウム製(B-2) スチール製(SUS304)		あり	あり		種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様	流し台		優良住宅部品	トラップ付き	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製 1 段式	形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)	スチール製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850	表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様	亜鉛めっき 樹脂塗装	メッシュフェンス 鉄板フェンス	片開き	ビニル被覆	ネットフェンス 通音フェンス	両開き	20 排水工事 10 排水工事 11 排水工事 12 排水工事 13 排水工事 14 排水工事 15 排水工事 16 排水工事 17 排水工事 18 排水工事 19 排水工事 20 排水工事 21 排水工事 22 排水工事 23 排水工事 24 排水工事 25 排水工事 26 排水工事 27 排水工事 28 排水工事 29 排水工事 30 排水工事 31 排水工事 32 排水工事 33 排水工事 34 排水工事 35 排水工事 36 排水工事 37 排水工事 38 排水工事 39 排水工事 40 排水工事 41 排水工事 42 排水工事 43 排水工事 44 排水工事 45 排水工事 46 排水工事 47 排水工事 48 排水工事 49 排水工事 50 排水工事 51 排水工事 52 排水工事 53 排水工事 54 排水工事 55 排水工事 56 排水工事 57 排水工事 58 排水工事 59 排水工事 60 排水工事 61 排水工事 62 排水工事 63 排水工事 64 排水工事 65 排水工事 66 排水工事 67 排水工事 68 排水工事 69 排水工事 70 排水工事 71 排水工事 72 排水工事 73 排水工事 74 排水工事 75 排水工事 76 排水工事 77 排水工事 78 排水工事 79 排水工事 80 排水工事 81 排水工事 82 排水工事 83 排水工事 84 排水工事 85 排水工事 86 排水工事 87 排水工事 88 排水工事 89 排水工事 90 排水工事 91 排水工事 92 排水工事 93 排水工事 94 排水工事 95 排水工事 96 排水工事 97 排水工事 98 排水工事 99 排水工事 100 排水工事 101 排水工事 102 排水工事 103 排水工事 104 排水工事 105 排水工事 106 排水工事 107 排水工事 108 排水工事 109 排水工事 110 排水工事 111 排水工事 112 排水工事 113 排水工事 114 排水工事 115 排水工事 116 排水工事 117 排水工事 118 排水工事 119 排水工事 120 排水工事 121 排水工事 122 排水工事 123 排水工事 124 排水工事 125 排水工事 126 排水工事 127 排水工事 128 排水工事 129 排水工事 130 排水工事 131 排水工事 132 排水工事 133 排水工事 134 排水工事 135 排水工事 136 排水工事 137 排水工事 138 排水工事 139 排水工事 140 排水工事 141 排水工事 142 排水工事 143 排水工事 144 排水工事 145 排水工事 146 排水工事 147 排水工事 148 排水工事 149 排水工事 150 排水工事 151 排水工事 152 排水工事 153 排水工事 154 排水工事 155 排水工事 156 排水工事 157 排水工事 158 排水工事 159 排水工事 160 排水工事 161 排水工事 162 排水工事 163 排水工事 164 排水工事 165 排水工事 166 排水工事 167 排水工事 168 排水工事 169 排水工事 170 排水工事 171 排水工事 172 排水工事 173 排水工事 174 排水工事 175 排水工事 176 排水工事 177 排水工事 178 排水工事 179 排水工事 180 排水工事 181 排水工事 182 排水工事 183 排水工事 184 排水工事 185 排水工事 186 排水工事 187 排水工事 188 排水工事 189 排水工事 190 排水工事 191 排水工事 192 排水工事 193 排水工事 194 排水工事 195 排水工事 196 排水工事 197 排水工事 198 排水工事 199 排水工事 200 排水工事 201 排水工事 202 排水工事 203 排水工事 204 排水工事 205 排水工事 206 排水工事 207 排水工事 208 排水工事 209 排水工事 210 排水工事 211 排水工事 212 排水工事 213 排水工事 214 排水工事 215 排水工事 216 排水工事 217 排水工事 218 排水工事 219 排水工事 220 排水工事 221 排水工事 222 排水工事 223 排水工事 224 排水工事 225 排水工事 226 排水工事 227 排水工事 228 排水工事 229 排水工事 230 排水工事 231 排水工事 232 排水工事 233 排水工事 234 排水工事 235 排水工事 236 排水工事 237 排水工事 238 排水工事 239 排水工事 240 排水工事 241 排水工事 242 排水工事 243 排水工事 244 排水工事 245 排水工事 246 排水工事 247 排水工事 248 排水工事 249 排水工事 250 排水工事 251 排水工事 252 排水工事 253 排水工事 254 排水工事 255 排水工事 256 排水工事 257 排水工事 258 排水工事 259 排水工事 260 排水工事 261 排水工事 262 排水工事 263 排水工事 264 排水工事 265 排水工事 266 排水工事 267 排水工事 268 排水工事 269 排水工事 270 排水工事 271 排水工事 272 排水工事 273 排水工事 274 排水工事 275 排水工事 276 排水工事 277 排水工事 278 排水工事 279 排水工事 280 排水工事 281 排水工事 282 排水工事 283 排水工事 284 排水工事 285 排水工事 286 排水工事 287 排水工事 288 排水工事 289 排水工事 290 排水工事 291 排水工事 292 排水工事 293 排水工事 294 排水工事 295 排水工事 296 排水工事 297 排水工事 298 排水工事 299 排水工事 300 排水工事 301 排水工事 302 排水工事 303 排水工事 304 排水工事 305 排水工事 306 排水工事 307 排水工事 308 排水工事 309 排水工事 310 排水工事 311 排水工事 312 排水工事 313 排水工事 314 排水工事 315 排水工事 316 排水工事 317 排水工事 318 排水工事 319 排水工事 320 排水工事 321 排水工事 322 排水工事 323 排水工事 324 排水工事 325 排水工事 326 排水工事 327 排水工事 328 排水工事 329 排水工事 330 排水工事 331 排水工事 332 排水工事 333 排水工事 334 排水工事 335 排水工事 336 排水工事 337 排水工事 338 排水工事 339 排水工事 340 排水工事 341 排水工事 342 排水工事 343 排水工事 344 排水工事 345 排水工事 346 排水工事 347 排水工事 348 排水工事 349 排水工事 350 排水工事 351 排水工事 352 排水工事 353 排水工事 354 排水工事 355 排水工事 356 排水工事 357 排水工事 358 排水工事 359 排水工事 360 排水工事 361 排水工事 362 排水工事 363 排水工事 364 排水工事 365 排水工事 366 排水工事 367 排水工事 368 排水工事 369 排水工事 370 排水工事 371 排水工事 372 排水工事 373 排水工事 374 排水工事 375 排水工事 376 排水工事 377 排水工事 378 排水工事 379 排水工事 380 排水工事 381 排水工事 382 排水工事 383 排水工事 384 排水工事 385 排水工事 386 排水工事 387 排水工事 388 排水工事 389 排水工事 390 排水工事 391 排水工事 392 排水工事 393 排水工事 394 排水工事 395 排水工事 396 排水工事 397 排水工事 398 排水工事 399 排水工事 400 排水工事 401 排水工事 402 排水工事 403 排水工事 404 排水工事 405 排水工事 406 排水工事 407 排水工事 408 排水工事 409 排水工事 410 排水工事 411 排水工事 412 排水工事 413 排水工事 414 排水工事 415 排水工事 416 排水工事 417 排水工事 418 排水工事 419 排水工事 420 排水工事 421 排水工事 422 排水工事 423 排水工事 424 排水工事 425 排水工事 426 排水工事 427 排水工事 428 排水工事 429 排水工事 430 排水工事 431 排水工事 432 排水工事 433 排水工事 434 排水工事 435 排水工事 436 排水工事 437 排水工事 438 排水工事 439 排水工事 440 排水工事 441 排水工事 442 排水工事 443 排水工事 444 排水工事 445 排水工事 446 排水工事 447 排水工事 448 排水工事 449 排水工事 450 排水工事 451 排水工事 452 排水工事 453 排水工事 454 排水工事 455 排水工事 456 排水工事 457 排水工事 458 排水工事 459 排水工事 460 排水工事 461 排水工事 462 排水工事 463 排水工事 464 排水工事 465 排水工事 466 排水工事 467 排水工事 468 排水工事 469 排水工事 470 排水工事 471 排水工事 472 排水工事 473 排水工事 474 排水工事 475 排水工事 476 排水工事 477 排水工事 478 排水工事 479 排水工事 480 排水工事 481 排水工事 482 排水工事 483 排水工事 484 排水工事 485 排水工事 486 排水工事 487 排水工事 488 排水工事 489 排水工事 490 排水工事 491 排水工事 492 排水工事 493 排水工事 494 排水工事 495 排水工事 496 排水工事 497 排水工事 498 排水工事 499 排水工事 500 排水工事 501 排水工事 502 排水工事 503 排水工事 504 排水工事 505 排水工事 506 排水工事 507 排水工事 508 排水工事 509 排水工事 510 排水工事 511 排水工事 512 排水工事 513 排水工事 514 排水工事 515 排水工事 516 排水工事 517 排水工事 518 排水工事 519 排水工事 520 排水工事 521 排水工事 522 排水工事 523 排水工事 524 排水工事 525 排水工事 526 排水工事 527 排水工事 528 排水工事 529 排水工事 530 排水工事 531 排水工事 532 排水工事 533 排水工事 534 排水工事 535 排水工事 536 排水工事 537 排水工事 538 排水工事 539 排水工事 540 排水工事 541 排水工事 542 排水工事 543 排水工事 544 排水工事 545 排水工事 546 排水工事 547 排水工事 548 排水工事 549 排水工事 550 排水工事 551 排水工事 552 排水工事 553 排水工事 554 排水工事 555 排水工事 556 排水工事 557 排水工事 558 排水工事 559 排水工事 560 排水工事 561 排水工事 562 排水工事 563 排水工事 564 排水工事 565 排水工事 566 排水工事 567 排水工事 568 排水工事 569 排水工事 570 排水工事 571 排水工事 572 排水工事 573 排水工事 574 排水工事 575 排水工事 576 排水工事 577 排水工事 578 排水工事 579 排水工事 580 排水工事 581 排水工事 582 排水工事 583 排水工事 584 排水工事 585 排水工事 586 排水工事 587 排水工事 588 排水工事 589 排水工事 590 排水工事 591 排水工事 592 排水工事 593 排水工事 594 排水工事 595 排水工事 596 排水工事 597 排水工事 598 排水工事 599 排水工事 600 排水工事 601 排水工事 602 排水工事 603 排水工事 604 排水工事 605 排水工事 606 排水工事 607 排水工事 608 排水工事 609 排水工事 610 排水工事 611 排水工事 612 排水工事 613 排水工事 614 排水工事 615 排水工事 616 排水工事 617 排水工事 618 排水工事 619 排水工事 620 排水工事 621 排水工事 622 排水工事 623 排水工事 624 排水工事 625 排水工事 626 排水工事 627 排水工事 628 排水工事 629 排水工事 630 排水工事 631 排水工事 632 排水工事 633 排水工事 634 排水工事 635 排水工事 636 排水工事 637 排水工事 638 排水工事 639 排水工事 640 排水工事 641 排水工事 642 排水工事 643 排水工事 644 排水工事 645 排水工事 646 排水工事 647 排水工事 648 排水工事 649 排水工事 650 排水工事 651 排水工事 652 排水工事 653 排水工事 654 排水工事 655 排水工事 656 排水工事 657 排水工事 658 排水工事 659 排水工事 660 排水工事 661 排水工事 662 排水工事 663 排水工事 664 排水工事 665 排水工事 666 排水工事 667 排水工事 668 排水工事 669 排水工事 670 排水工事 671 排水工事 672 排水工事 673 排水工事 674 排水工事 675 排水工事 676 排水工事 677 排水工事 678 排水工事 679 排水工事 680 排水工事 681 排水工事 682 排水工事 683 排水工事 684 排水工事 685 排水工事 686 排水工事 687 排水工事 688 排水工事 689 排水工事 690 排水工事 691 排水工事 692 排水工事 693 排水工事 694 排水工事 695 排水工事 696 排水工事 697 排水工事 698 排水工事 699 排水工事 700 排水工事 701 排水工事 702 排水工事 703 排水工事 704 排水工事 705 排水工事 706 排水工事 707 排水工事
	厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																																																																																																						
	5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型																																																																																																																																																						
	厚さ(mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考																																																																																																																																																							
	5	アクリル板 アルミ板	シルク印刷	平付型 持出型																																																																																																																																																								
	厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																																																																																																						
	5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型																																																																																																																																																						
	形 式	種 類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラットの材質																																																																																																																																																							
	横形	ギヤ式	アルミニウム合金	25	鋼製																																																																																																																																																							
		コード式		35																																																																																																																																																								
	縦形	2本操作コード式	アルミスチ	80	アルミニウム																																																																																																																																																							
		1本操作コード式	加工スチ	100	合金製																																																																																																																																																							
	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																																																																																																							
	スプリング式 コード式	ガラス繊維製 合成・天然繊維製	製造所の仕様	図示による																																																																																																																																																								
	電動式	木製																																																																																																																																																										
取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の ツグ、折、折、引分	ひだの種類																																																																																																																																																								
		電動	ひも引、手引	種別・品質・特殊加工等																																																																																																																																																								
				つまみ、縮片、アレー																																																																																																																																																								
種類	規 格 等	JISによる種類																																																																																																																																																										
鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種																																																																																																																																																										
鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種																																																																																																																																																										
種 類	材 質	表面の材質	照明器具	施 錠	品質・規格																																																																																																																																																							
屋内	アルミニウム製(B-2) スチール製(SUS304)		—	—																																																																																																																																																								
屋外	アルミニウム製(B-2) スチール製(SUS304)		あり	あり																																																																																																																																																								
種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様																																																																																																																																																									
流し台		優良住宅部品	トラップ付き																																																																																																																																																									
コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り																																																																																																																																																									
吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm																																																																																																																																																									
水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製 1 段式																																																																																																																																																									
形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																									
上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)	スチール製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850																																																																																																																																																									
表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様																																																																																																																																																										
亜鉛めっき 樹脂塗装	メッシュフェンス 鉄板フェンス	片開き																																																																																																																																																										
ビニル被覆	ネットフェンス 通音フェンス	両開き																																																																																																																																																										



屋根伏図 1 : 100

現況 (撤去)

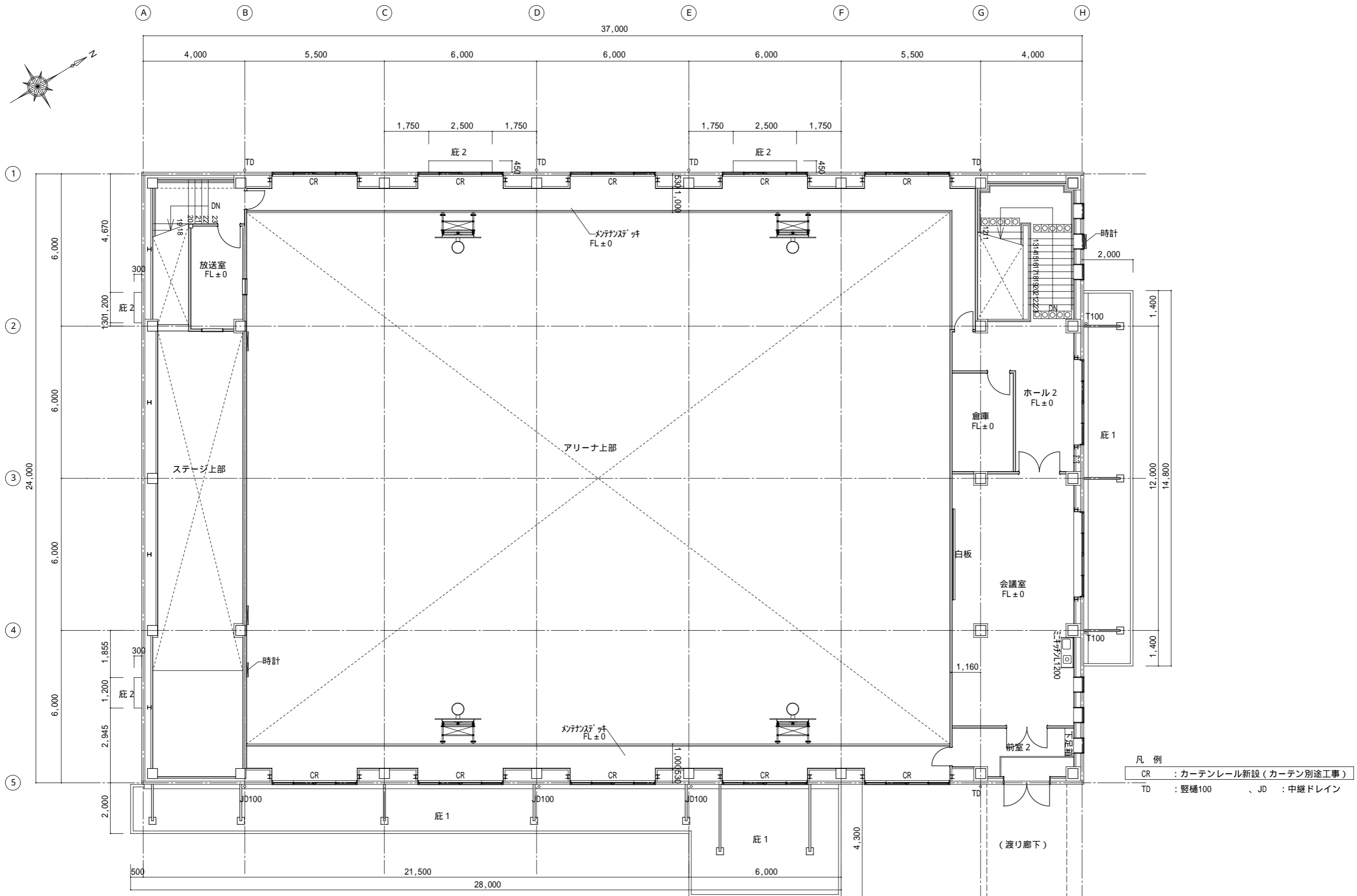
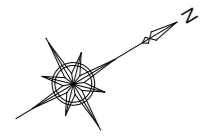
訂 正	月	日	 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)	SCALE	A
							屋根伏図	1 : 100 (A2)	No.



1階平面図 1:100

改修後

訂正	月	日	一級建築士事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	改修後	SCALE	A
	・	・		一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義		No.	1階平面図	1:100(A2)
・	・	・			DATE			14

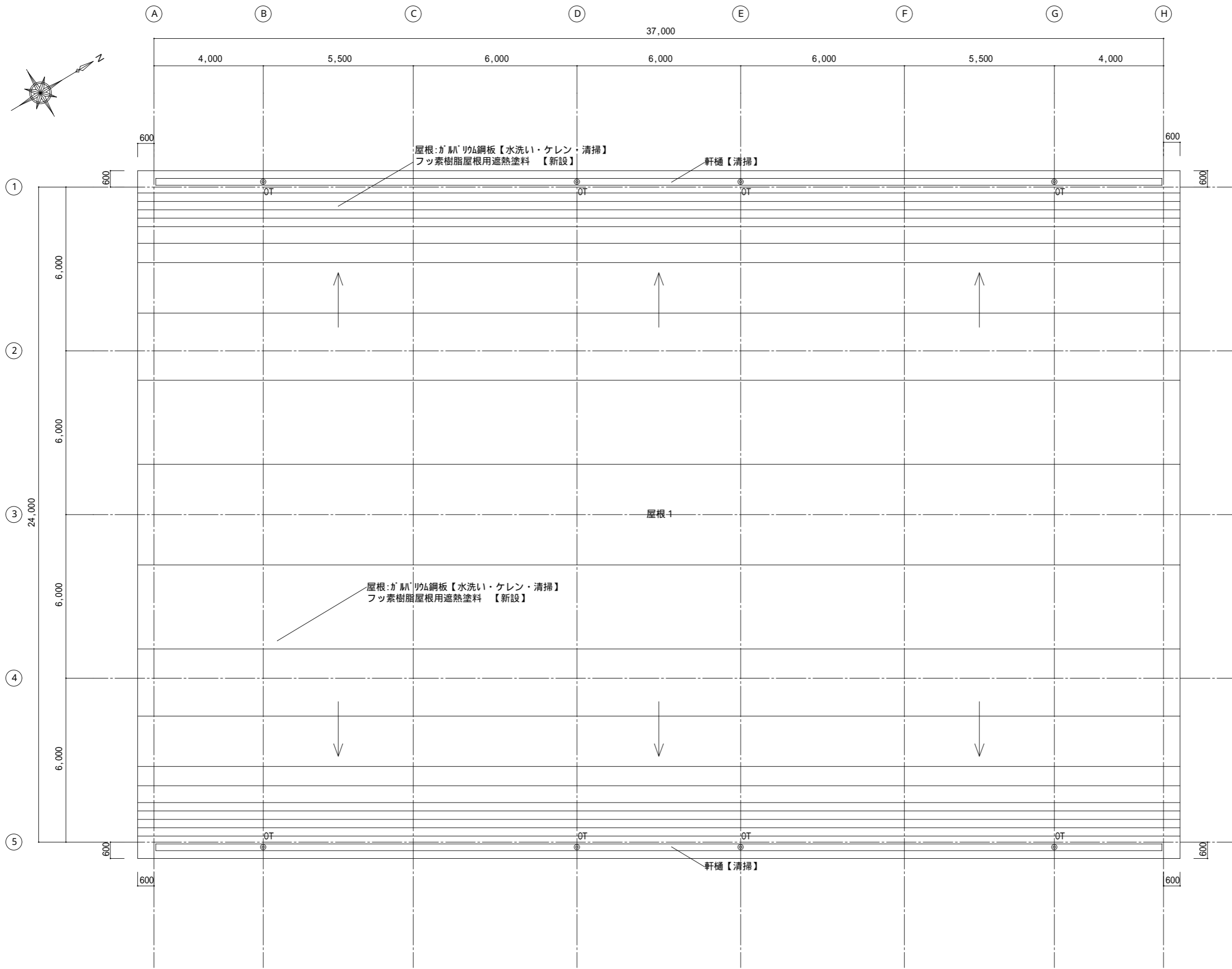
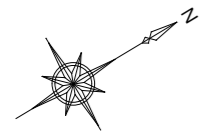


凡例
 CR : カーテンレール新設 (カーテン別途工事)
 TD : 壁樋100、JD : 中継ドレイン

2階平面図 1:100

改修後

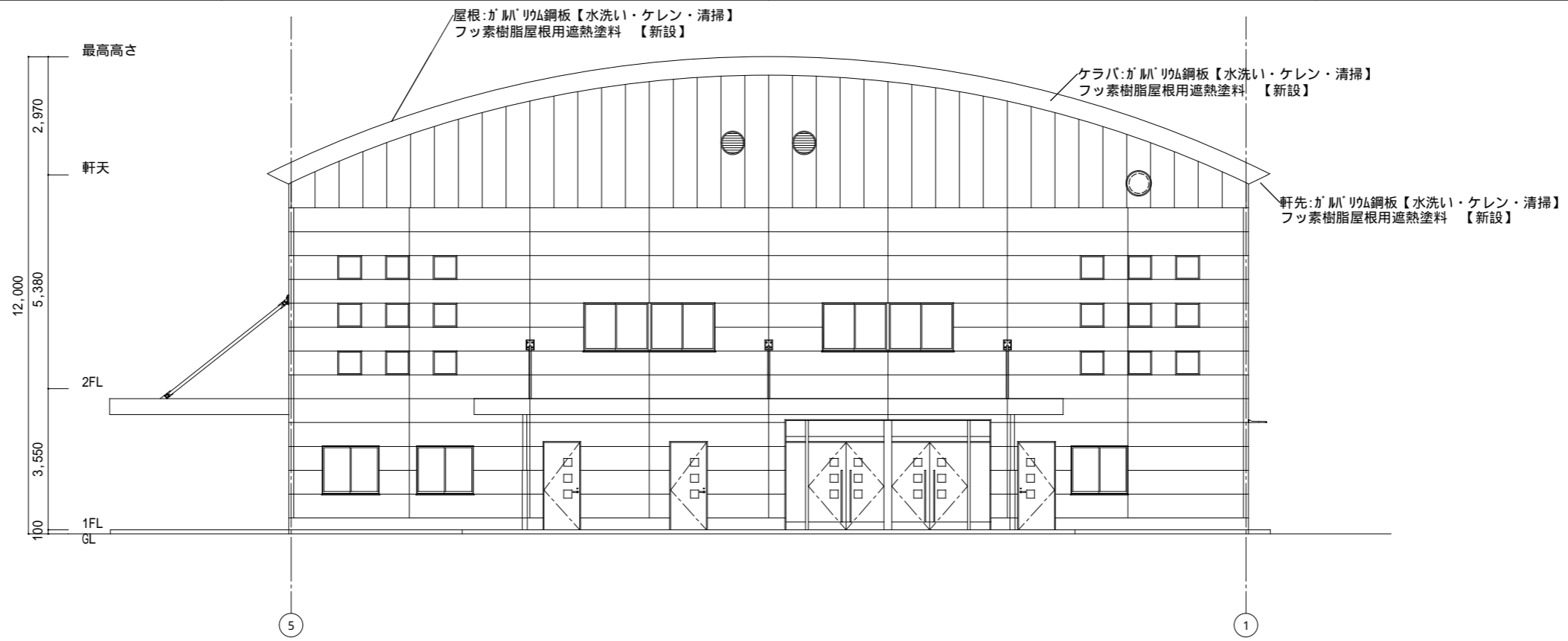
訂正	月	日	一級建築士事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	改修後	SCALE	A
	・	・					2階平面図	1:100(A2)	No.
正	・	・							15



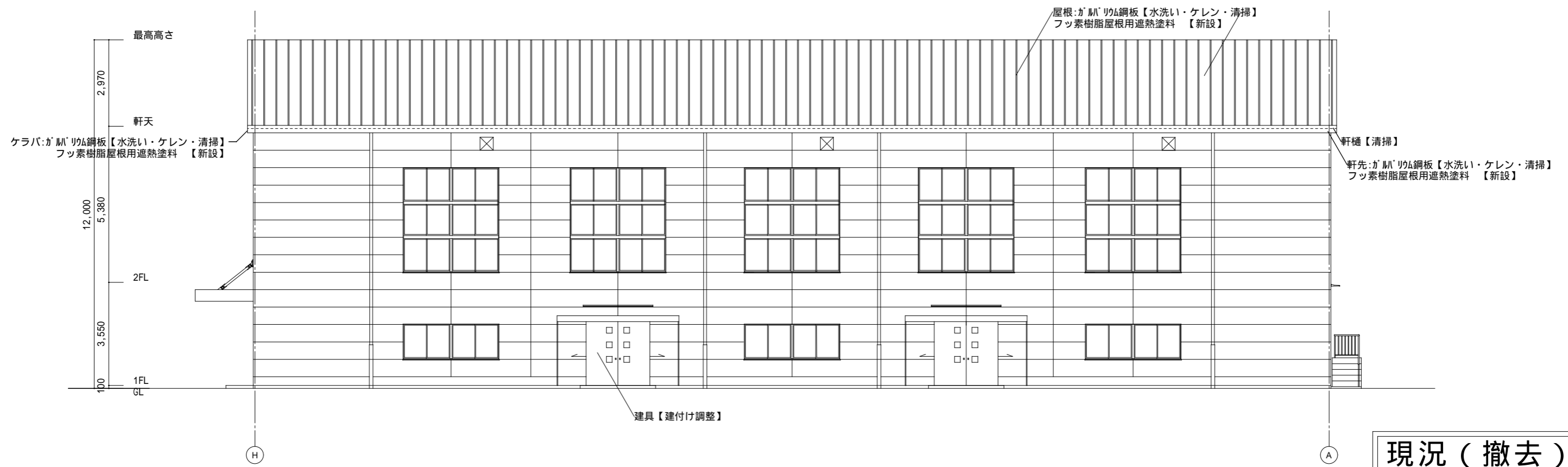
屋根伏図 1:100

改修後

訂正	月	日	建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	改修後	SCALE	A
	・	・					屋根伏図	1:100(A2)	No.
・	・	・							16



北立面図 1:100



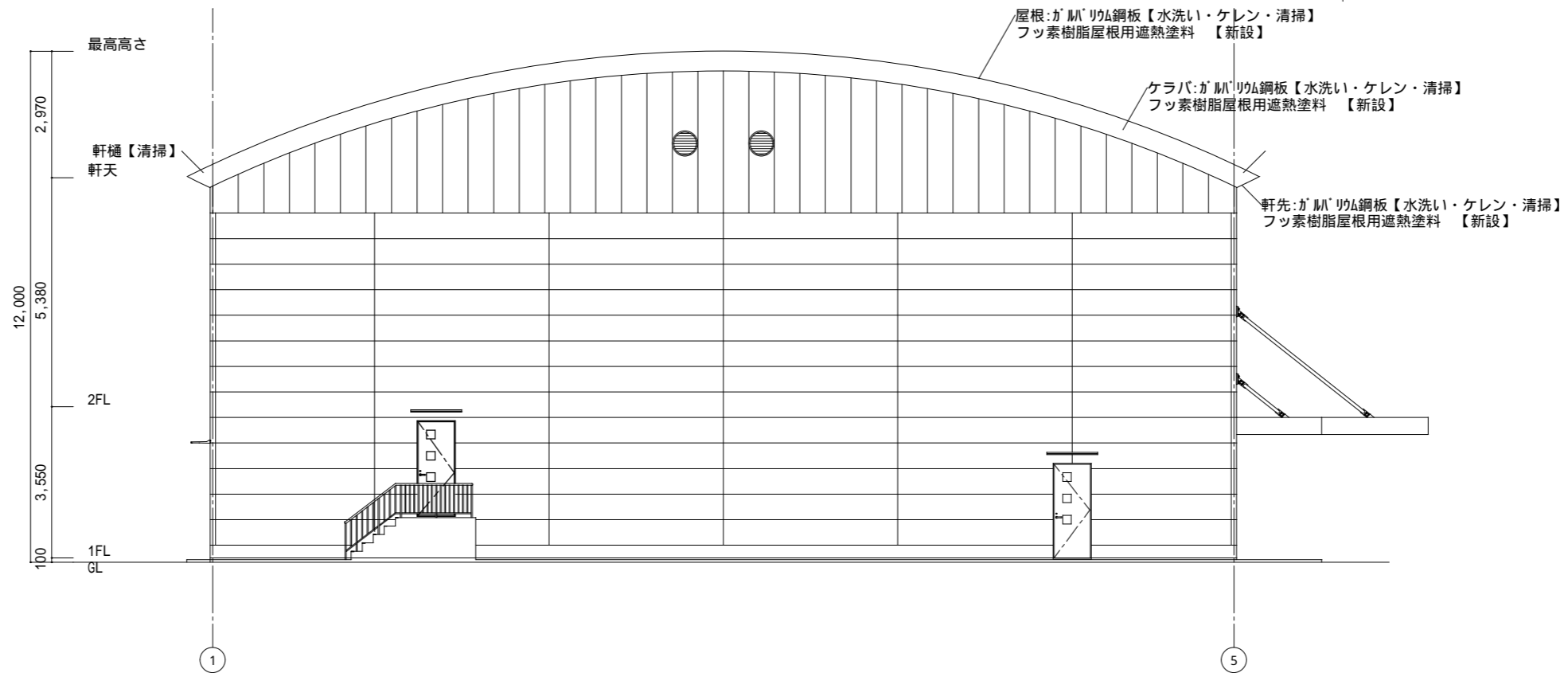
西立面図 1:100

サッシガラスクリーニング

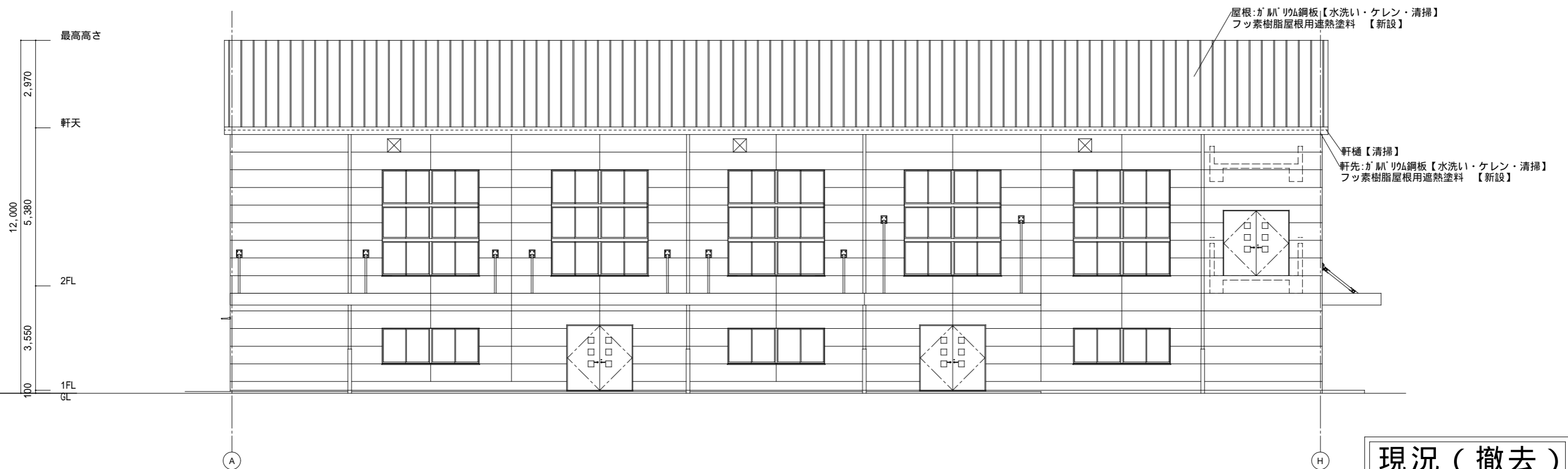
現況 (撤去)

改修後

訂正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)、改修後 立面図 (1)	SCALE	A
						DATE			17



南立面図 1:100



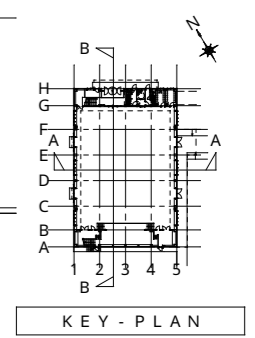
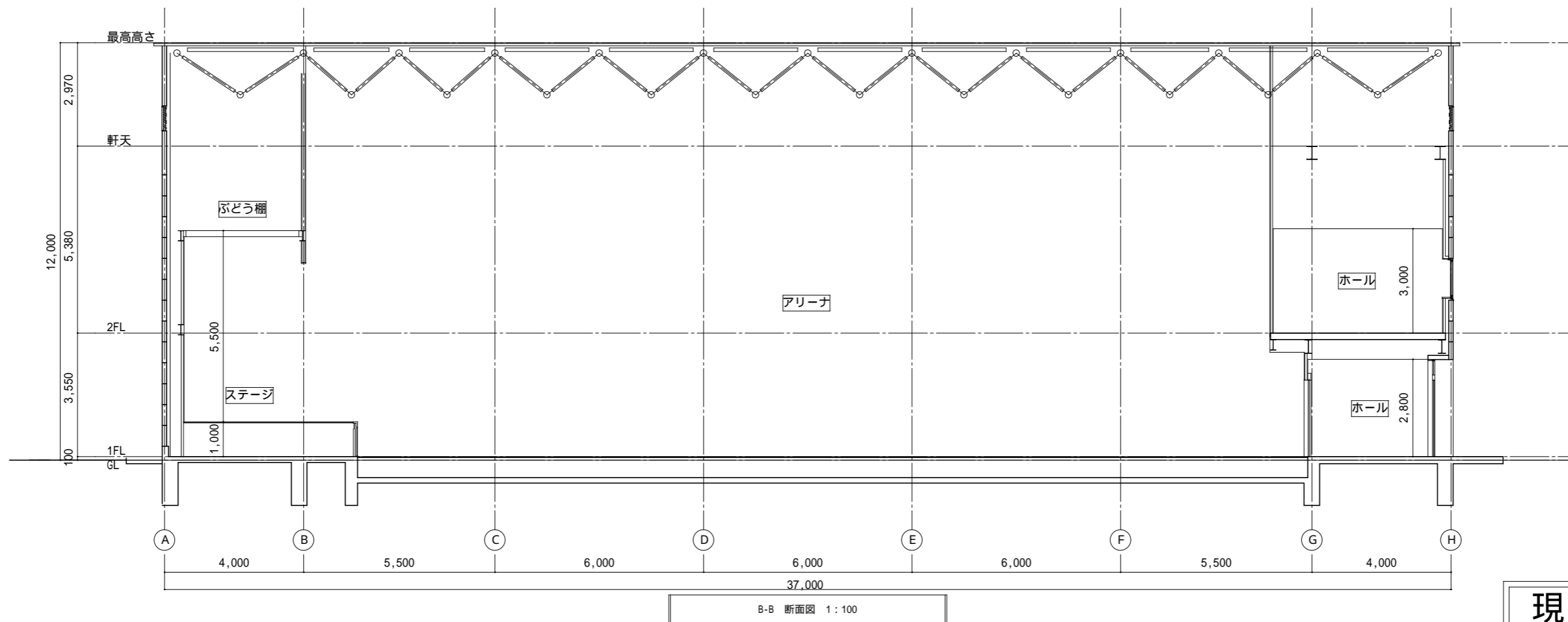
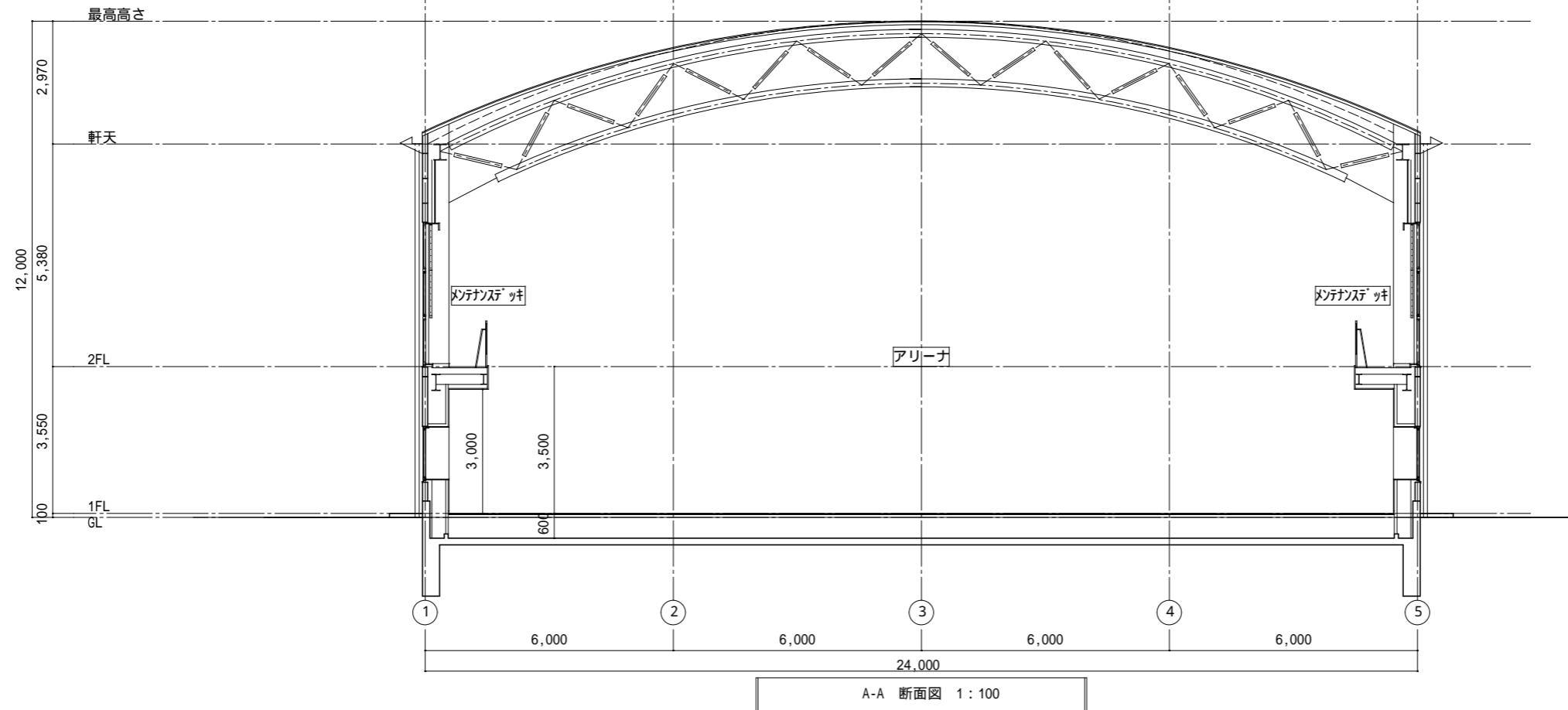
東立面図 1:100

サッシガラスクリーニング

現況 (撤去)

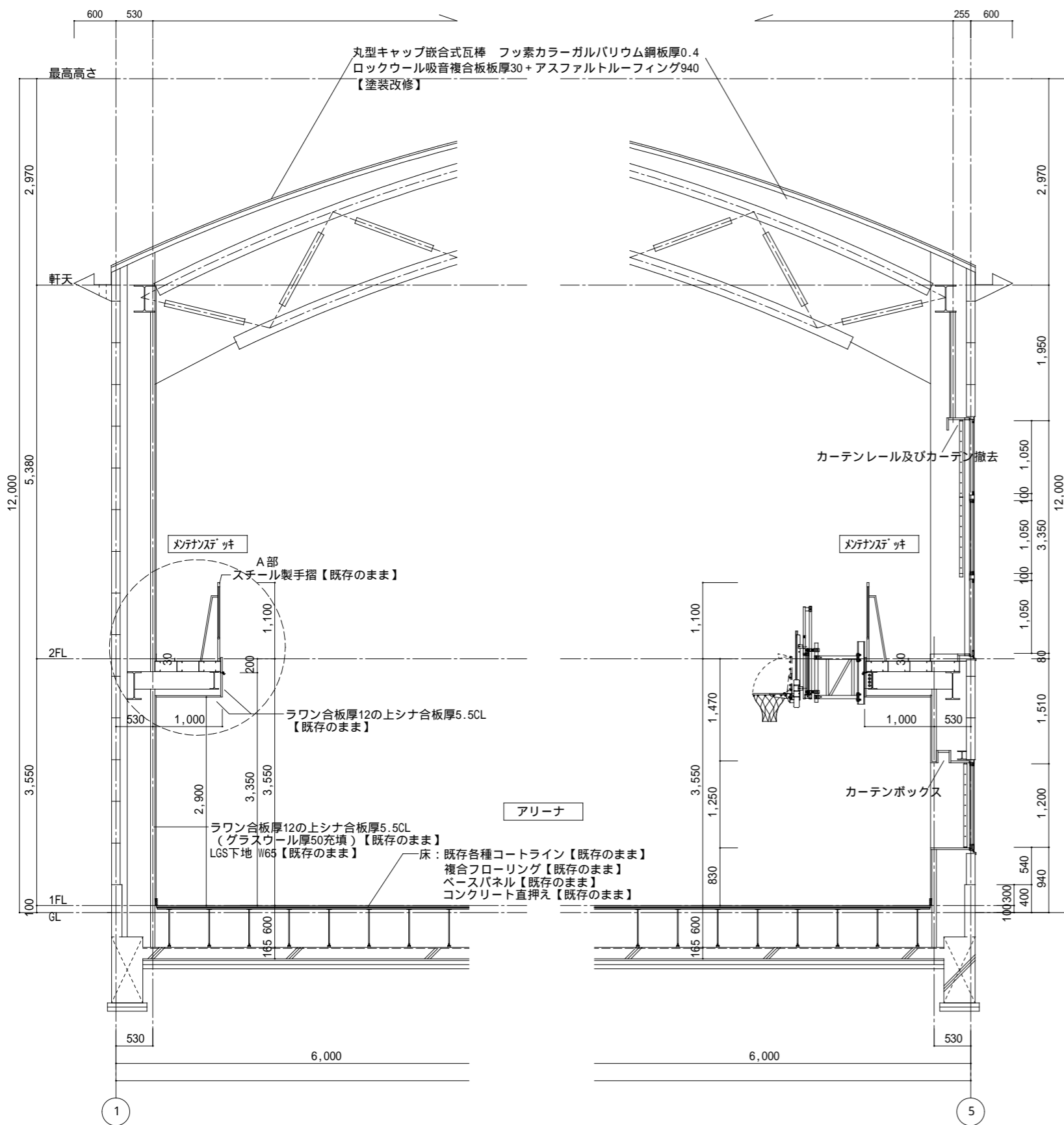
改修後

訂正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)、改修後 立面図 (2)	SCALE	1:100 (A2)	A	No.	18
	DATE											



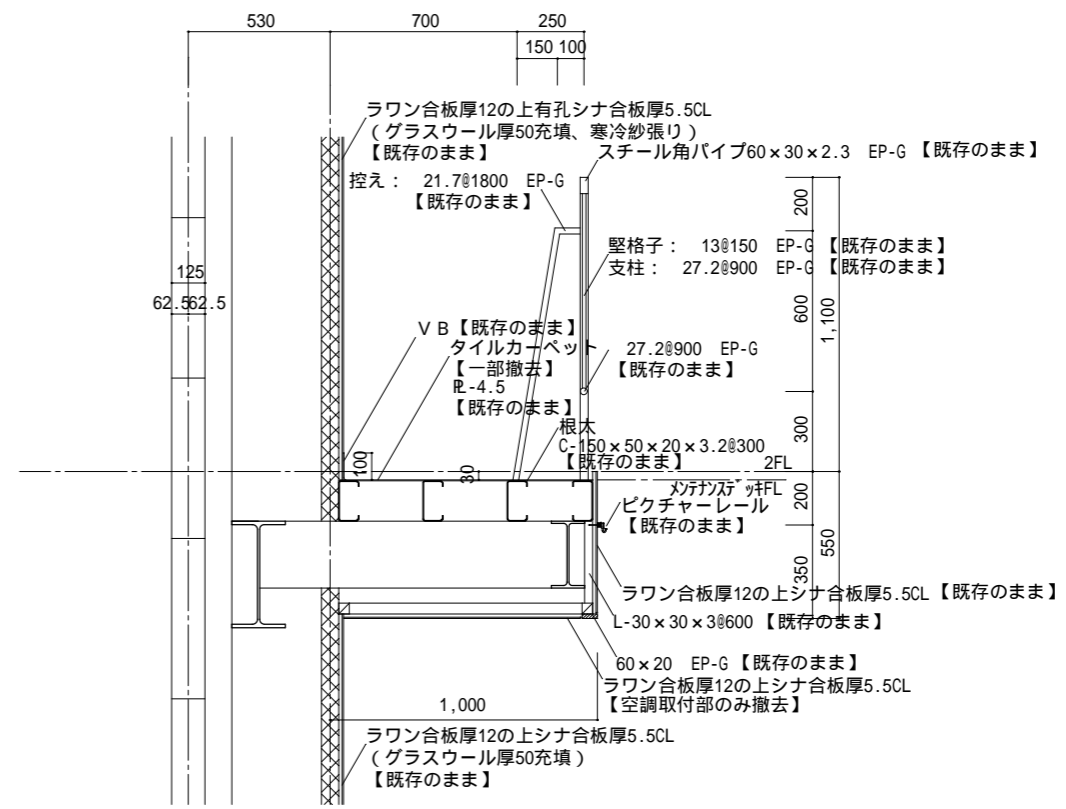
現況

訂正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一般建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No. _____	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況	SCALE	A
	・	・					断面図	1:100(A2)	No.
	・	・							19

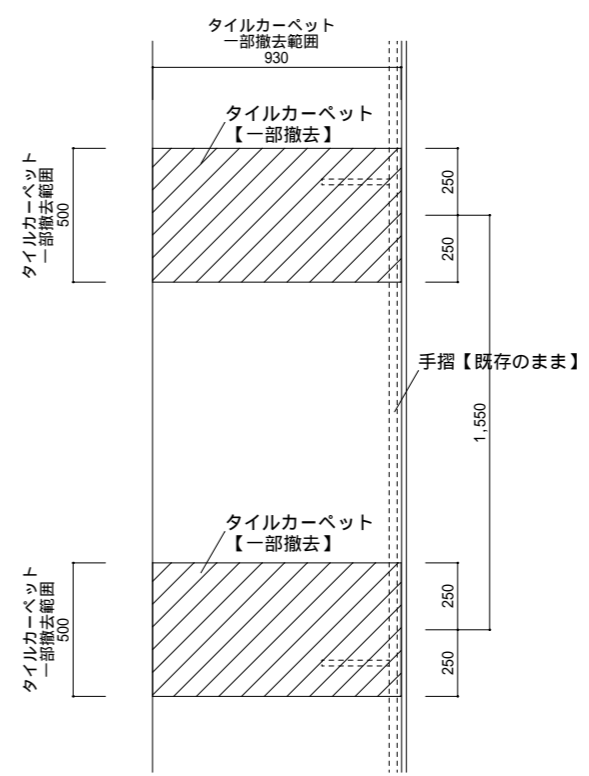


A断面詳細図 1:50

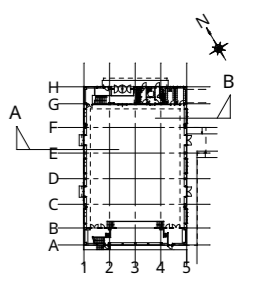
B断面詳細図 1:50



A部詳細図 1:20



空調室内機取付上部メンテナンスデッキ 1:20



KEY-PLAN

現況 (撤去)

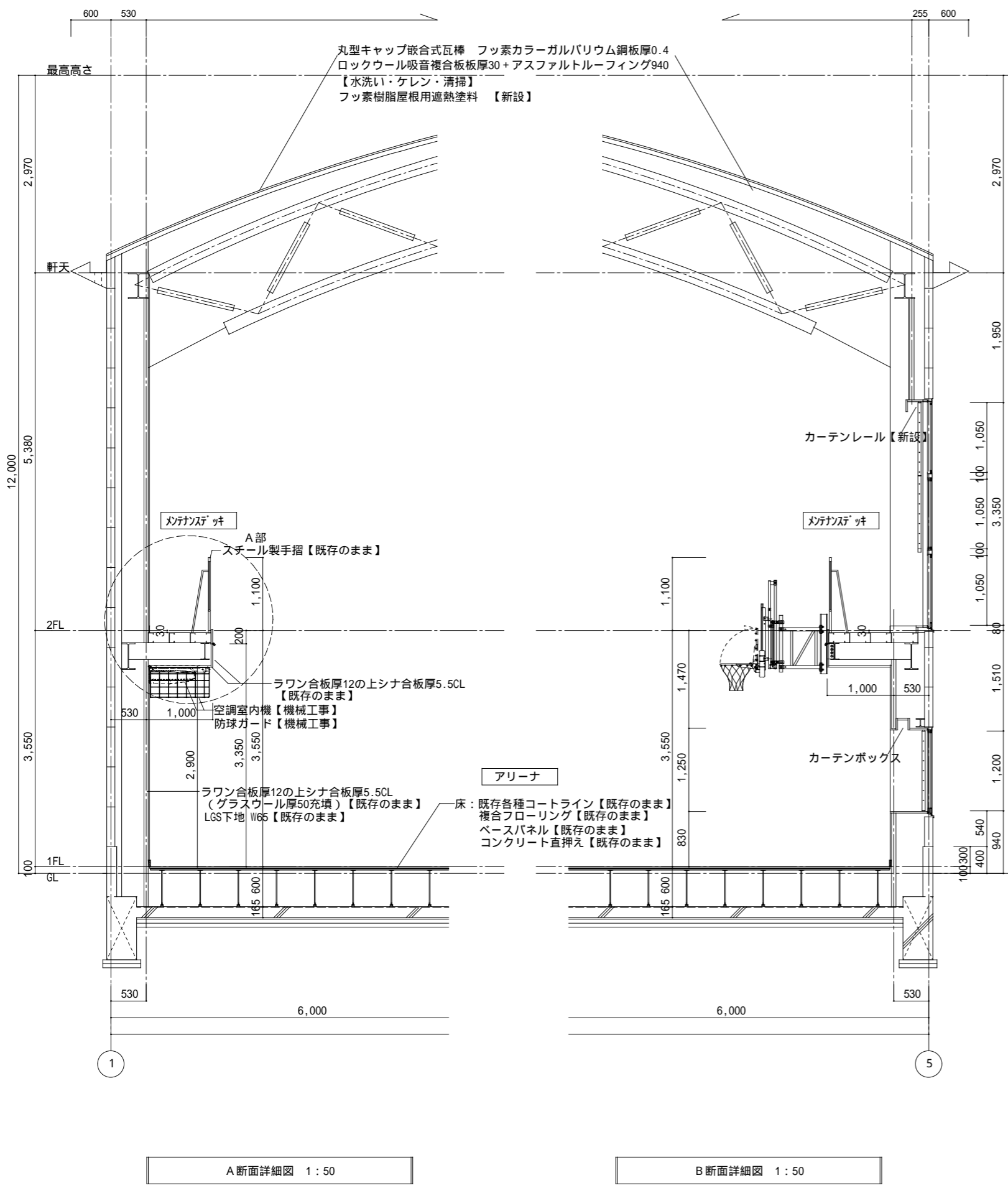
訂	日	月	年	FILE No.	工事名	現況 (撤去)	SCALE	A
正					大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	断面詳細図(1)	1:20・50(A2)	No.
								20

BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
 一般建築士登録第 204199 号
 山本 勝義

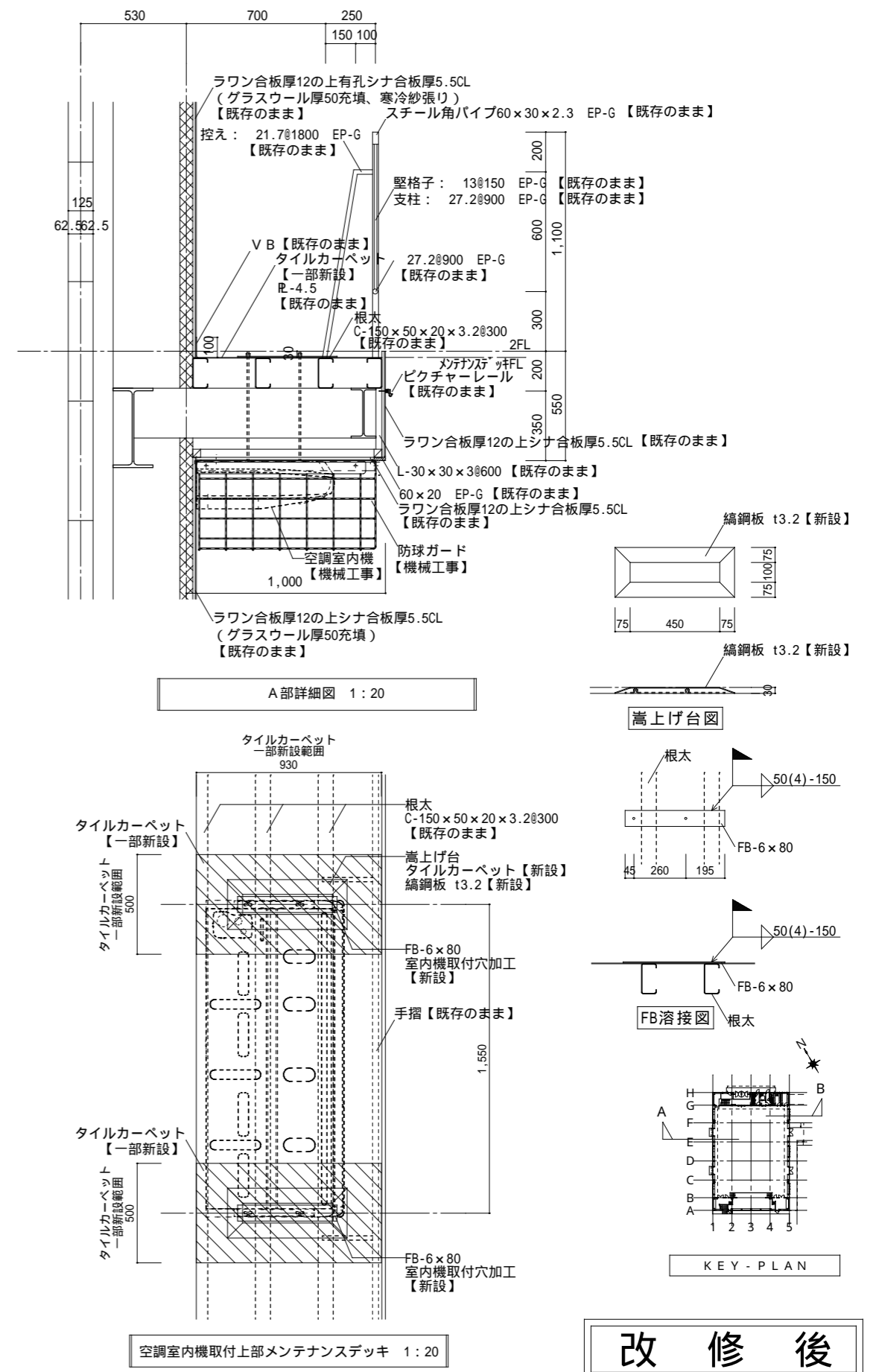
大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事

DATE



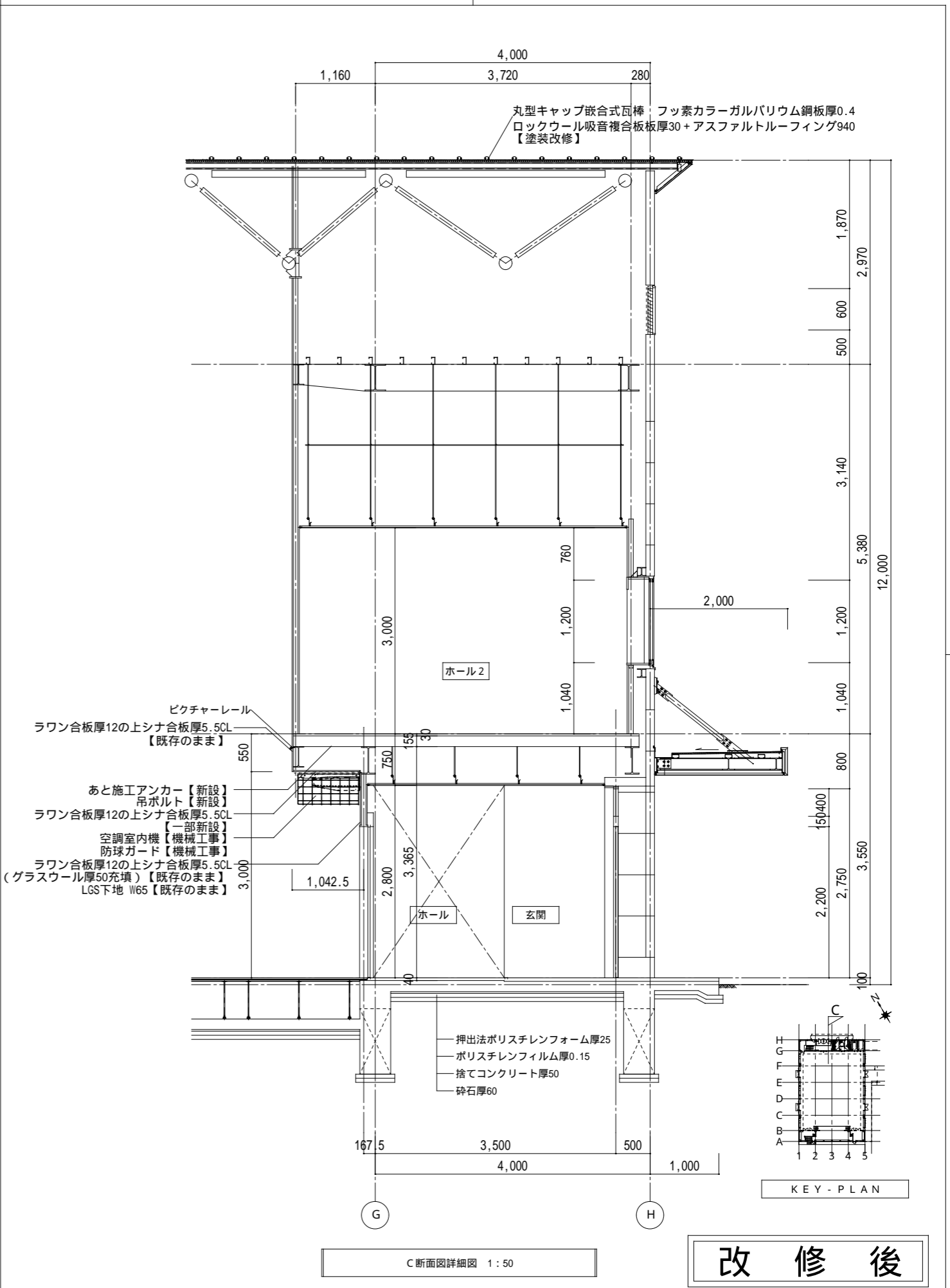
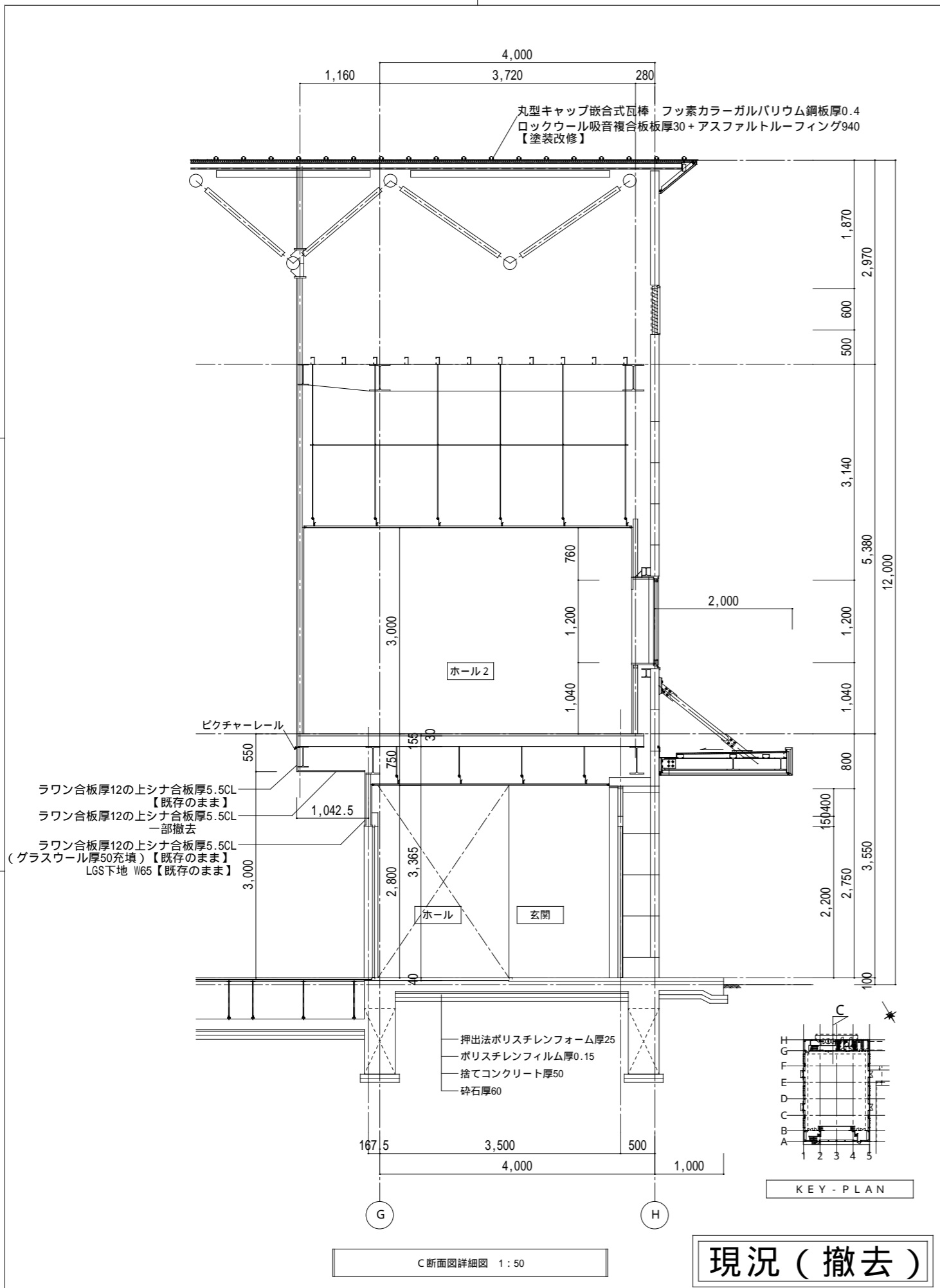
A断面詳細図 1:50

B断面詳細図 1:50

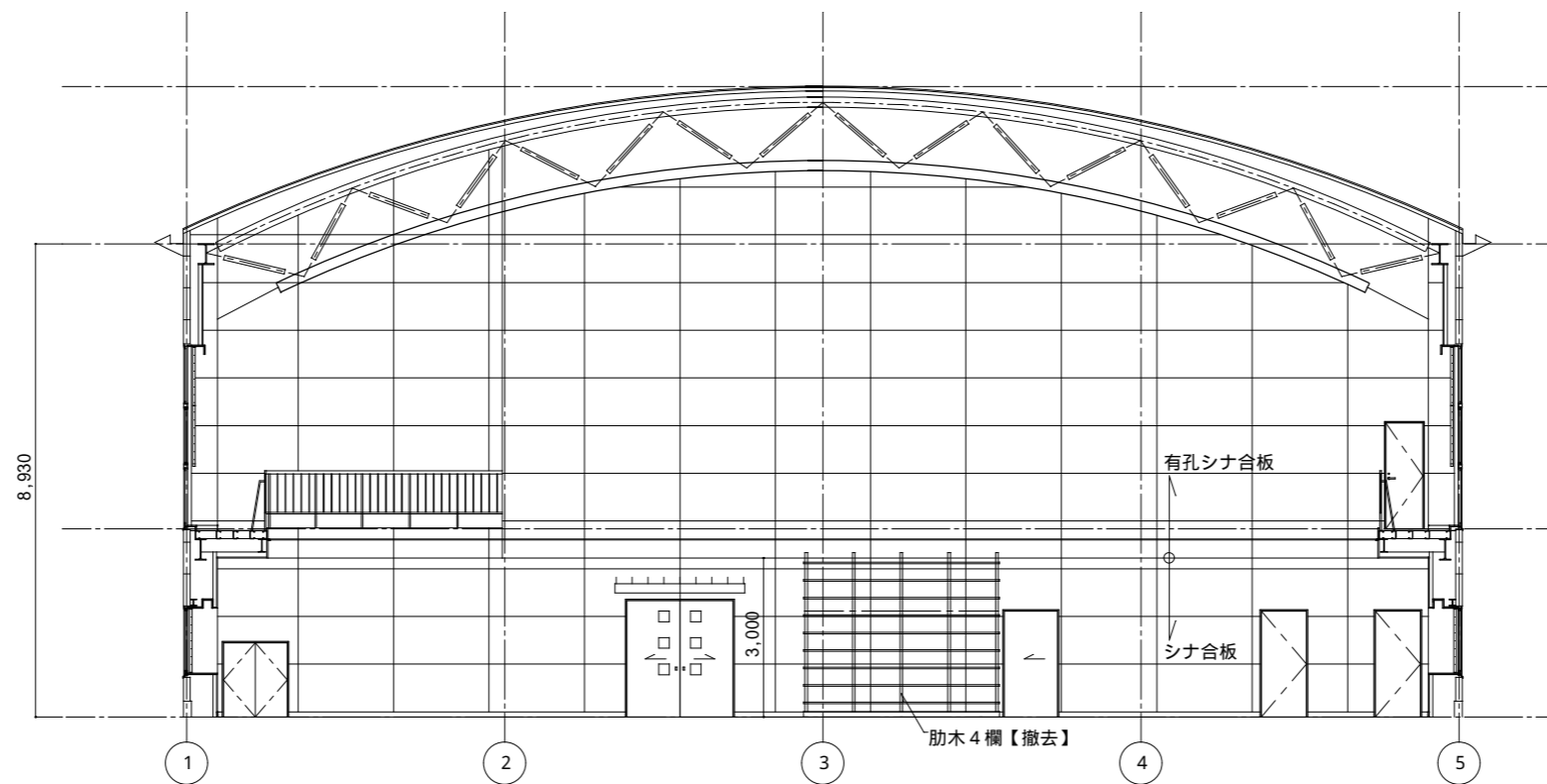


改修後

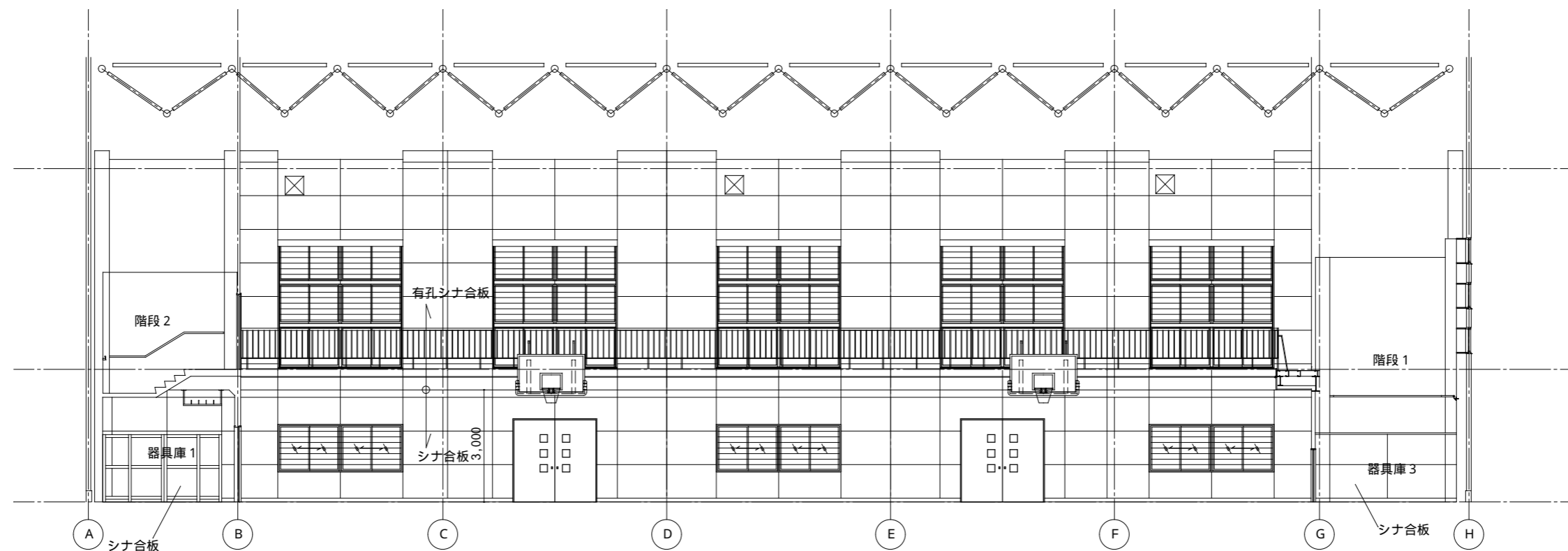
訂正	月	日	BCY'S	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	改修後 断面詳細図(2)	SCALE 1:20・50(A2)	A No.	21
----	---	---	-------	--	----------	----------------------------	-----------------	----------------------	----------	----



訂正	月 日	BCY'S	一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)、改修後 断面詳細図 (3)	SCALE 1:50 (A2)	A No. 22
					DATE			



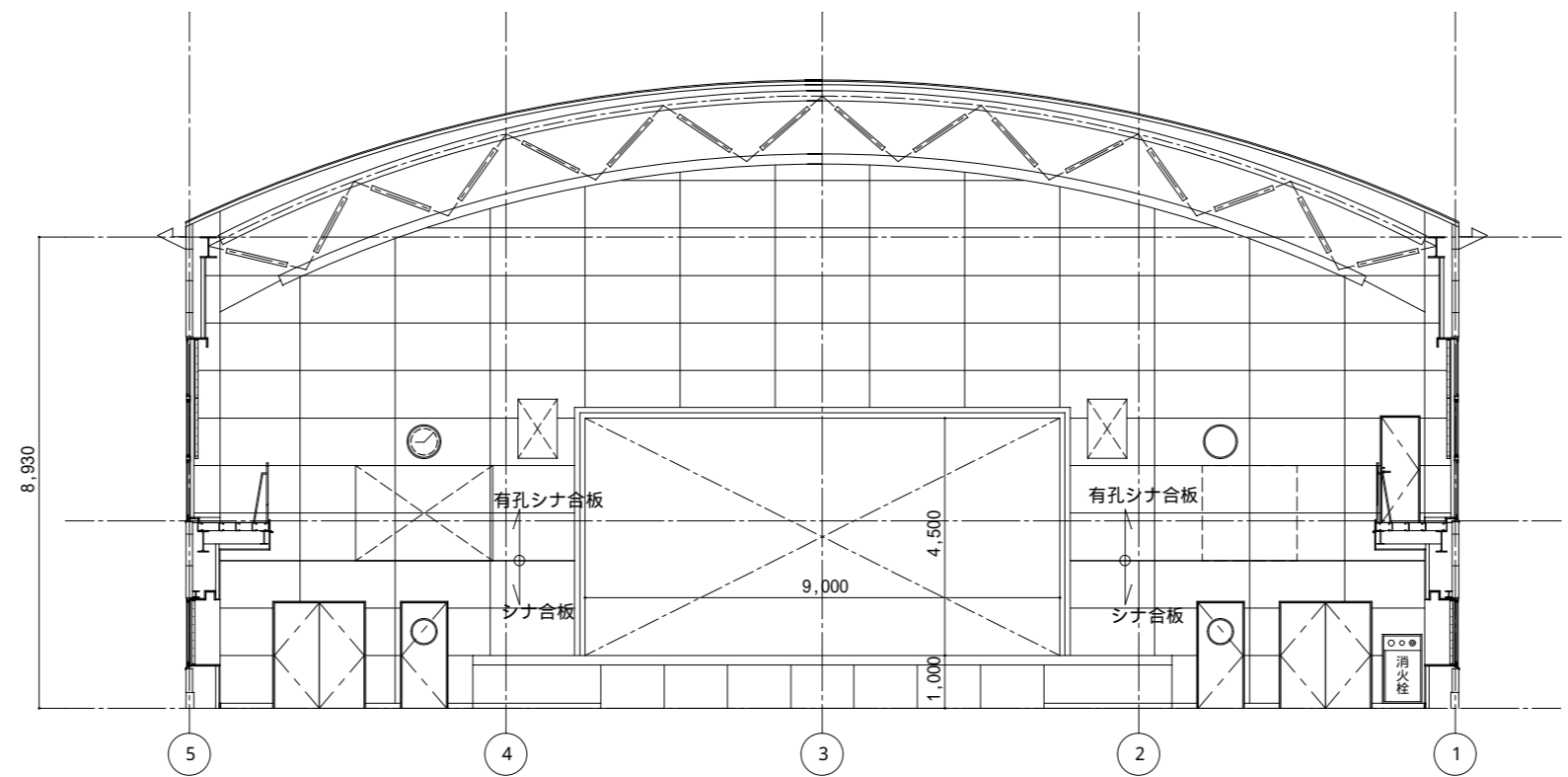
北面



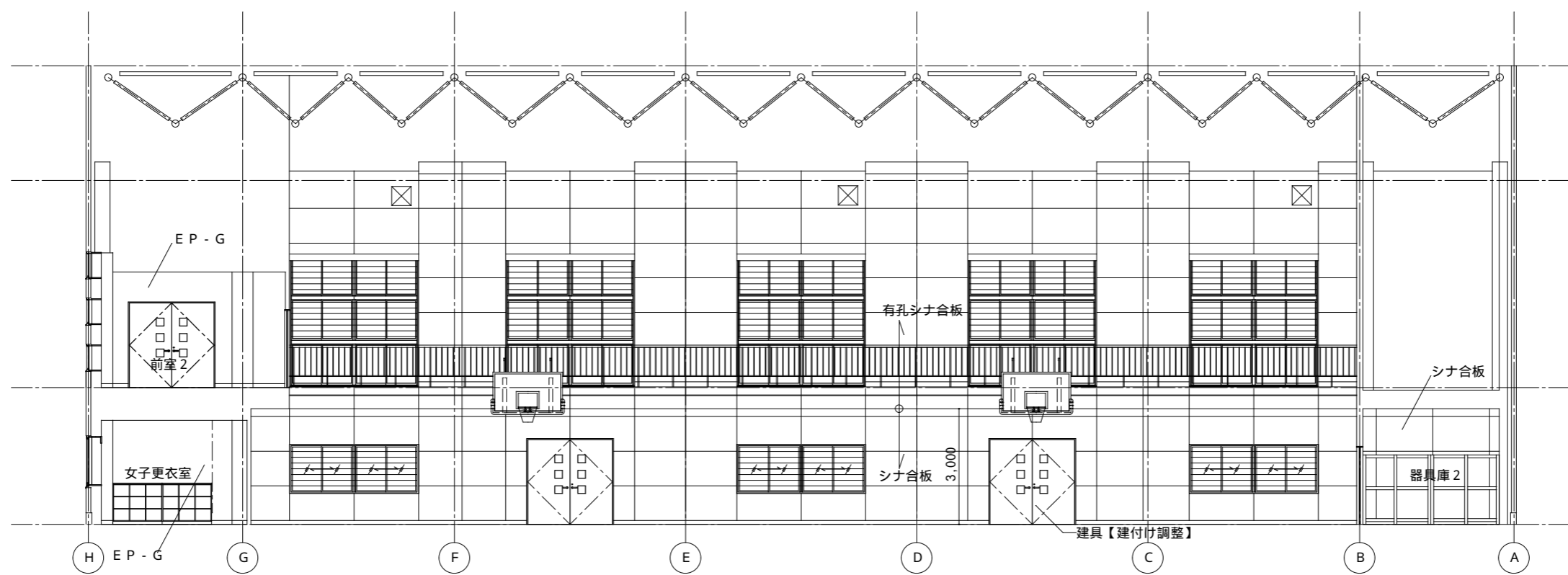
西面

現況 (撤去)

訂 正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)	SCALE	A
	・	・					展開図 (1)	1 : 100 (A2)	No.
	・	・				DATE			



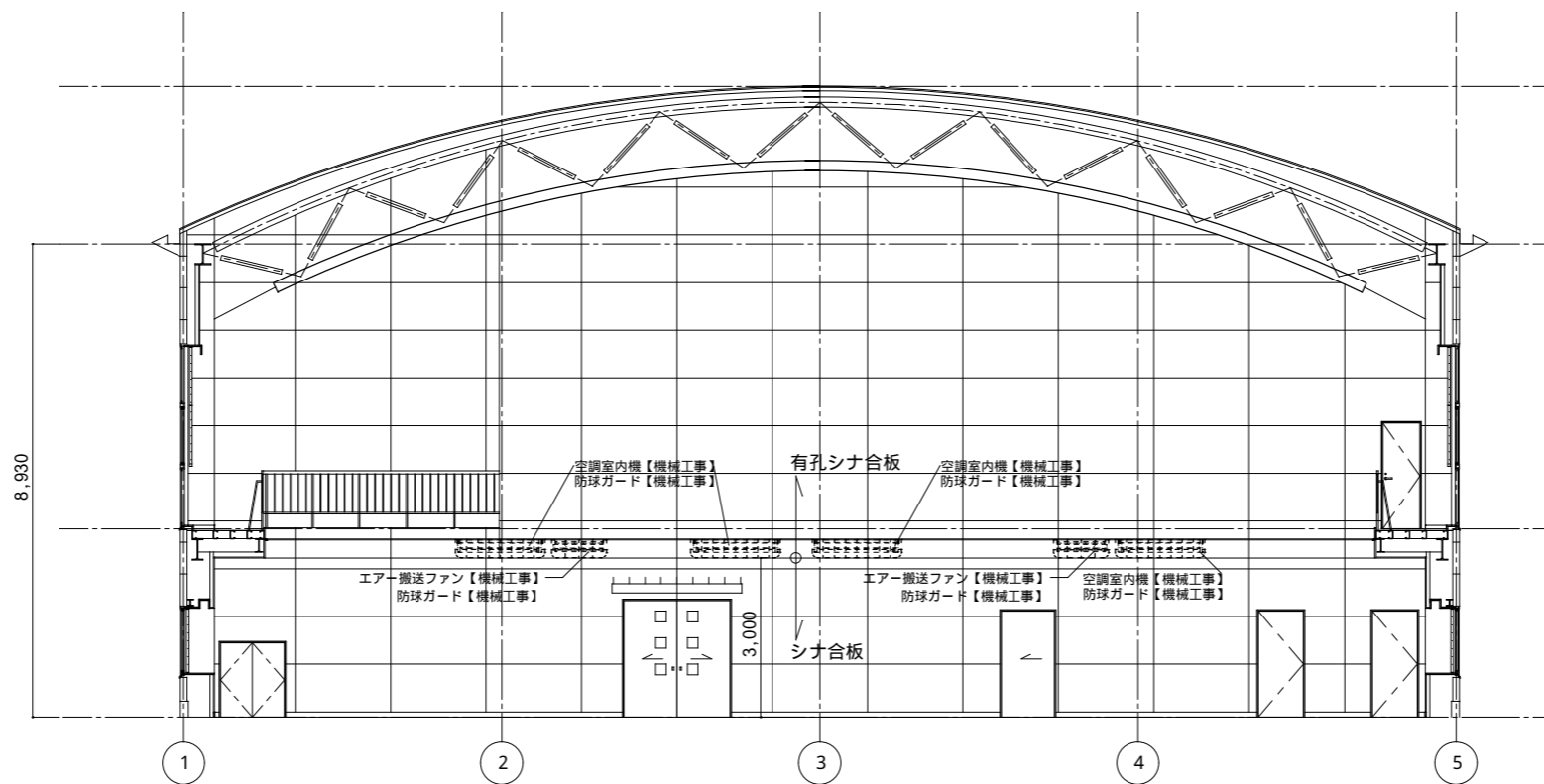
南面



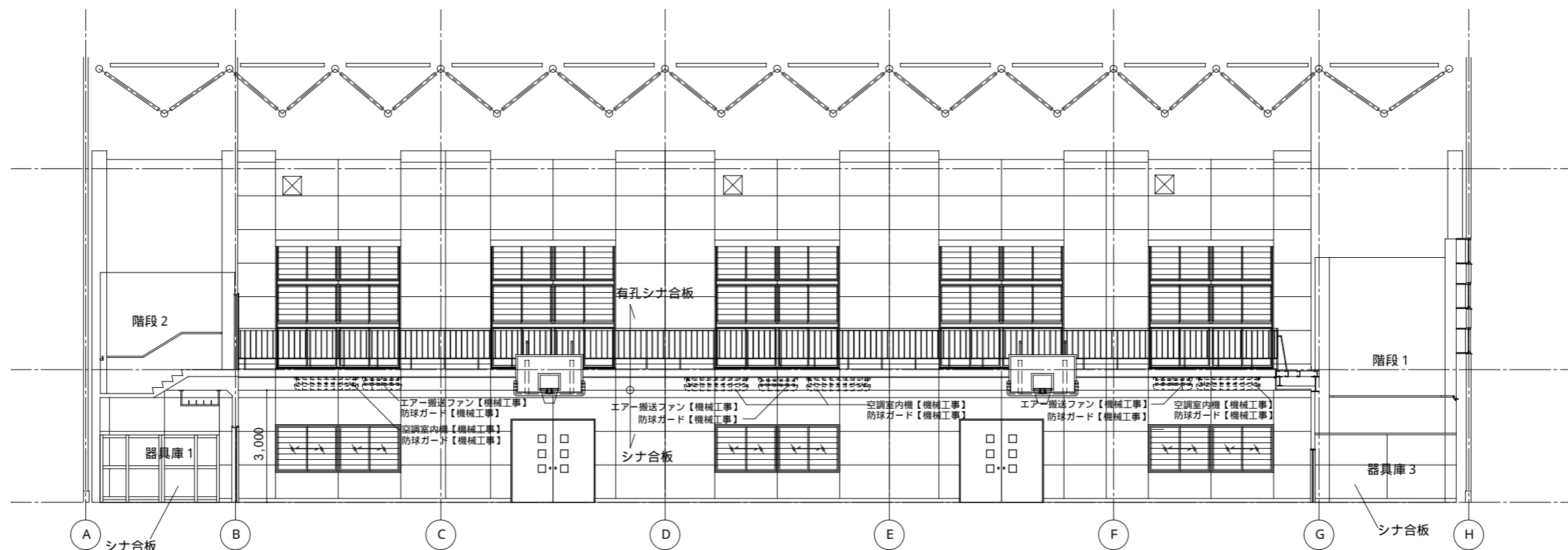
東面

現況 (撤去)

訂 正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校屋内運動場空調設置ほか改修工事	現況 (撤去)	SCALE	A
								展開図 (2)	1 : 100 (A2)
						DATE			



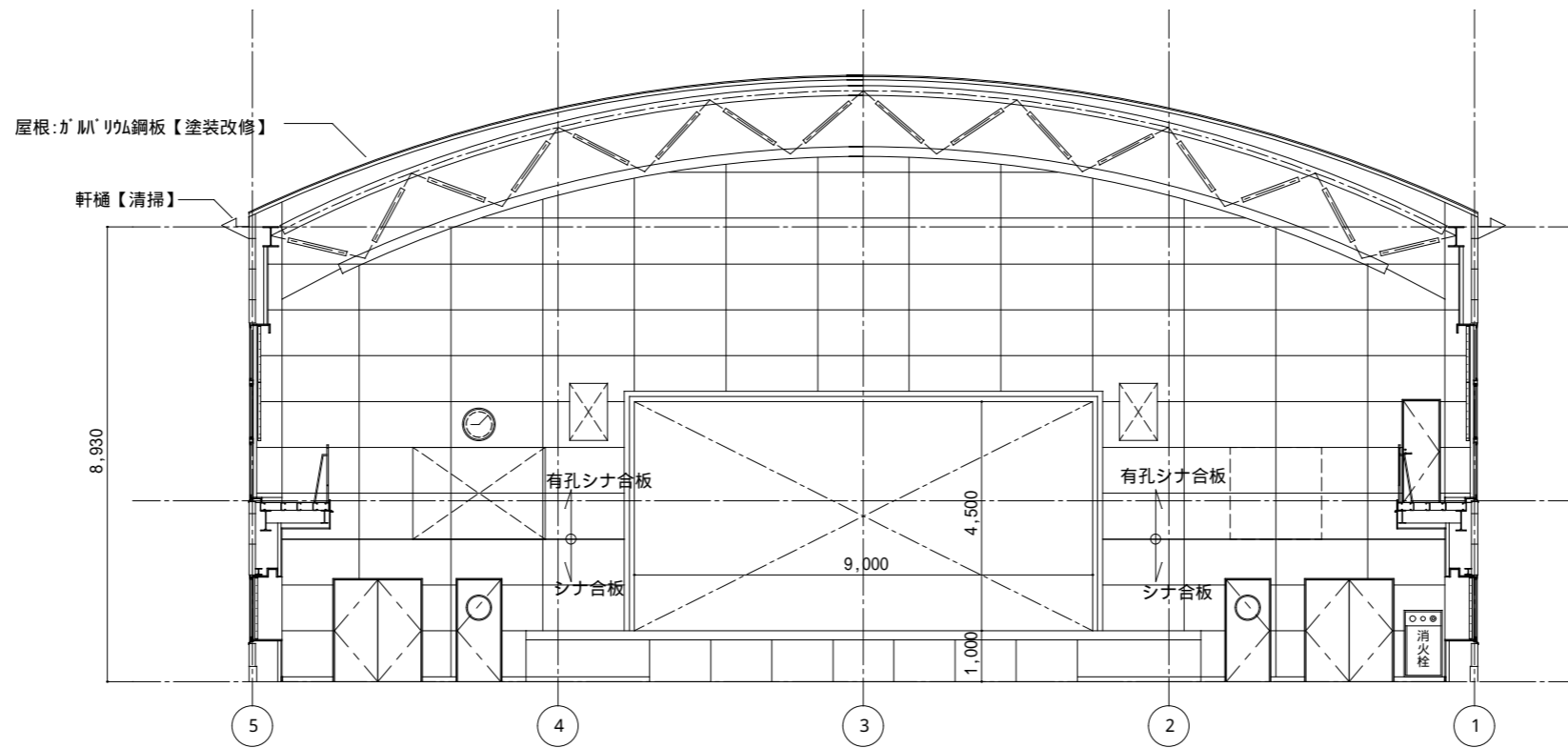
北面



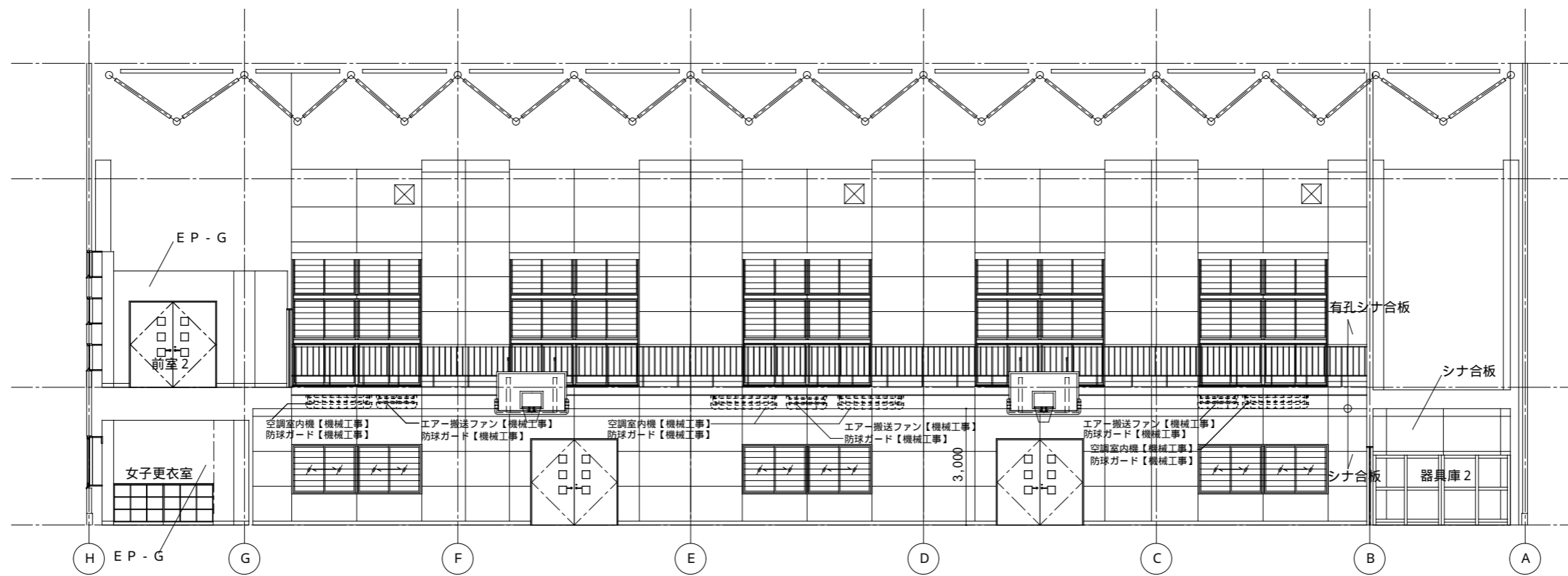
西面

改修後

訂正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	改修後	SCALE	A
	・	・			展開図(1)		1 : 100(A2)	No.	
・	・	・				DATE			25



南面

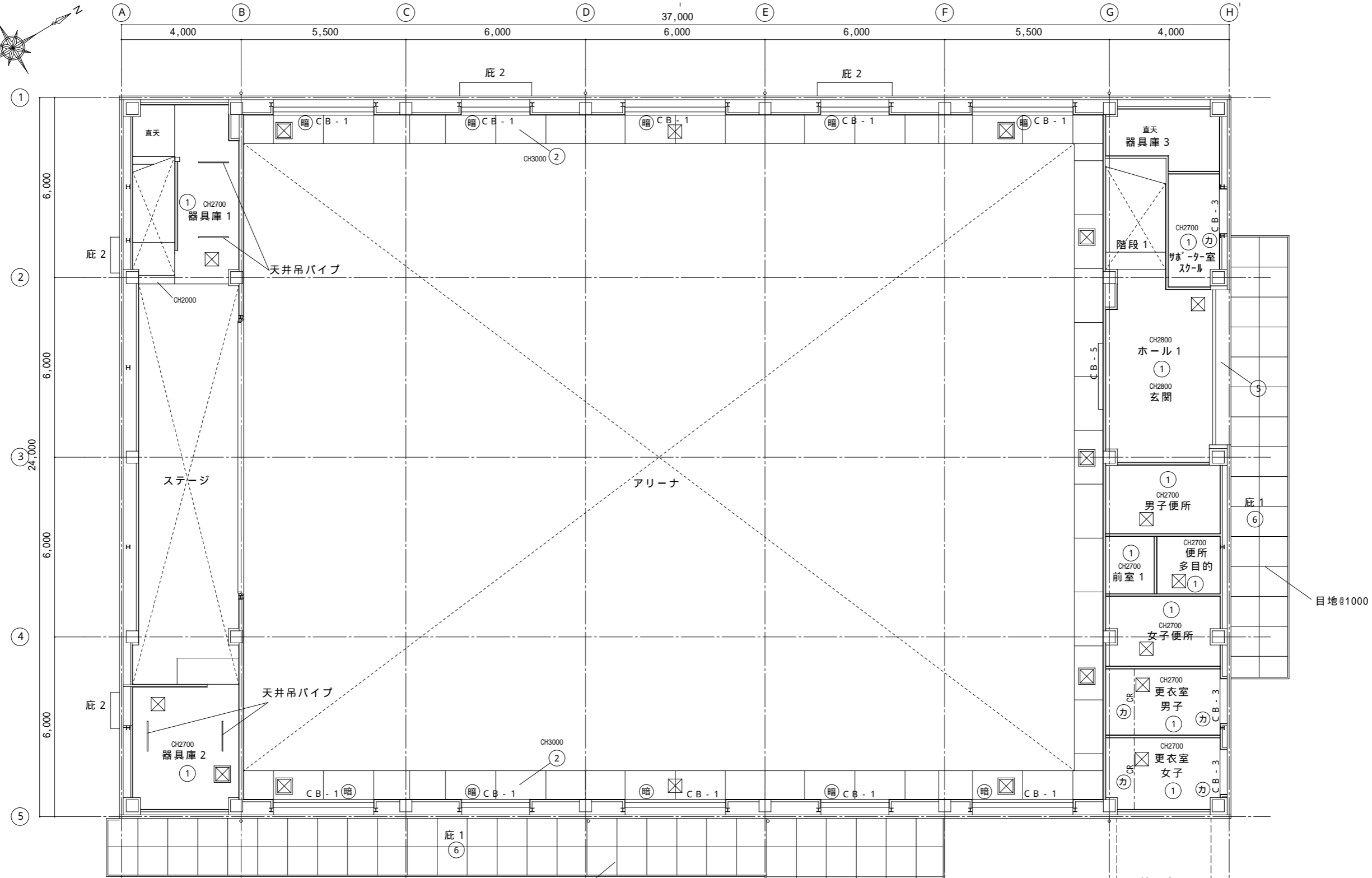
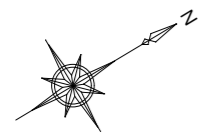


東面

改修後

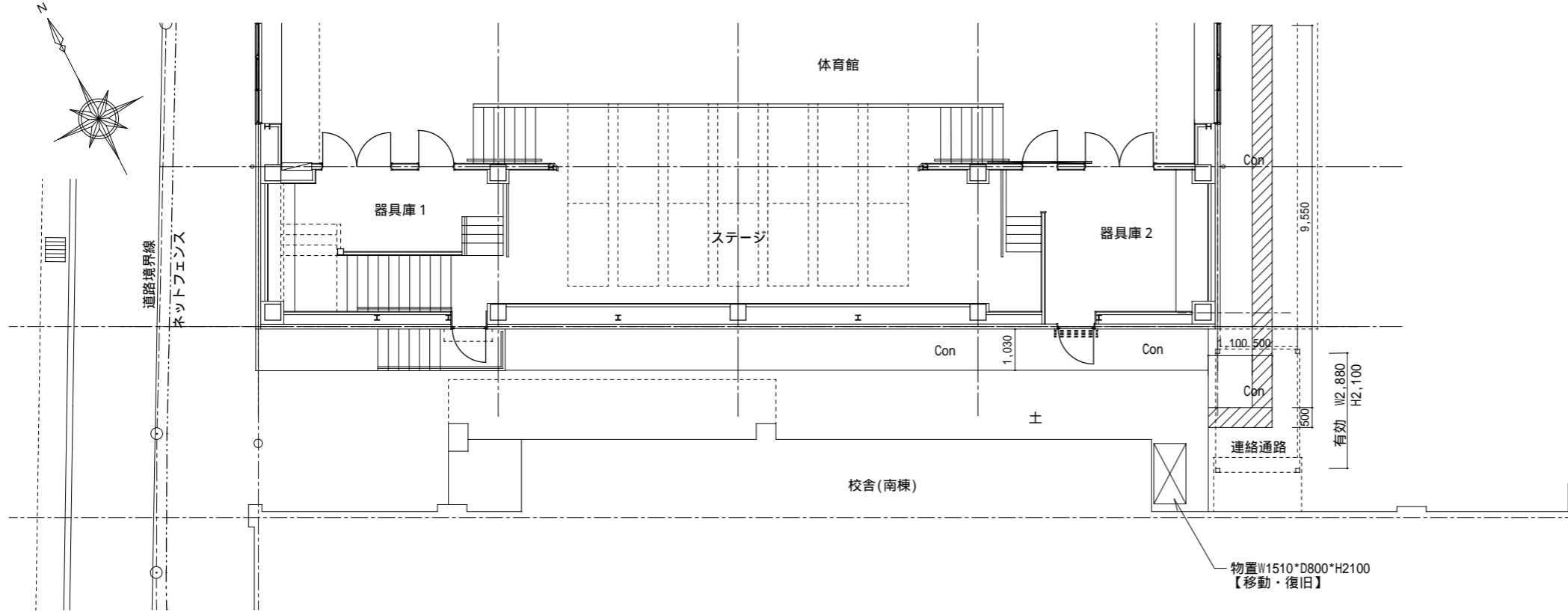
訂 正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校屋内運動場空調設置ほか改修工事	改修後	SCALE	A
							展開図(2)	1:100(A2)	No.
						DATE			26

凡例			凡例			凡例			
記号	天井下地	仕上	廻縁	記号	天井下地	仕上	廻縁	記号	仕上
①	C1	LGS下地	塩ビ	⑥	鉄骨下地	アルミパネル厚1.5		☒	アルミ製 天井点検口 450×450 【新設】
②	C1	LGS下地+ラワン合板厚12	塩ビ	⑦	C3	LGS下地+GB-R厚9.5	塩ビ		
③		C-100×50×20×2.3		☒		天井点検口 450×450		☒	天井点検口 600×600 1ヶ所 はしご付き
④		C-100×50×20×2.3		—		天井吊パイプ 34 2.2 SOP		☒	暗幕 別途工事
⑤		ALC下地		CB-		カーテンボックス		カ	カーテン 別途工事



1階天井伏図 1/100

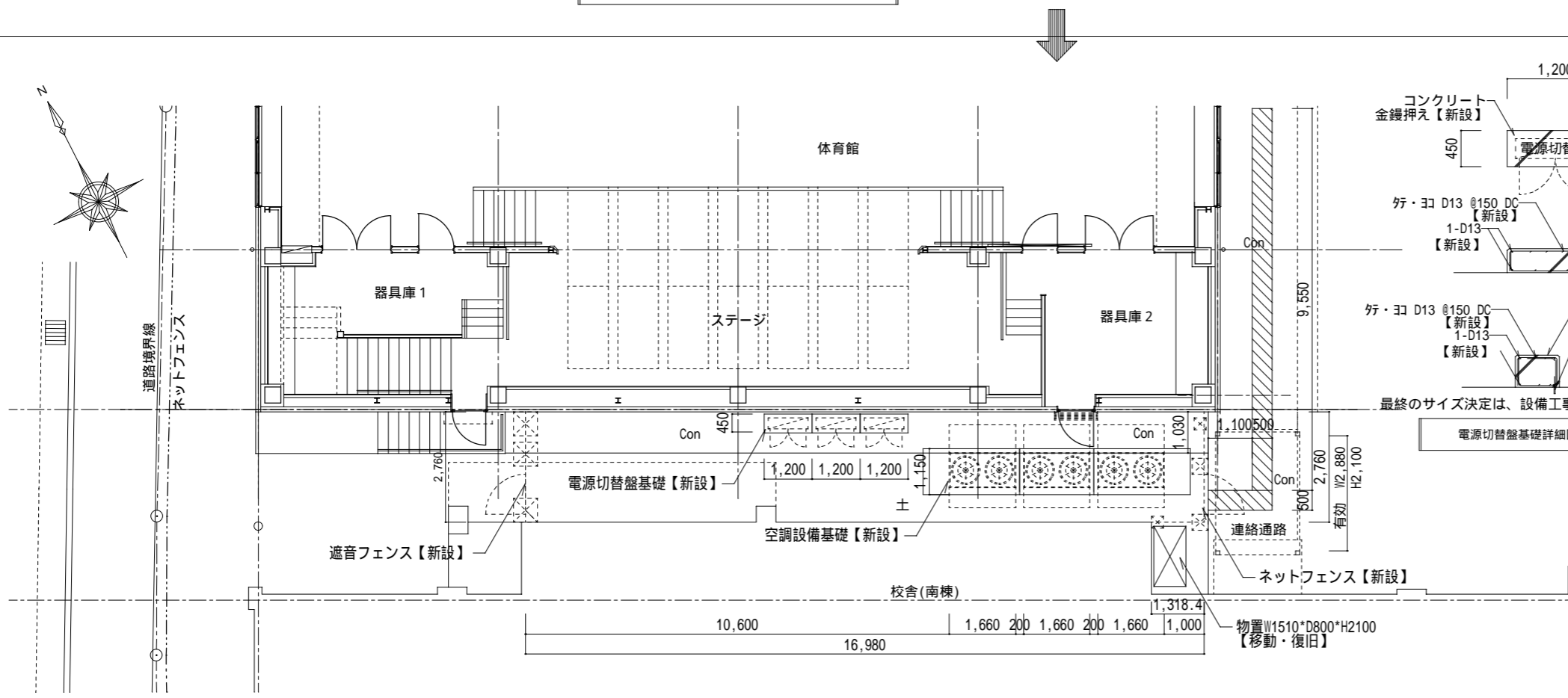
改修後



外構配置図 1:100

凡例
 コンクリート撤去範囲を示す

現況(撤去)

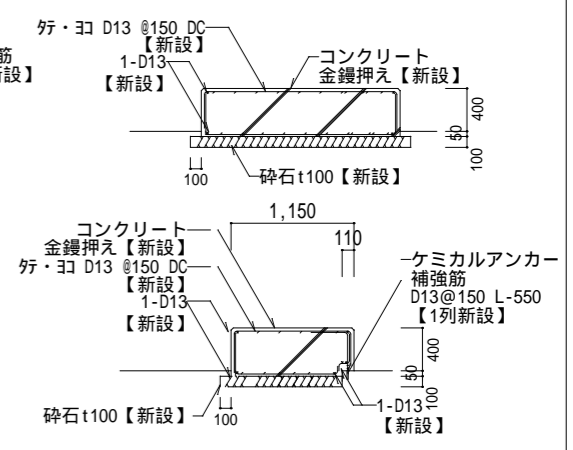
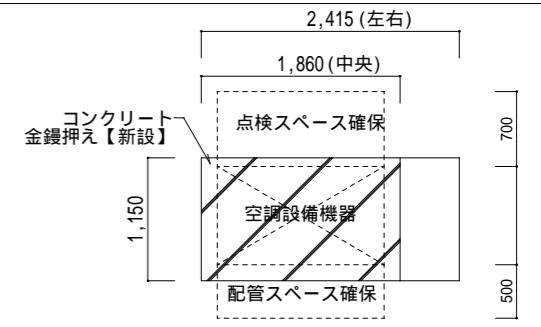
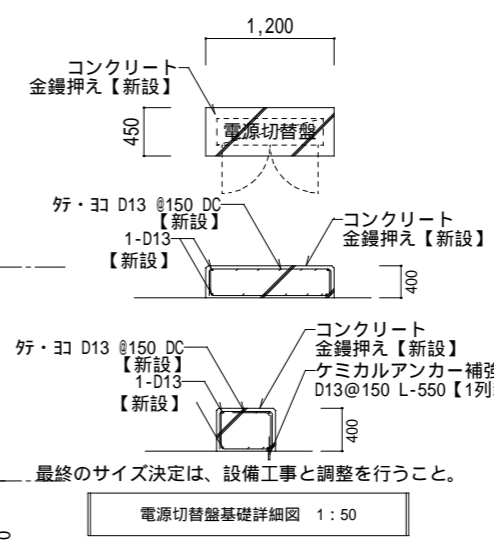


外構配置図 1:100

設備工事の樹取付後のコンクリート部補修(2カ所)

凡例
 コンクリート新設範囲を示す t=150
 コンクリート強度 21-15-20
 配筋 D10@200S.C. 直押え2回仕上

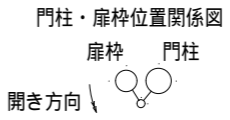
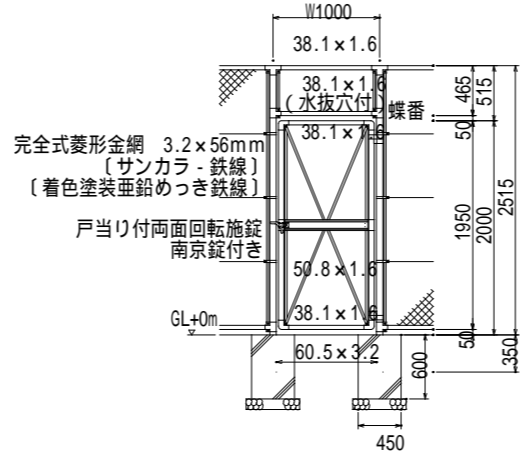
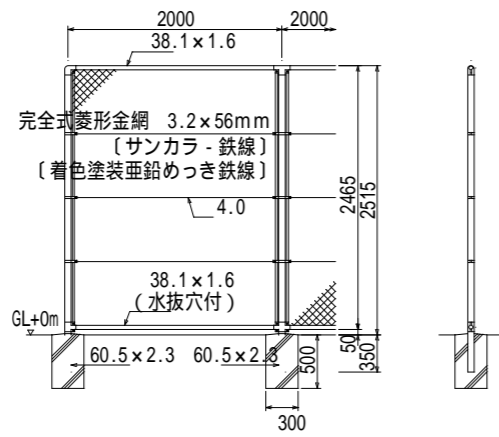
改修後



最終のサイズ決定は、設備工事と調整を行うこと。

空調設備基礎詳細図 1:50

訂	正	 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ 一級建築士事務所 一級建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事 DATE	現況(撤去)、改修後 外構配置図 機械設備基礎詳細図	SCALE 1:100(A2) 1:50(A2)	A No. 28
---	---	---	----------	------------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	----------------

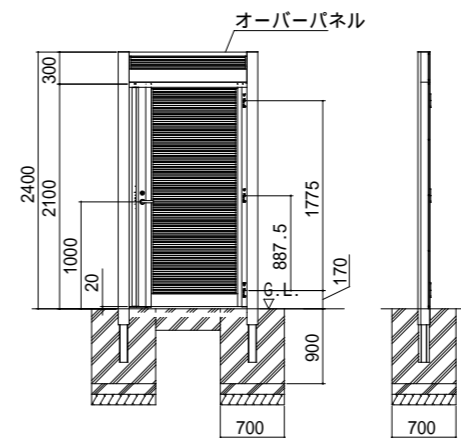
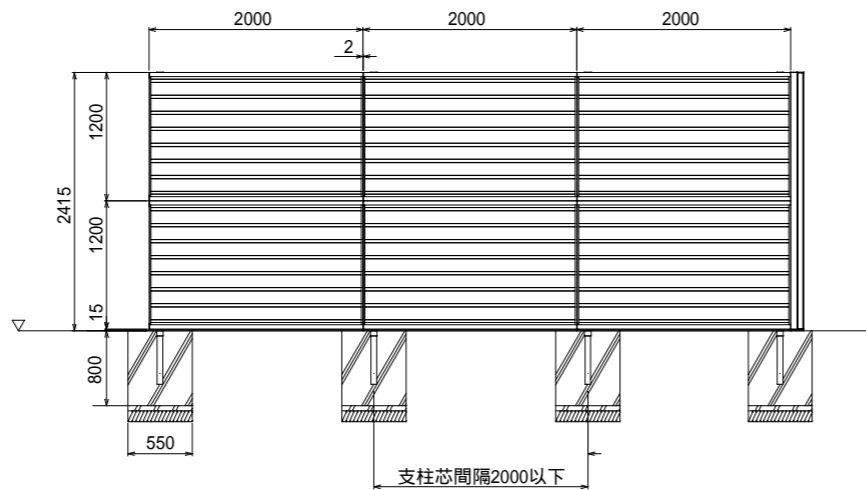
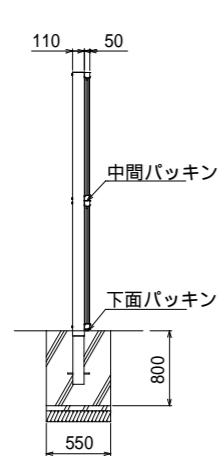


設計条件
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)

備考
 1. 外装は金網類を除く他はめっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、施錠装置及びボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。
 2. 本図門扉は片側180°開きとする。

朝日スチール工業 PC-A2500 同等品以上

ネットフェンス詳細図 1:30



朝日スチール工業 GM-2400GG 同等品以上

遮音フェンス詳細図 1:30

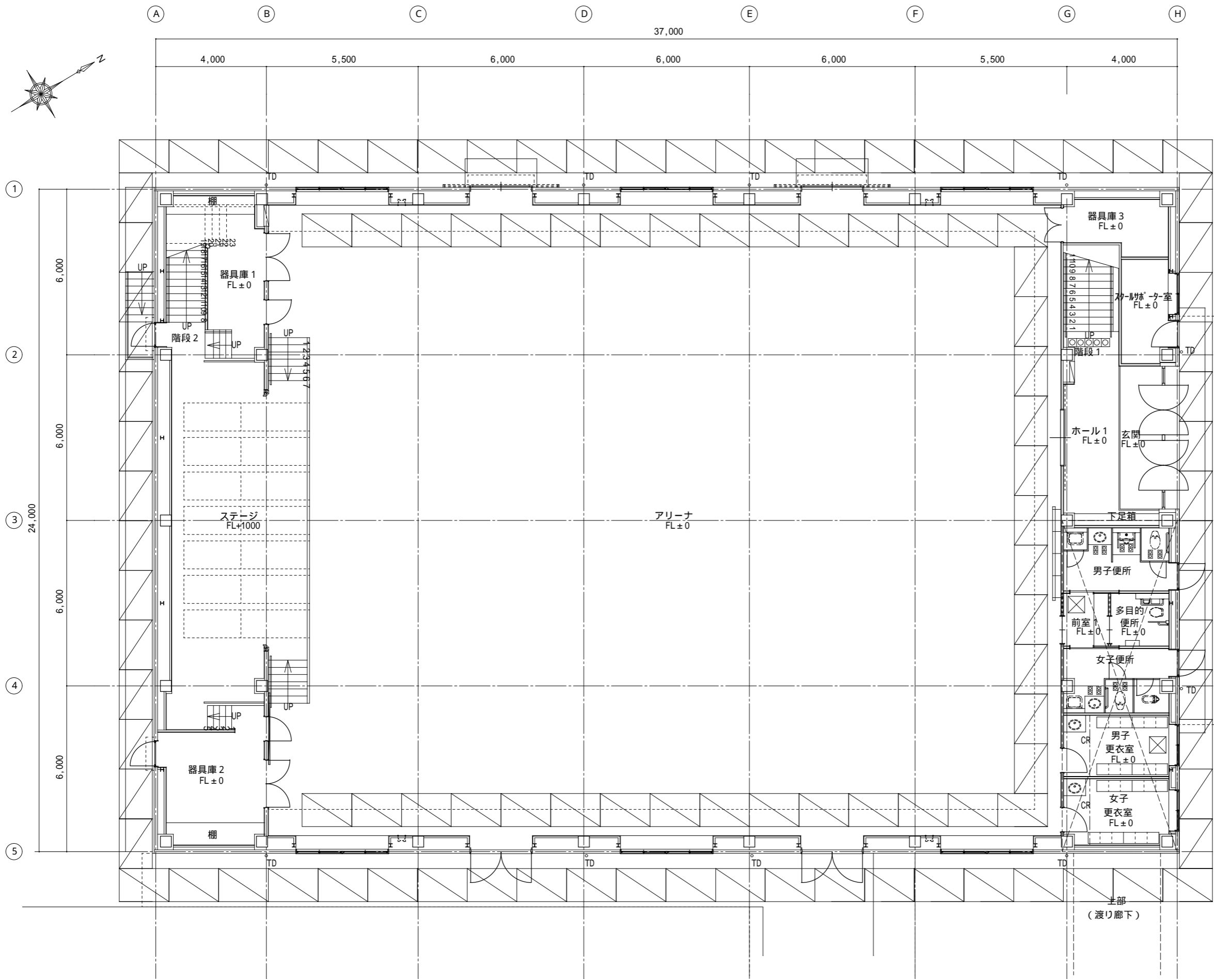
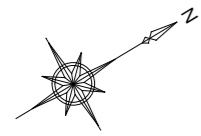
改修後

訂正	月	日	内容	FILE No.	工事名	改修後	SCALE	A
					大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	フェンス詳細図	1:30(A2)	No.
								29

BCY'S
 建築事務所
 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ

一級建築士事務所
 一般建築士登録第 204199 号
 山本 勝義

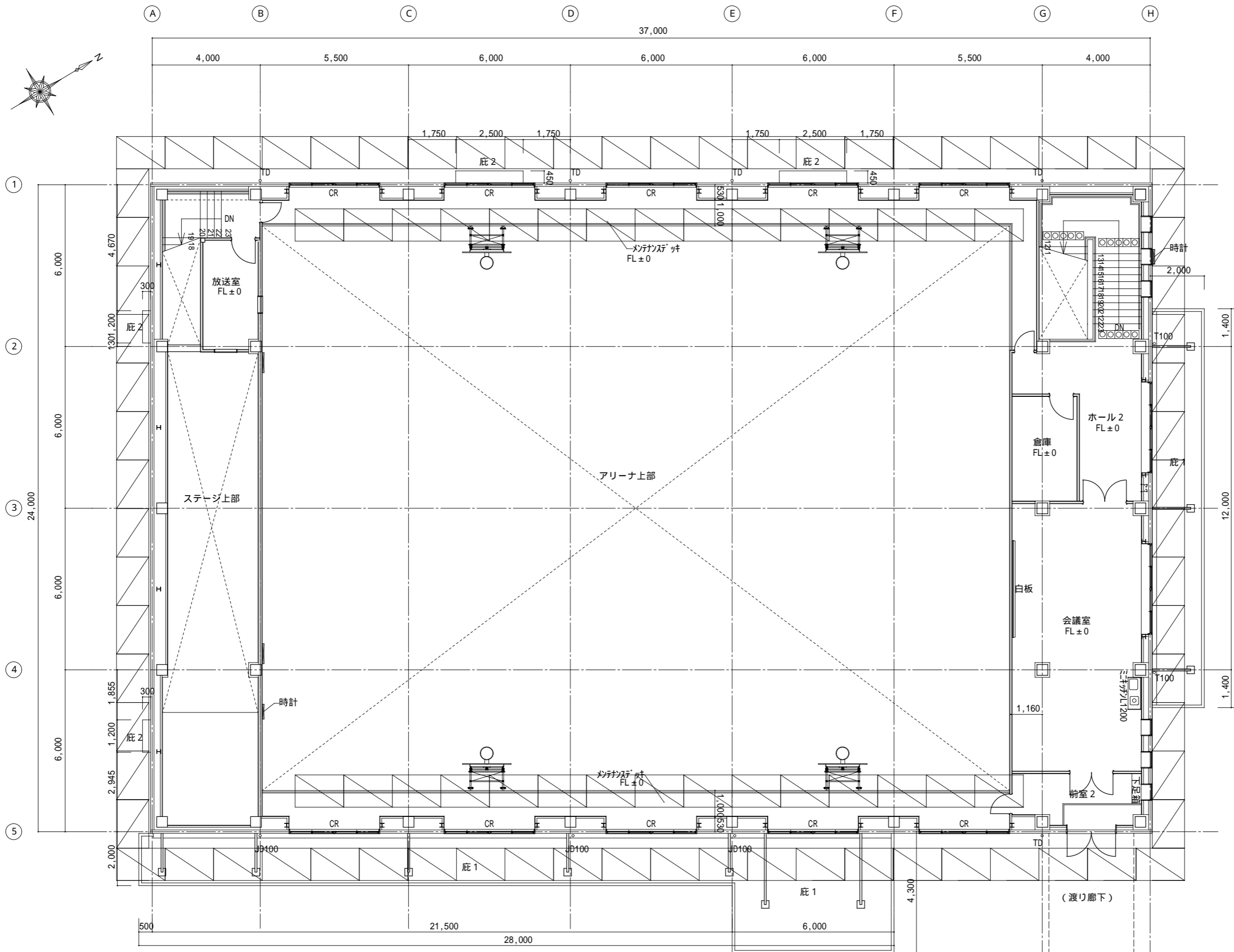
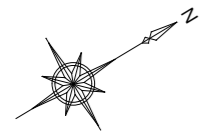
DATE




凡例
 内部仕上棚足場
 外部枠組本足場 W=1200

1階平面図 1:100

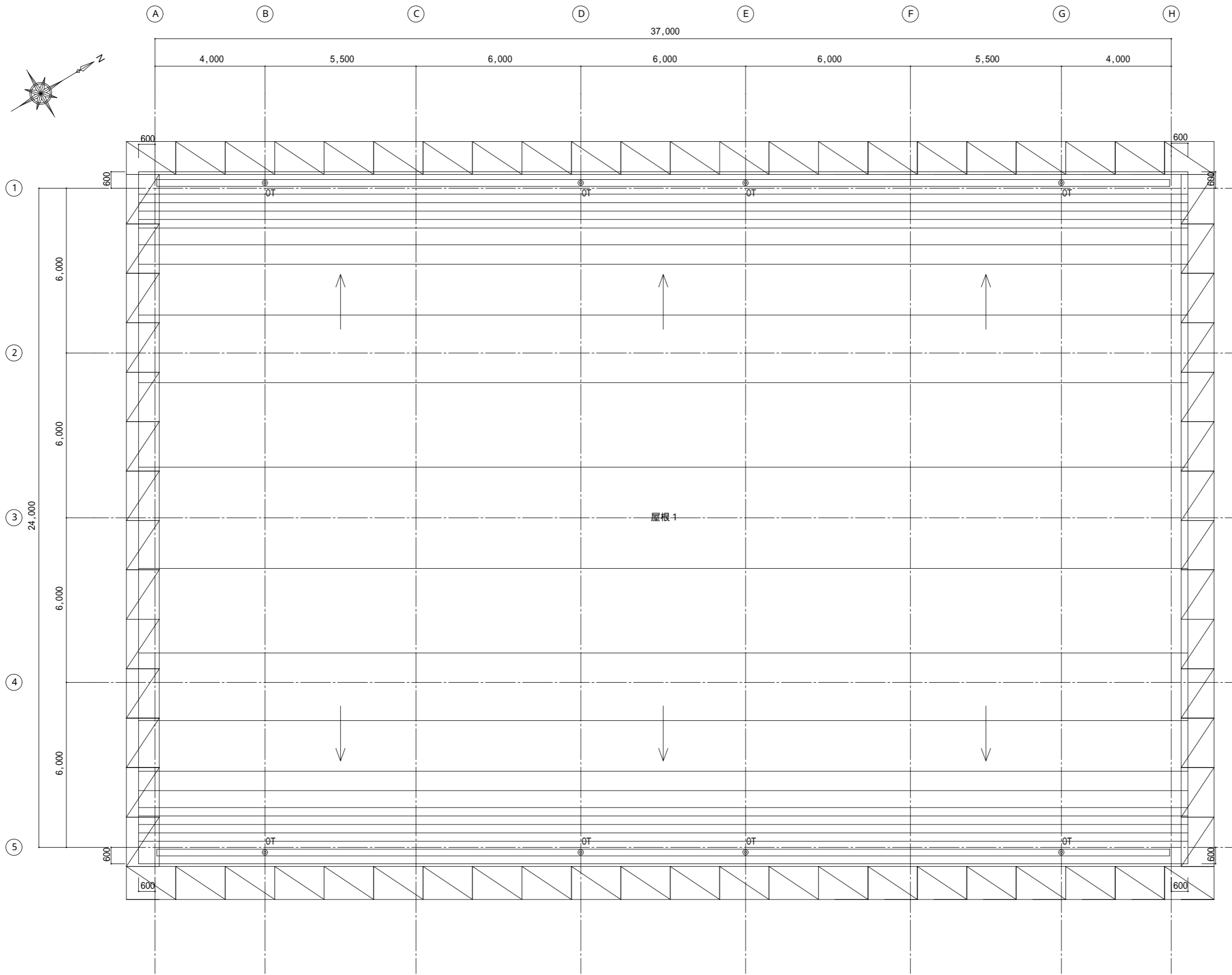
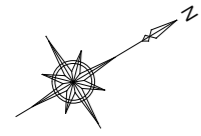
訂 正	月	日	一級建築士事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事 DATE	仮設計画 1階平面図 (参考図)	SCALE	A
							1:100(A2) No.	30



凡例
 内部仕上欄足場
 外部枠組本足場W=1200

2階平面図 1:100

訂 正	月	日	BCY'S 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	仮設計画 2階平面図 (参考図)	SCALE	A
							1:100(A2) No.	31	
						DATE			

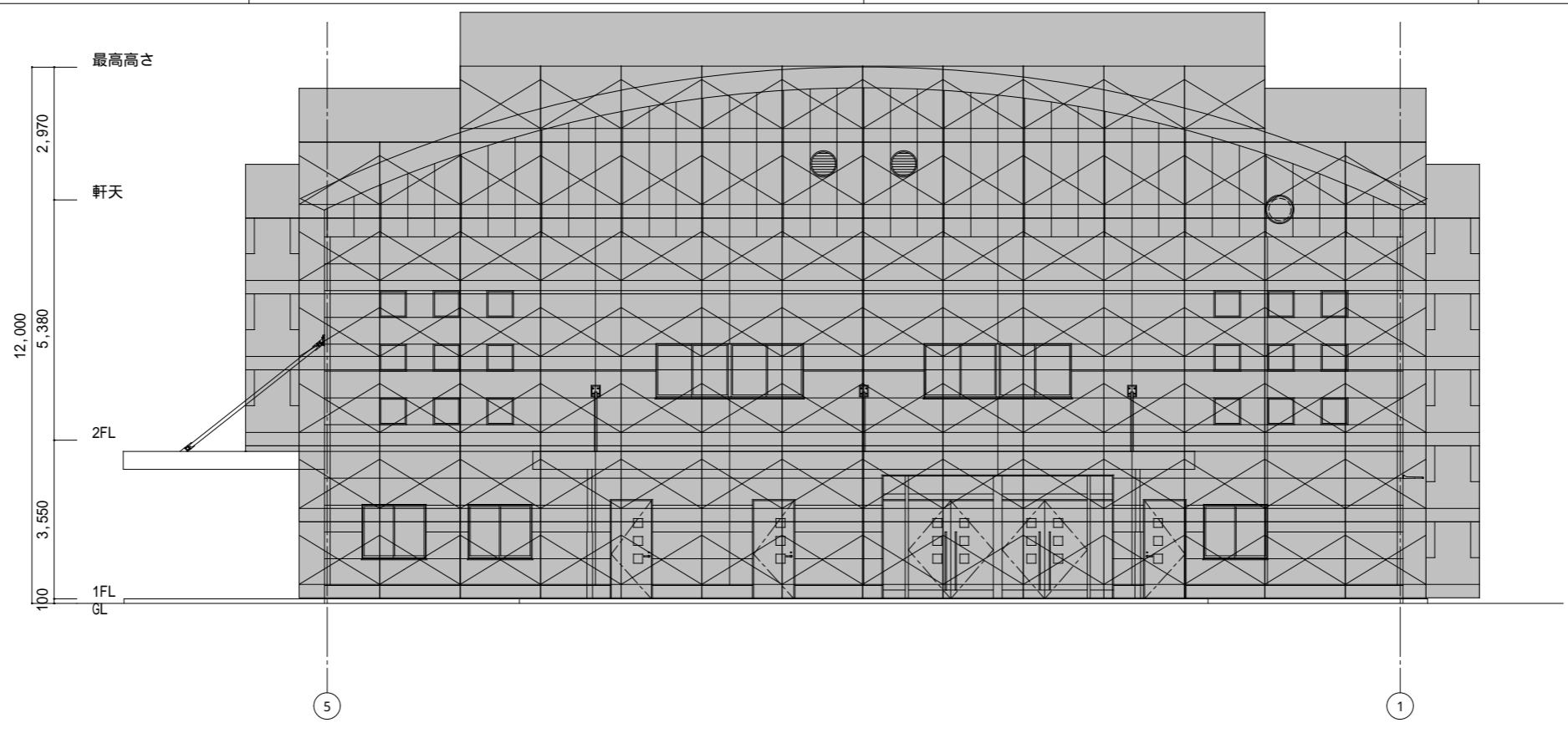


凡例

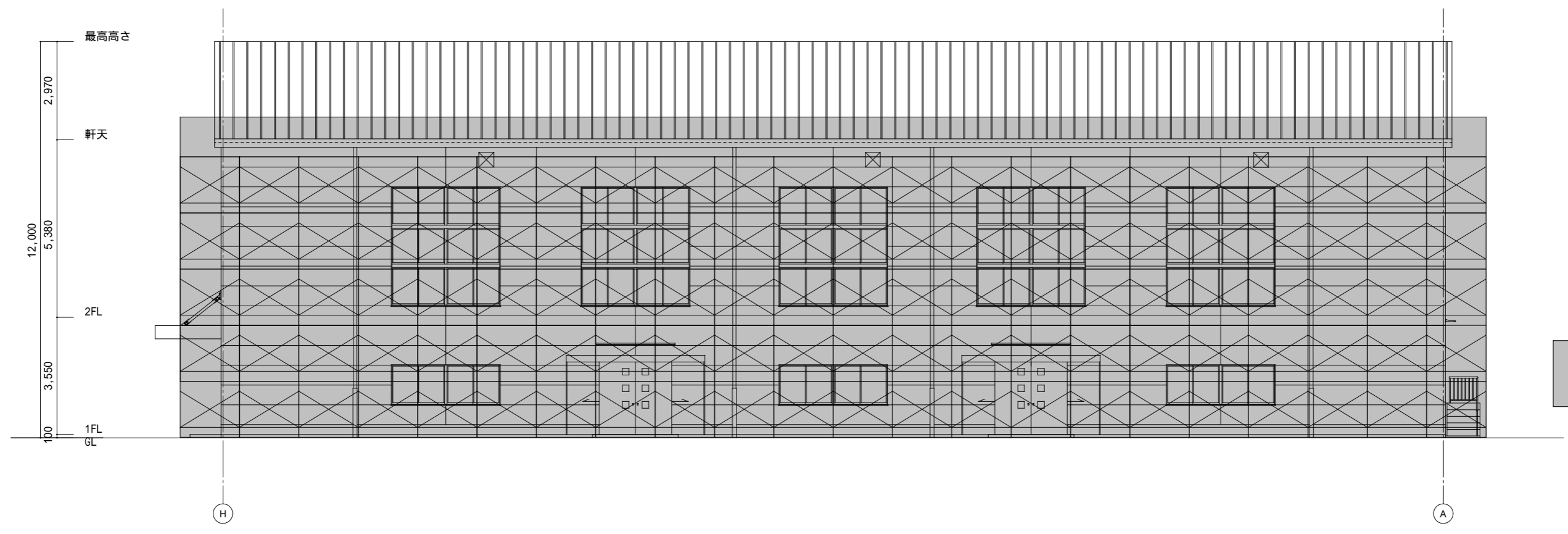
 外部枠組本足場W=1200

屋根伏図 1:100


訂 正	月	日	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事 DATE	仮設計画 屋根伏図 (参考図)	SCALE	A
							1:100(A2)	No.



北立面図 1 : 100



西立面図 1 : 100

訂 正	月	日	 建築事務所 株式会社 ビルディング・コンサルタントワイズ	一級建築士事務所 一般建築士登録第 204199 号 山本 勝義	FILE No.	工事名 大久保小学校体育館空調設置ほか改修工事	仮設計画 立面図 (参考図)	SCALE	A
								1 : 100 (A2)	No.

電気設備工事特記仕様書－1

- 【工事概要】
 1 工事場所：京都府宇治市広野町中島1番地の1
 2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別第一耐震安全性の分類	備考
				甲 乙	
				甲 乙	
				甲 乙	
				甲 乙	

- 3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	体育館
電灯設備		
動力設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
発電設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車場管制設備		
防犯・入退室管理設備		
火災報知設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路		
構内通信線路		
電波障害調査		
撤去工事		

【特記事項】

- 1 一般事項
 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。
 2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
 2 特記事項
 項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
般	現場代理人	本工事に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事事	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかにし、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
事	工事用仮設物	構内につくることができない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない（本工事 別途）
項	監督職員事務所	監督職員事務所に備え付ける。
	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 再生資源利用を図るもの【 再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物 P C B使用機器 S F 6 ガス使用機器 建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。 構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。
項	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 再生資源利用を図るもの【 再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物 P C B使用機器 S F 6 ガス使用機器 建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。 構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 構内指示場所に敷き均し
	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 再生資源利用を図るもの【 再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物 P C B使用機器 S F 6 ガス使用機器 建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。 構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 構内指示場所に敷き均し
	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 再生資源利用を図るもの【 再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物 P C B使用機器 S F 6 ガス使用機器 建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。 構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 構内指示場所に敷き均し

章	項目	特記事項
一 般 事 項	工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集5 一覧表により提出。 宇治市ホームページ参照/ww.city.uji.kyoto.jp
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末に〆め、翌月の5日までに提出する。
	工事写真	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（最新版）」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黑板情報電子化については、現場説明書による。
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背粘り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背粘り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書
	著作権等	電子納品については、現場説明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表による。
	耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。
		設置場所 特定の施設 一般の施設 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中間階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 1階及び地下階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)
		設置場所 特定の施設 一般の施設 水 槽 水 槽 上層階、屋上及び塔屋 2.0 1.5 中間階 1.5 1.0 1階及び地下階 1.5 1.0
		注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設、乙類の建物は一般の施設を適用する。 注2 屋外に設置する機器は、建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。 注3 ()内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。 注4 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注5 上層階の定義は、6階建以下の場合是最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注6 重要機器(水槽類含む)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 配電盤 直流電源装置 自家発電装置 交換機 電算用電源 中央監視装置 U P S装置 自動火災報知装置 注7 操作車は本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定金具を備えたものとし、卓上機器は、転倒防止用の措置を講じたものとする。
通	風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面相度区分 V o (3 0 3 2 3 4) 地表面相度区分()
	風圧力(耐風力)	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 受置部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 〇風力発電装置 テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト
事	電線類	1) 特記なきものは、EM - I Eとする。 2) E M電線、E Mケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。
	EM - アクセフロア	J C S 4 5 0 2 (6 0 0 Vアクセフロア用耐燃性ポリエチレンスケーケブル) による6 0 0 Vアクセフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーケブル(E M - E E) 及び6 0 0 Vアクセフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーケブル(E M - C E) を示す。
	EM - M E E S	J C S 4 2 7 1 に準じ、絶縁材及びシースにJ C S 規格によるE Mケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
項	電線管	3) 長さ1 m以上の通線を行わない配管には、導入線(樹脂被覆鉄線等)を挿入する。 電線管 P F管 ただし、露出部分は金属モールとする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(鋼製電線管 P F管) とする。 ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2) スラブ厚の1 / 4 を越える外径の配管及び(P F 2 2) 又は(E 2 5) 相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。
	最上階の埋込配管	最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。
	電線本数、管路等	下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) 屋内居室 屋内P S・E P S 屋内機械室・電気室 〇廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。 樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
	ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
項	予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(2 5) を1本、5個以上の場合(2 5) を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に(5 1) を1本以上立上げる。
	フラッシュプレート	和室 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製)
	床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 二重床以外 飛び出し形 〇引出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リフing付) 砲金製 〇アルミ製とする。)
項	機器	寸法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等 (溶融亜鉛メッキ S U S) その他 (一般品 S U S)

章	項目	特記事項
共 通 事 項	あと施工アンカー	施工後確認試験 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)「8.1.2.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。
	機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、E M電線及びE Mケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 O A盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(U P S) (簡易型を除く)
電	はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。
	再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。
設 備	その他	屋外の盤類・開閉器箱 S U S 鋼板製 屋内外のプルボックス S U S 鋼板製
	工事範囲	配管 配線 機器取付
灯	電気方式	幹線 単相3線式 1 0 0 V / 2 0 0 V 直流2線式 1 0 0 V 分岐 単相2線式 1 0 0 V 2 0 0 V 直流2線式 1 0 0 V
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
設 備	照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を付属させる。
	多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を付属させる。
設 備	L E D制御装置の種類	図面特記があるものを除き、L E D照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあつてはL X又はL Z、それ以外はL N又はL Jとする。
	R P又はM P形照明器具 非常用照明の形式	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、S U Sを含む複数の材料が適用されている場合は、S U Sを適用する。 電池内蔵形 電池別置形
備	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 O Aフロア用
	分電盤等	1) 本工事の分電盤、O A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、J I S C 8 2 0 1 - 2 - 1「回路遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、J I S C 8 2 0 1 - 2 - 2「漏電遮断器」、同付属書J C「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」、による1種サイズのものとする。 2) S P D分離器(配線用遮断機)は (警報接点付 警報接点無) とする。 3) S P D分離器は、監督職員の承諾を受けて、S P D内蔵とすることができる。
備	照明用ポール	O A盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける 開閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 開閉器を設けない
	一般照明の照度測定	実施 する しない
動 力 設 備	工事範囲	配管 配線 〇機器取付
	電気方式	幹線 三相3線式 2 0 0 V 分岐 三相3線式 2 0 0 V
備	制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を 盤面に表示(させる させない)
	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視
設 備	インターロック	自動火災報知設備の受信機、運動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。
	インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
雷 保 護 設 備	電動機出力(kW)	0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
	インバータ効率(%)	86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.5 94.5
受 保 護 設 備	電動機出力(kW)	15 18.5 22 30 37 45 55 75
	インバータ効率(%)	95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
電 設 備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	保護レベル	突針支持管 鋼製 ステンレス製
受 保 護 設 備	接地システム	A型接地極(一板状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底盤部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を〇設ける 設けない)
	工事範囲	配管 配線 機器取付
電 設 備	電気方式	高圧 三相3線式 6 k V 低圧 三相3線式 2 0 0 V 単相3線式 1 0 0 V / 2 0 0 V 三相4線式 V / V
	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧器盤 コンデンサ盤 系統連系保護制御盤 高圧スイッチギア(C X形 C W形 P W形) 低圧スイッチギア(C X形 C S形 C W形 F W形)
設 備	変圧器の規格【ケ】	1) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2) ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視
備	基礎	本工事 別途工事 既設
	付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。
項	その他	低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 低圧配電盤の裏面に負側引出し用端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はL E Dとする。 換気扇を設ける場合は回転センサ付とする。(盤面警報ランプ共)



電気設備工事特記仕様書ー 2

章	項目	特記事項		
電力貯蔵設備	工事範囲	配管	配線	機器取付
	直流電源装置	用途 その他	建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。	
	交流無停電電源装置(UPS)	用途 方式	(一般形 簡易形	
	工事範囲	配管	配線	機器取付
	形式	オープン形	簡易形	キュービクル
	連続運転可能時間	10時間(乙)	7.2時間(甲)	
	発電機	電気方式 電圧 定格出力	三相3線式 210V kVA以上	6.6kV 415V 力率 0.8
	原動機	種別	ガスタービン マイクロガスタービン kW(PS)以上	ディーゼル機関 燃料電池 コージェネレーション
	定格出力 始動方式 冷却方式 現地負荷試験	電気式 ラジエーター式 行う	空気式 水循環式 行わない	
	燃料	種類 燃料小出槽 主燃料槽	重油 軽油	灯油 ガス()
監視方式	警報盤による代表監視	中央監視盤による監視		
太陽光発電装置	太陽電池	アレイ 設置可能建築面積	公称最大出力 m5.2以下(長辺 m x 短辺 m)	kW以上
	系統連系	受動	能動	
	パワーコンディショナ出力	相	線式	V kW以上
	逆潮流	有	無	
	交流出力電圧	100V	200V	
	出力電気方式	三相3線式	単相3線式	単相2線式
	外部移相	有	無	
	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付
	施工方法	金属管配線	ケーブル配線	
	構内交換設備	工事範囲	配管	配線
保安器用接地		本工事	別途工事	
形式		電子交換機	ボタン電話装置	
情報表示設備	工事種類	マルチサイン装置	出退表示設備	時刻表示設備
	工事範囲	配管	配線	機器取付
	親時計及び付属装置	CR - P M プログラムタイマ(カード式)	CW - P M キー式	
子時計	特記なきものは	SWA\$3\$3 - GSPB\$2		
映像設備	工事範囲	配管	配線	機器取付
	施工方法	金属管配線	ケーブル配線	合成樹脂管配線
拡声設備	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付
	増幅器	用途	全館放送用(一般放送 非常放送)	ローカル放送用
	自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。			
スピーカ	特記なきものは	SC6H1 - 1V3 - M	撤去品再取付	
誘導支援設備	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付
	工事内容	音声誘導装置	検出方式(磁気式 無線式 画像認識)	
	インターホン	電話式	相互式	
	テレビインターホン			
	トイレ等呼出し装置	1窓 3窓 5窓		
	呼出しボタン	壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする)	壁付握りボタン(握りボタンの長さは1.2m程度とする)	
	通話機能			
受付呼出し装置	誘導音			
テレビ共同受信設備	工事範囲	配管	配線	機器取付
	アンテナ	UHF用 AM用	B S用 FM用	C S用 CATV
	アンテナマスト	壁面取付形 配管用ステンレス鋼管 一般構造用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ) 圧力配管用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	自立形 自立形 自立形	
電界強度測定	電界強度及び画像は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。			

章	項目	特記事項			
監視カメラ	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	画像	カラー	白黒		
	伝送方式	ネットワーク伝送方式	デジタル同軸伝送方式	○	
駐車場設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	車両検出方式	ループコイル方式	光線方式		
防犯・入退室管理設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置	緊急通報設備用配管 入退室管理制御装置		
火災報知設備	自動火災報知装置	工事範囲	配管	配線	既設品取外し・再取付
	受信機	形 壁掛形 単独形 耐受信機 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。	級 自立形 複合形 窓	回線	
	光警報装置	消火ポンプ始動	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)		
	機器収容箱	消火栓一体形	単独形		
	自動閉鎖装置	工事範囲	配管	配線	機器取付
	連動制御器	回線	【予備電源(蓄電池)内蔵】 単独 百火報受信機と一体		
	自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】			
	非常警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付
	電気方式	DC24V			
	電源装置	非常電源(蓄電池)	自動火災報知設備と兼用		
ガス漏れ火災警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
受信機	単独形	自火報受信機と一体			
ガスの種類	都市ガス(13A)	液化石油ガス			
諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。				
中央監視設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	監視方式	警報盤	監視制御装置		
医療関係設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	非接地電源用分電盤	キャビネット	鋼製	ステンレス製	
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出ボタン	有線式 防滴	無線式 防湿	
その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。				
構内配線	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	電気方式	高压 低压	三相3線式 三相3線式 単相3線式 単2線式	6kV 200V 100/200V (100V 200V)	
	ふ設方式	地中線	管路式	波打硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)	
	埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面)から300mm以上とする。			
	架空線	電柱	遠心力プラスチックコンクリートポール		
	区分閉閉器	高压負荷閉閉器	7.2kV 300A		
	用途	架空引込用	地中引込用		
	構	耐中埋じん用	耐重埋じん用		
	形式	引外し装置付き(SOG形)	引外し装置なし	避雷器内蔵	
	制御電源用変圧器内蔵				
電線	マンホール及びハンドホール	構造・寸法	標準図による	図示による。	
	蓋の文字	蓋の用途表示は電力とする。			
	ハンドホールにおいてケーブル支持材を設ける。				
	ケーブルが直接接触しない場合は、接地を省略してもよい。				
	屋外に使用する高压ケーブルはEM-高压架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6.0V 架構ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(よる)よらない)				
	高压ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。				
	余長	一般用	耐塩用	重耐塩用	
端未処理	屋外形	耐塩形			
避雷器	一般用	耐塩形			
装柱材	基礎	本工事	別途工事		
外灯	外灯ホールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。				
構内通信線路	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	ふ設方式	地中線	管路式	波打硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)	
	埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面)から300mm以上とする。			
架空線	電柱	遠心力プラスチックコンクリートポール			
マンホール及びハンドホール	構造・寸法	標準図による	図示による。		
蓋の文字	蓋の用途表示は通信とする。				
ハンドホールにおいてケーブル支持材を設ける。					
ケーブルが直接接触しない場合は、接地を省略してもよい。					

章	項目	特記事項	
調査障害	調査範囲	測定のみ	対策工事実施設計書作成まで
	測定時期	工事前	工事中 工事後
	測定箇所	箇所	
	測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。	

別表	付属品・予備品
イーゼルキャビネット	箱
工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スパンナー、ハンマー)	キーボックス
受変電設備・盤	テスター
	マンホールフック
	ラップ及びビュースの予備品は、2.0%とする。

試験・検査一覧

工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。

検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。

受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの

工事着手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。

工事前既に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。)

工事完成後、テレビ機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。

工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。

後施工アソカ-の施工確認試験(引張試験機による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。

例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

その他

試験機器類の校正記録を提出する。

停電工事が必要な時は、当該高压受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。

尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。

工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高压電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。

分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監督指針(令和元年度版)の資料5(P1127)に基づき施工する。

鉄筋コンクリ-トをダイヤモンドル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。

整備不良の電動工具等持ち込まない。

構外搬出適切産廃処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。

交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。

カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
取引用計器	地上-上端	2,000	端子盤	床上-上端	1,900
引込開閉器	〃	1,800	保安器函	天井下-上端	200
			壁付位置ボックス	床上-中心	300
			〃(和室)	〃	150
壁掛型制御盤	床上-上端	1,900			
手元開閉器	床上-中心	1,500			
操作スイッチ	〃	1,300			
			壁掛スピーカー	天井下-上端	200
			アッテネーター	床上-中心	1,300
			壁掛型親時計	床上-上端	1,900
			子時計	天井下-上端	200
分電盤	床上-上端	1,900			
スイッチ(一般)	床上-中心	1,300			
〃(身障者便所)	〃	900			
コンセント(一般)	〃	300			
〃(和室)	〃	150			
〃(台上)	台上-中心	300			
〃(土間)	床上-中心	1,300			
ブラケット(一般)	〃	2,100			
〃(踊場)	〃	2,500			
〃(鏡上)	鏡上端-中心	150			
			機器収納函	天井下-上端	200
			直列ユニット	床上-中心	300
			〃(和室)	〃	150



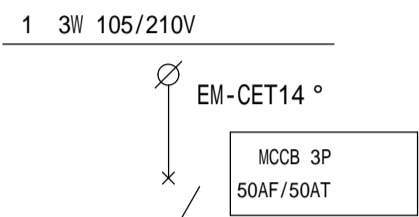
一級建築士事務所
一級建築士登録第 204199 号
山本 朋義

電灯分電盤 L-A 銅板製・屋内壁掛型 鍵付

参考寸法: 500Wx700Hx150D

1面

下部角部分にクッションガード取付



負荷名称	負荷容量 (VA)	分岐回路開閉器	電圧 (V)	回路記号	回路No	回路No	回路記号	電圧 (V)	分岐回路開閉器	負荷容量 (VA)	負荷名称
空調室外機電源	1260	ELCB 2P 50/30A	200		1	2		200	ELCB 2P 50/30A	1260	空調室外機電源
空調室外機電源	1260	ELCB 3P 50/30A	200		3	4		200	ELCB 2P 50/20A	861	空調室内機電源
空調室内機電源	861	ELCB 2P 50/20A	200		5	6		200	ELCB 2P 50/20A	861	空調室内機電源
スケジュールタイマー電源	100	ELCB 2P 50/20A	100		7	8		100	ELCB 2P 50/20A	906	搬送ファン電源
予備		ELCB 2P 50/20A	100					100	ELCB 2P 50/20A		予備

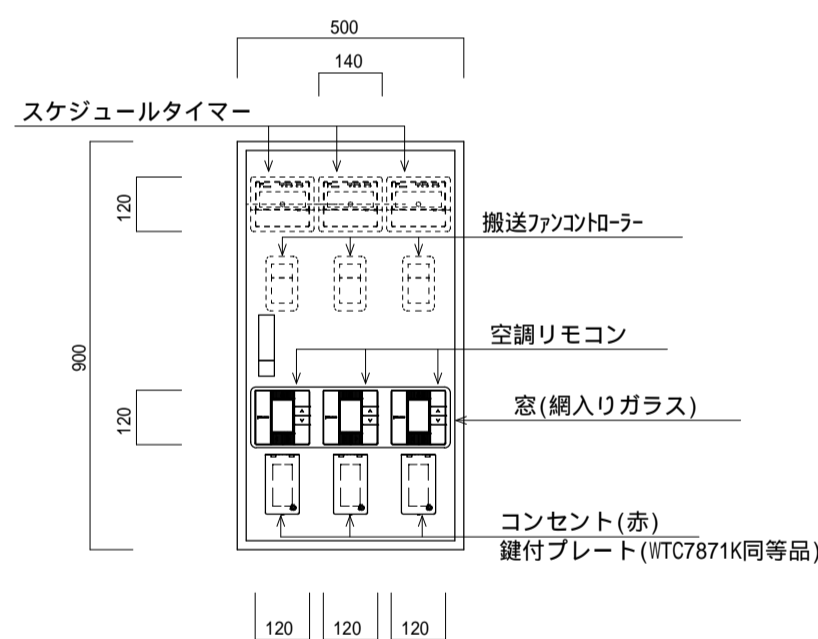
ED ED(ELB)

空調制御盤 銅板製・屋内露出型 鍵付

参考寸法: 500Wx900Lx150D

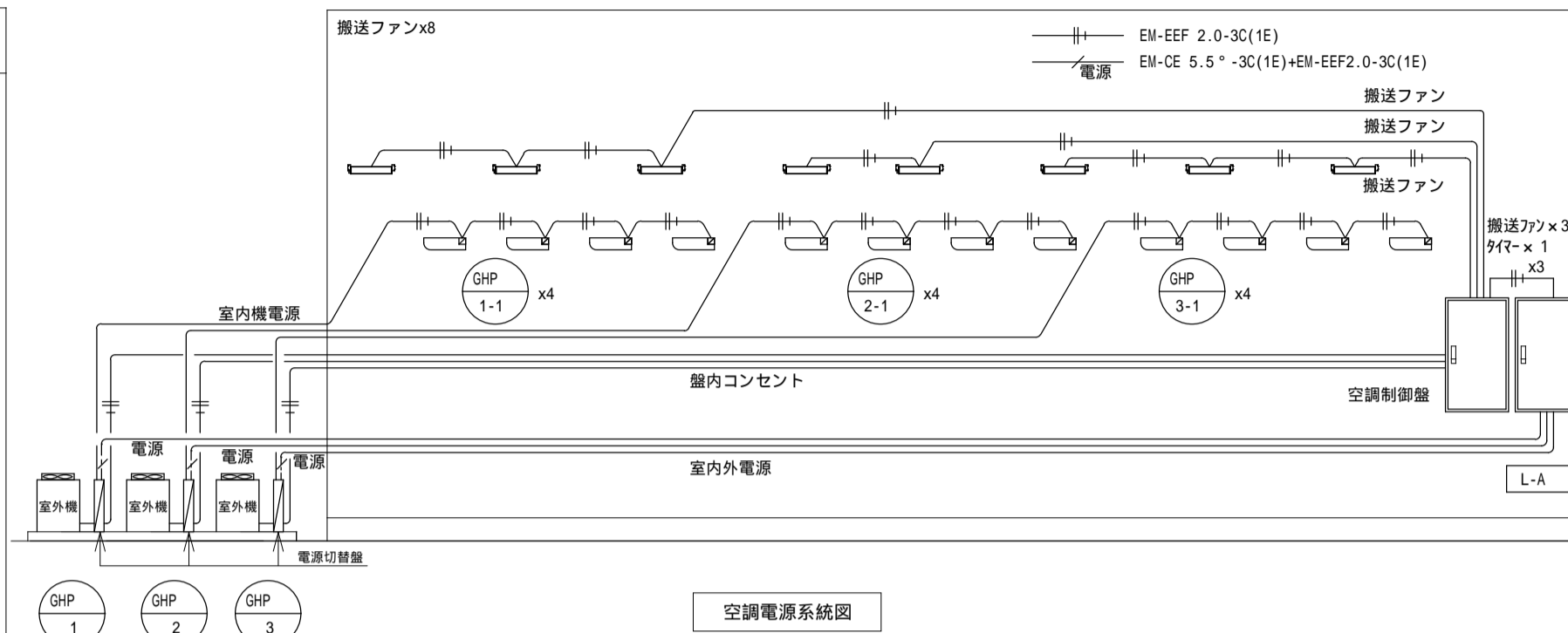
1面

下部角部分にクッションガード取付

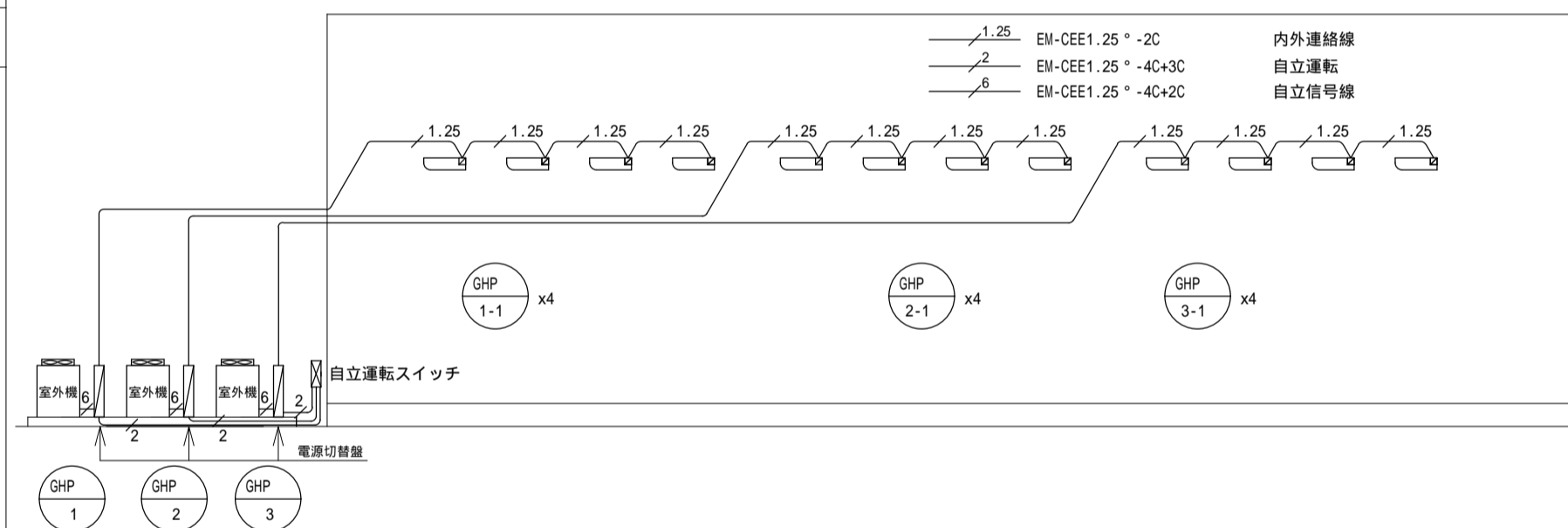


収納機器 非常用コンセントはアラで表記すること

名称	概要	備考
スケジュールタイマー(空調機用)	1種金属線び用ボックスに取付	機械設備工事(3個)
搬送ファンコントローラ	1種金属線び用ボックスに取付	機械設備工事(3個)
リモコン(空調機用)	1種金属線び用ボックスに取付	機械設備工事(3個)
コンセント(赤)	1種金属線び用ボックスに取付	2P15Ax2Ex3 (確認アラ付)WN13185RK同等品

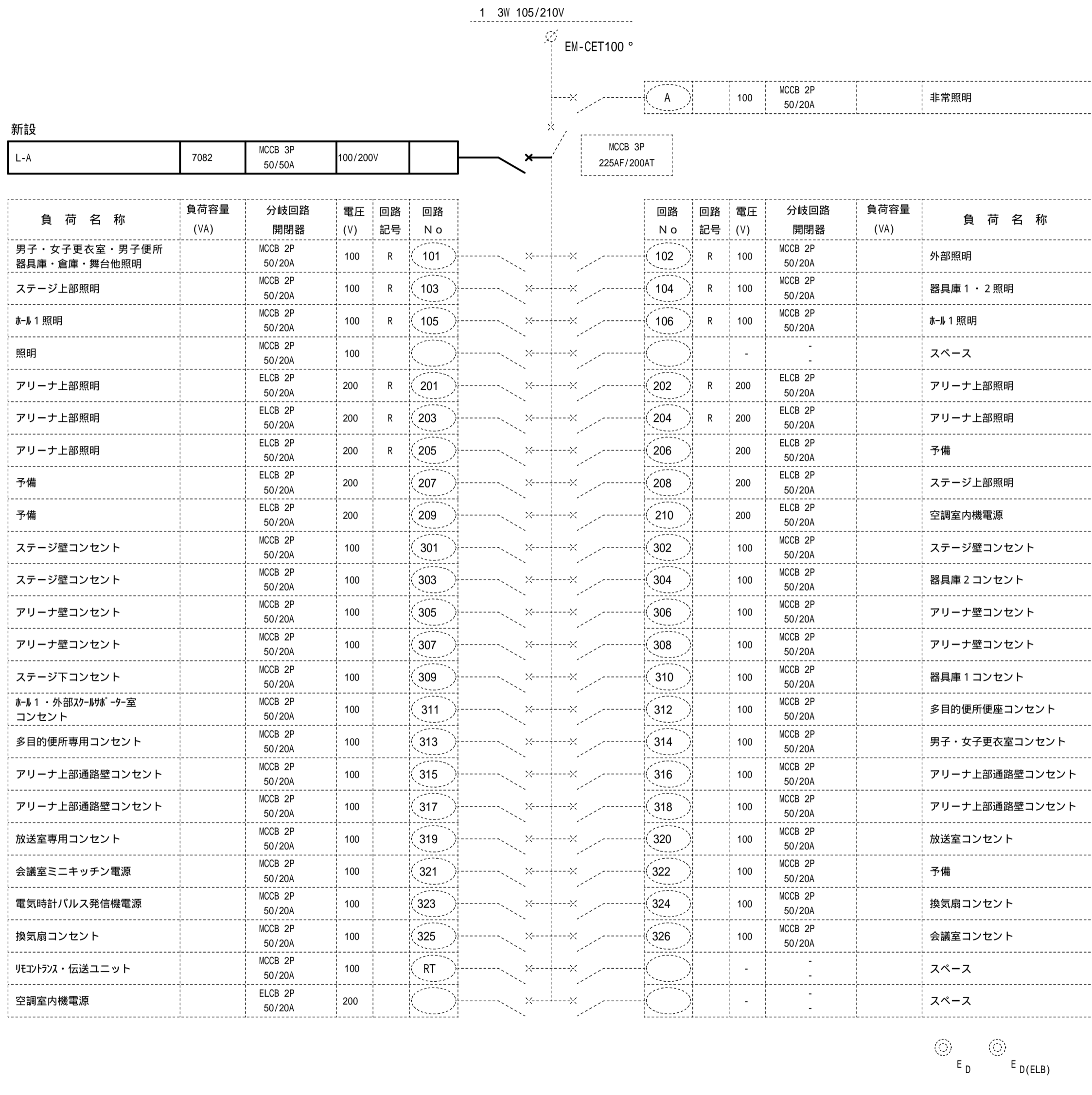


空調電源系統図



空調計装系統図

波線部分は現況とする

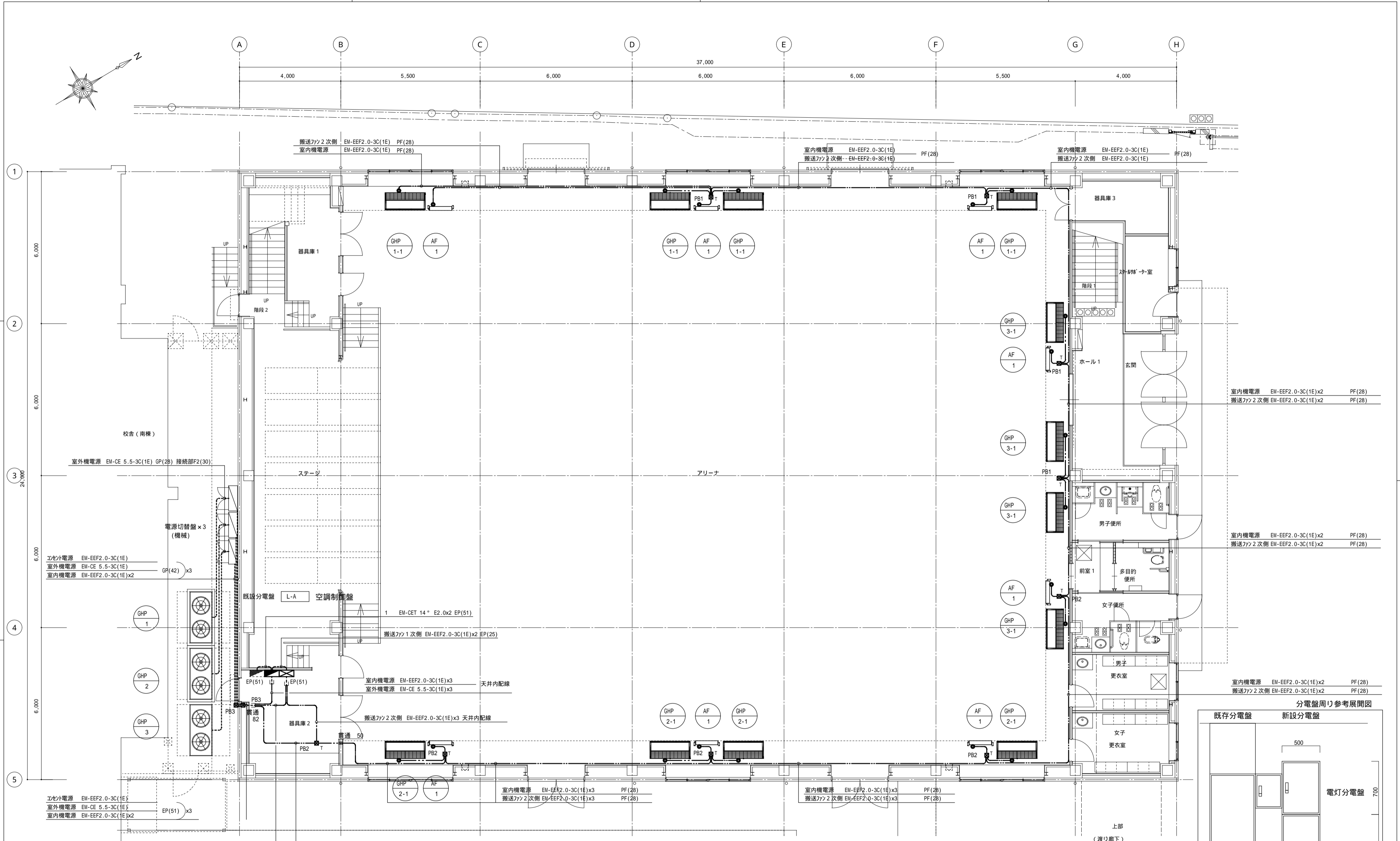
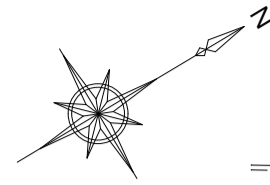


新設

自立運転スイッチ盤 SUS製・屋外自立型 鍵付 参考寸法:300Wx415Lx160D 1面

架台:銅板製・100Wx100Lx700H 基礎建築工事

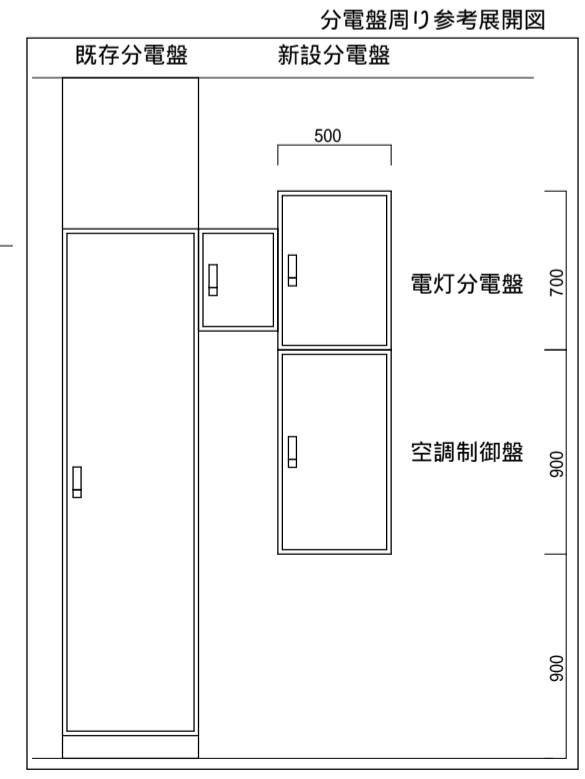
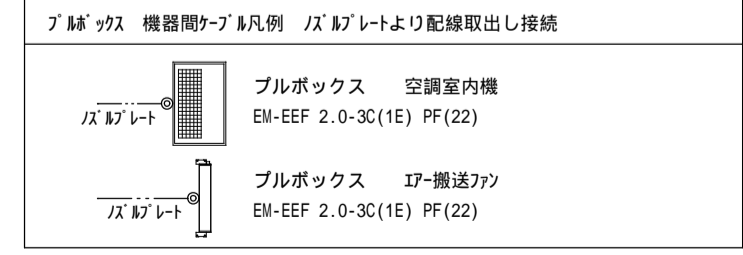
名称	概要	備考
自立運転スイッチ(停電用)	AOB560J(同等品)	機械設備工事(3個)

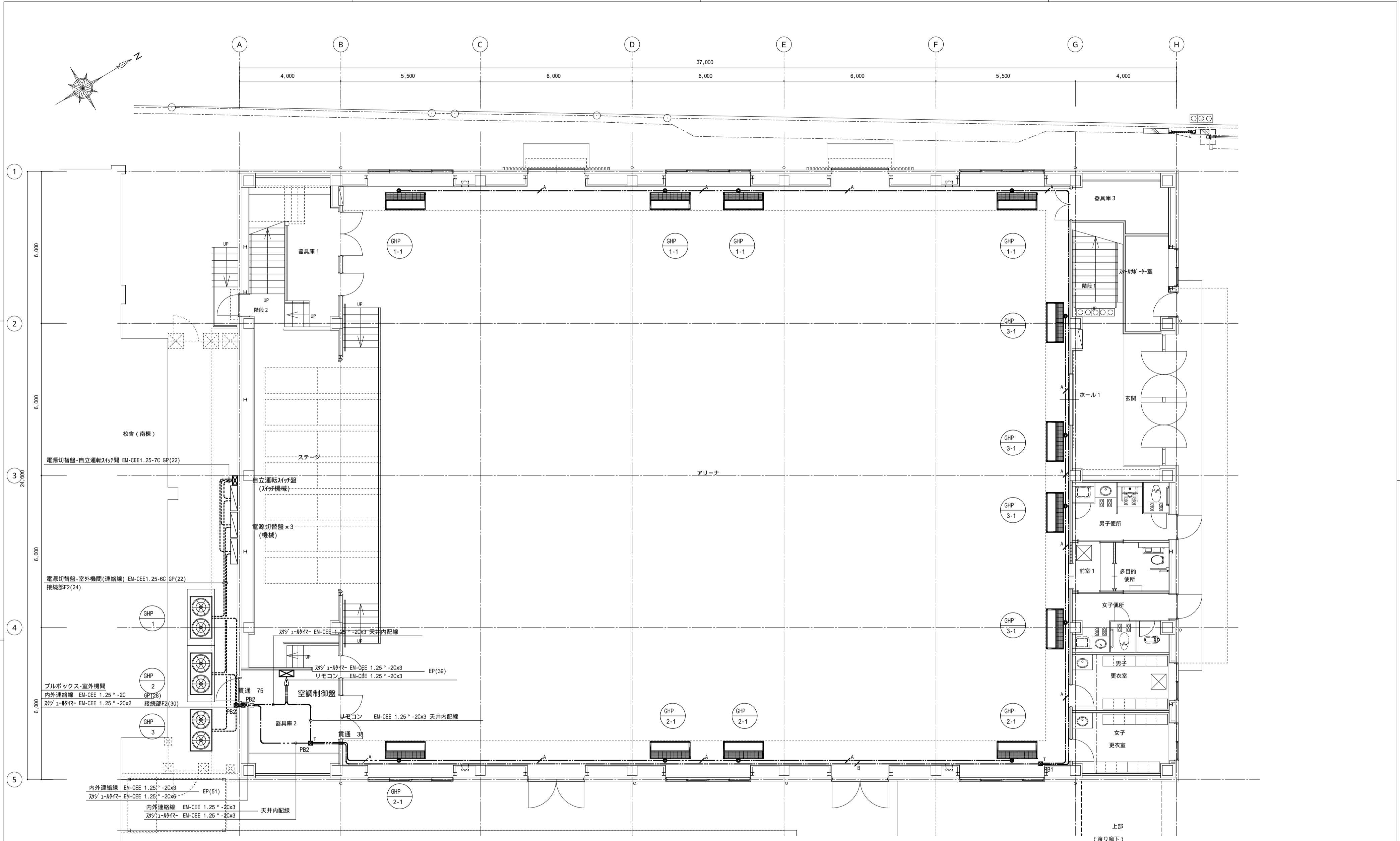


1階平面図 1:100

ブルボックス凡例 Tは天井内設置とする

記号	名称	備考
☒ PB1	ブルボックス SS200×200×100 SUS製	
☒ PB2	ブルボックス SS300×300×200 SUS製	
☒ PB3	ブルボックス SS500×500×300 SUS製	





1階平面図 1:100

ブルボックス凡例 Tは天井内設置とする

記号	名称	備考
☒PB1	ブルボックス SS200×200×100 SUS製	
☒PB2	ブルボックス SS300×300×200 SUS製	

